

若狭消防組合発足 50 周年

若狭の災害

若 狭 消 防 組 合

◆ 組合発足以前の災害

昭和 28 年～昭和 44 年 2 ～ 2 0

◆ 組合発足以降の災害

昭和 45 年	 2 2	平成 7 年	 6 8
昭和 46 年	 2 3	平成 8 年	 7 1
昭和 47 年	 2 5	平成 9 年	 7 3
昭和 48 年	 2 6	平成 10 年	 7 5
昭和 49 年	 2 8	平成 11 年	 7 8
昭和 50 年	 3 0	平成 12 年	 8 1
昭和 51 年	 3 1	平成 13 年	 8 2
昭和 52 年	 3 3	平成 14 年	 8 3
昭和 53 年	 3 5	平成 15 年	 8 5
昭和 54 年	 3 6	平成 16 年	 8 5
昭和 55 年	 3 8	平成 17 年	 8 6
昭和 56 年	 3 9	平成 18 年	 8 8
昭和 57 年	 4 1	平成 19 年	 8 8
昭和 58 年	 4 3	平成 20 年	 8 9
昭和 59 年	 4 5	平成 21 年	 9 0
昭和 60 年	 4 7	平成 22 年	 9 1
昭和 61 年	 4 8	平成 23 年	 9 2
昭和 62 年	 5 0	平成 24 年	 9 3
昭和 63 年	 5 2	平成 25 年	 9 4
昭和 64 年 (平成元年)	 5 3	平成 26 年	 9 6
平成 2 年	 5 5	平成 27 年	 9 7
平成 3 年	 5 9	平成 28 年	 9 7
平成 4 年	 6 1	平成 29 年	 9 9
平成 5 年	 6 3	平成 30 年	 1 0 0
平成 6 年	 6 5	平成 31 年 (令和元年)	 1 0 2

◆ 組合発足以降の火災・救急・救助統計 1 0 4

組合発足以前の災害

(昭和 28 年 ～ 昭和 44 年)

昭和 28 年（1953 年）

★6 棟燃える（小浜市大宮）

5 月 1 日 20 時 50 分頃、小浜市大宮で発生した火災は、木造瓦葺き平屋建て住宅延べ約 70 m²を全焼、さらに住宅および倉庫 5 棟延べ約 344 m²を全半焼した火災である。

出火原因は、風呂場の焚口内に放置した残火が流し場の羽目板に延焼したものと推定される。

★台風 13 号による若狭の被害

9 月 17 日朝、カロリン群島の東部に発生した熱帯低気圧は、翌 18 日にグアム島の南東約 350 キロメートルの海上で、この年 13 番目の台風となった。その後北西に進み、19 日午前にはいったん衰弱して熱帯低気圧となるが、午後にはふたたび発達して台風となり、23 日にはラサ島の南東約 450 キロメートルに達し、その大きさは中心気圧 915 ミリバール、中心付近の最大風速は 75 メートル、中心より 300 キロメートル以内では、風速 25 メートル以上の暴風雨となった。

台風は、24 日北上を続けるが、この日の 13 時に福井測候所から「台風 13 号は、中心示度 915 ミリバール、中心付近の最大風速 60 メートルで、南大東島の北東 200 キロにあり北北東に進んでいます。このまま進みますと、明 25 日朝四国南方または紀伊半島南方 200 キロの海上に達し、本県に一番接近するのは明晩になります。この為明日明晩は県下全般にかなりの風雨が強まる見込みですから充分注意してください。」との最初の台風情報が出された。

25 日朝には四国南方 300 キロの海上に接近し、午前 6 時には県下全般に風雨注意報が出され、次いで 11 時に暴風雨警報が発令され、速度を上げながら北北東へと向きを変え、午後 3 時には潮岬付近に達し、午後 4 時頃伊勢湾を通過、その後本州を縦断して、26 日朝には三陸沖に出た。

雨は、福井県下全域にわたったが、特に小浜市の雨量は多く、小浜の合計雨量は 266.7 ミリ、中名田では 23 日から 26 日までの合計雨量は 705.1 ミリ、25 日 1 日の雨量は 585.4 ミリに達し県下最大の雨量を記録した。また、遠敷郡熊川村河内で、合計雨量は 367.8 ミリ、25 日 1 日の雨量は 222.1 ミリを記録、高浜での合計雨量は 491.0 ミリ、25 日 1 日の雨量は 350.0 ミリを記録した。

小浜市の被害は甚大で、24 日夜半には、まず南川上流で工事中の護岸が流出した。南川・北川は、25 日午前 8 時 30 分に警戒水位を突破し、暴風雨警報の出た午前 11 時には洪水水位を突破、午後 3 時頃までに北川に架設の橋梁は、下流の湯岡・大手の二橋を残して全部流失し、南川・北川両河川とも各地で大破堤をみた。午後 5 時には南川湯岡付近の堤防が破堤し、下流河口付近に濁流がおしよせ、死者 31 名、行方不明 11 名、重傷者



台風13号 小 浜



台風13号 小浜 雲浜小学校

17 名、軽傷者 56 名、家屋の流失 136 戸、全壊 198 戸、半壊 563 戸等、学校、河川、鉄道、道路、林道、橋梁、農林、漁業等にも大きな被害を受け、総人口の 3 分の 2 にあたる 21,297 人が罹災した。

上中町では、北川支流の河内川が氾濫し、河内集落は一面泥海と化し惨たんたる状態となり、河内の被災民約 350 名は山の高地をもとめて避難しているが、食糧もなく救援の手を待っている状態となる等、死者 11 名、行方不明 1 名、重傷者 4 名、軽傷者 175 名、家屋の流失 33 戸、全壊 26 戸、半壊 143 戸等の被害を受けた。

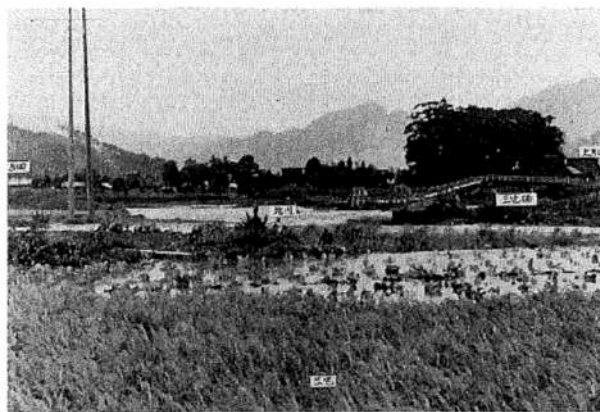
名田庄村は、26 日午後 3 時頃一挙に襲来した山津波のため、集落を貫通している道路は一瞬泥海となって土砂で埋没し、遠敷郡奥名田村納田終など 4 日ぶりに連絡が着く等死者 4 名、行方不明 4 名、重症者 4 名、軽症者 18 名、家屋の流失 103 戸、全壊 93 戸、半壊 102 戸の被害となった。

高浜町では、死者 17 名、行方不明 7 名、重傷者 54 名、軽傷者 154 名、家屋の流失 30 戸、全壊 23 戸、半壊 170 戸の被害。

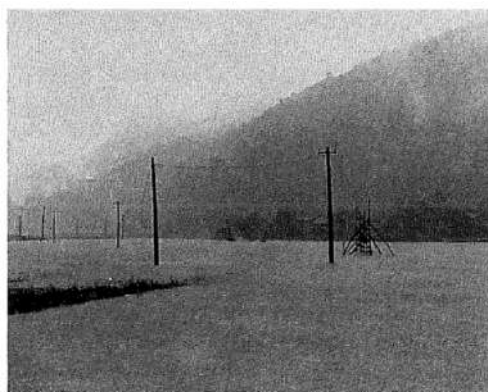
大飯町では死者 9 名、行方不明 2 名、重傷者 19 名、軽傷者 70 名、家屋の流失 28 戸、全壊 23 戸、半壊 187 戸、他に各市町村ともに床上浸水、床下浸水、一部損壊等大惨事となり、また、田畑にも埋没・流失・冠水等により多大な被害を与えた。

被害は広範囲にわたり、通信が途絶したため一時孤立状態となった。また、県下全域に被害が続出し、3 市 34 町村に災害救助法適用の指定を受けた。

このように 13 号台風が小浜市を直撃しなかったにも拘らず、大きな被害をもたらしたのは、23 日頃から日本列島の南岸に横たわっていた停滞前線が、台風の北上に伴い刺激され活発化し豪雨をもたらせ、また、9 月 25 日午後から高潮にも見舞われたためである。



台風13号 上中 三宅地区から北川を望む



台風13号 名田庄 三重地係



台風13号 名田庄 久坂橋付近



台風13号 大飯町 本郷小学校付近大飯橋

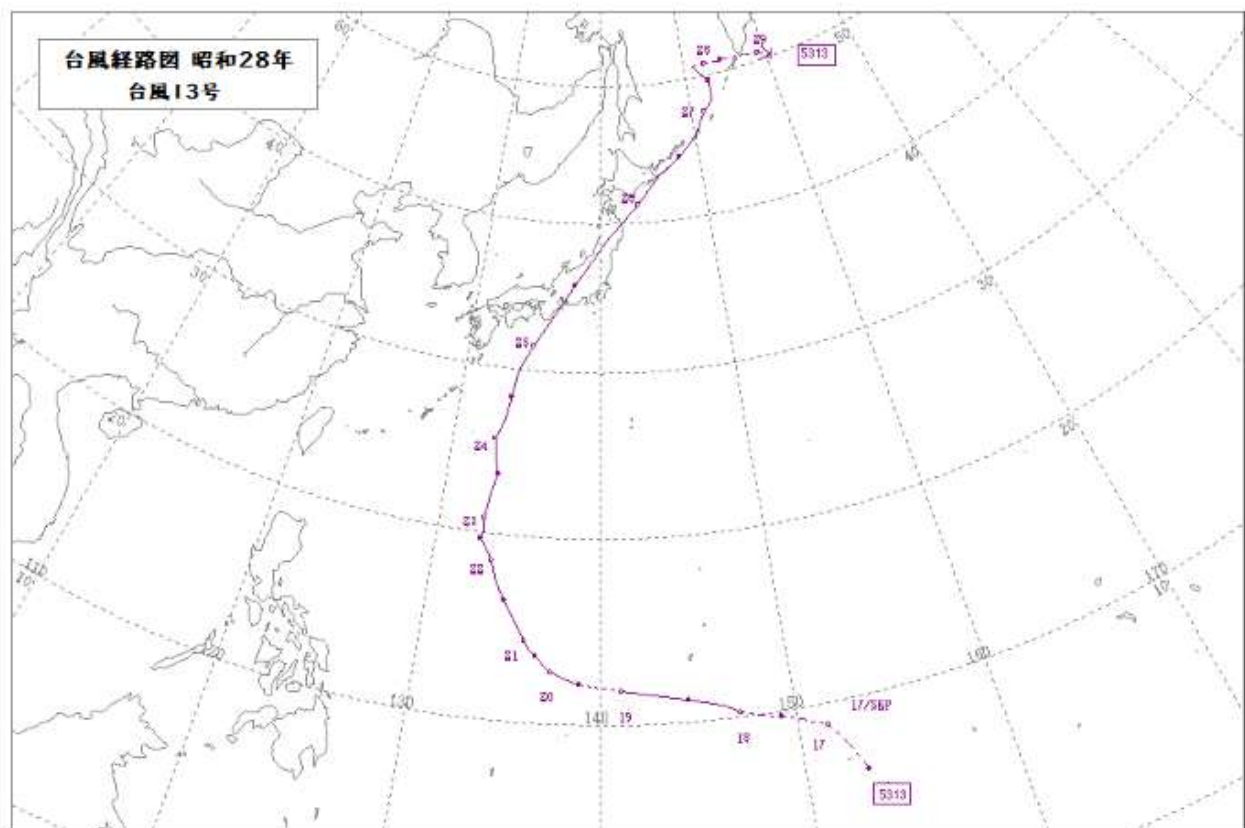


台風13号 大飯町 安川

台風13号被害一覧

石鉄新聞社調

	市・郡	小 浜 市				通 敷 郡										大 飯 郡										管内合計	
	市町村	小 浜 市				上 中 町					名 田 庄 村					高 浜 町					大 飯 町						
	旧市村	小浜市	宮川村	加斗村	計	野木村	三宅村	熊川村	瓜生村	烏羽村	計	奥田村	知三村	計	高浜町	和田村	青柳村	内浦村	計	本郷村	佐分利村	大島村	計				
人的被害	死 者	31			31			10	1		11		4	4	2		15		17	6	3		9	72	死 者		
	行方不明	11			11			1			1		4	4			7		7		2		2	25	行方不明		
	重 症	17			17			4			4		4	4			47	7	54	18	1		19	98	重 症		
	軽 傷	56			56		123	21	3	28	175		18	18	5		53	96	154	30	40		70	473	軽 傷		
家屋の被害	流 失	134		2	136			31	1	1	33	71	32	103	1		11	18	30	17	11		28	330	流 失		
	全 壊	189	7	2	198		1	20		5	26	54	39	93	2		21		23	16	6	1	23	363	全 壊		
	半 壊	550	10	3	563	8	10	60	7	58	143	55	47	102	50		95	25	170	91	75	21	187	1,165	半 壊		
	損 壊		150	57	207	22	97	12	30	106	267		28	28	200		112	42	354	70	45		115	971	損 壊		
	埋 没	19			19						0	30		30			7		7		4		4	60	埋 没		
	半 没	22	5		27			45		16	61	53		53			72		72		5		5	218	半 没		
	床上浸水	1,561	18	9	1,588	207	142	83	423	258	1,113	1,142	129	1,271	470		84	130	684	400	250		650	5,306	床上浸水		
	床下浸水	1,494	66	41	1,601	121	89	141	116	42	509	571	40	611	320		236	58	614	30	158		188	3,523	床下浸水		
	一部損壊	2,618			2,618						0	12		12					0				0	2,630	一部損壊		
	非住家	1,468			1,468				402	156	558	59	35	94	4			352	356	750	213		963	3,439	非住家		
田 町	埋 没	1,000	60	20	1,080	70	135	2	18	70	295	31	35	66	49	10	69	10	138	50	200	8	258	1,837	埋 没		
	流 失	200	30	16	246	7	117	3	3	20	150	117	16	133	8		60	20	88		30	2	32	649	流 失		
	冠 水	185	95	97	377	236	18	16	200	170	640	7	35	42	70	80	94	60	304	210	50	4	264	1,627	冠 水		
畑 町	埋 没	10	5	9	24	13	7	4	3	10	37	9	12	21	3	5	20	10	38	10	20	2	32	152	埋 没		
	流 失	40	1	3	44	2	7	9	1	3	22	15	2	17	1	1	25	5	32	2	7	1	10	125	流 失		
	冠 水	200	3	11	214	8	1	3	12	20	44	4	8	12	15	2	20	10	47	25	25		50	367	冠 水		



経路上の○印は傍らに記した日の午前9時、●印は午後9時の位置で→は消滅を示します。
経路の実線は台風、破線は熱帯低気圧・温帯低気圧の期間を示します。

気象庁ホームページから抜粋

昭和 29 年（1954 年）

★箸工場より出火 4 棟焼失（小浜市小松原川西）

6 月 17 日 22 時 30 分頃、小浜市小松原川西で発生した火災は、木造トタン葺き平屋建ての箸素地工場、延べ 142 m²を全焼、隣接する住宅および工場 3 棟延べ約 210 m²を部分焼した火災である。

出火原因は、従業員のたばこの吸い殻が誤って床下に落下し出火したものと推定。延焼拡大した要因は、工場内部に竹材等が多量に集積されていた事、夜間で工場が無人であった為、通報が遅れたことである。

★船舶火災（小浜市堅海海岸）

12 月 19 日 1 時 50 分頃、小浜市堅海海岸で、木造平屋建て船小屋全焼 9 棟、半焼 1 棟、さらに発動機運搬船 4 隻、伝馬船 4 隻を全焼した火災が発生した。

出火原因は、船小屋に引き揚げてあった発動機運搬船の排気管貫通部の板が燦焼し発火したものと推定される。

昭和 30 年（1955 年）

★火遊びで寄宿舍焼失（小浜市上竹原）

9 月 22 日 16 時 57 分頃、小浜市上竹原で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建て寄宿舍 1 棟延べ 1,230 m²を全焼した火災である。この寄宿舍には 18 世帯 78 名が入居しており火元は 2 階中央部の 1 部屋で、そこから階下に火が廻ったと推定される。

出火原因については、子供のマッチによる火遊びで、この火災に出動した職、団員はあわせて 472 名、出動車両は 12 台、うち団員 1 名が負傷している。

昭和 31 年（1956 年）

★阿納尻小学校燃える（小浜市阿納尻）

1 月 20 日 16 時 25 分頃、小浜市阿納尻にある阿納尻小学校の炊事場から出火し、火は 6 m の風にあおられ、校舎および講堂 940 m²を全焼した。

この火災の原因は、炊事場にある湯沸用かまどの煙道と外壁下見板が接触していた為、火災に至ったと推定される。また、この火災での死傷者はなく損害額は 893 万円となった。

★漁港ビル火災（小浜市津島）

3 月 27 日 11 時 22 分頃、小浜市津島にある鉄骨木造鉄板葺き 3 階建、12 の事務所が入る漁港ビル 2 階船員宿泊所から出火、2 階、3 階を焼失し焼損面積 739 m²、損害額 827 万円となった火災である。

火災の原因は、船員（18 才男性）が、昼食の準備にかまどに火を入れたままその場を離れ、燃え木が板張の床上に落ちて延焼したものである。また、この船員が室内に戻ったと

ころ火災を発見、バケツで初期消火を試みたが失敗し、階下に逃げ消防署に通報しなかったものである。

昭和 32 年（1957 年）

★池河内大火（小浜市池河内）

4 月 16 日 15 時 00 分頃、小浜市池河内の民家から出火、集落 62 世帯中、23 世帯 94 名が罹災し負傷者 8 名、家屋の焼失 2,316 m²、山林 150 a、損害額 1,859 万 4 千円となった火災である。尚、この火災の原因は、子供の火遊びであり、大火となった原因としては、以下のことが考えられる。

(1) 気象的悪条件

連日の快晴で湿度が低下し正午には、異常乾燥注意報が発令され、加えて 5m の北西風が吹いていたこと。

(2) 風下に茅葺きの民家が多かった。焼失住家 23 棟中、17 棟が茅葺きであったこと。

(3) 通報の遅延と消防本部との距離

第 1、2 発見者は、通報の手段をとらなかったことと、消防本部からの距離も 11 km と遠距離であった為、消防隊現場到着が遅れたこと。

★船小屋火災（小浜市泊海岸）

8 月 11 日 20 時 30 分頃、小浜市泊海岸船小屋で発生した火災は、木造平屋建て船小屋 8 棟全焼、1 棟部分焼、船 2 隻を焼失した火災である。

この火災の原因については、たばこの不適切な処置により船小屋内の藁に燃え移り延焼拡大し、約 317 m²を焼失したものである。

昭和 33 年（1958 年）

★住宅 9 棟が全半焼（小浜市三分一）

1 月 3 日 15 時 53 分頃、小浜市三分一で発生した火災は、木造平屋建て 5 棟、木造 2 階建 1 棟が全焼、木造 2 階建 3 棟が半焼、部分焼の延べ面積 380 m²が焼失した建物火災である。

出火原因については、瓦製こたつの残火処理が不十分であった為、ふとんに着火し延焼拡大したものである。

★小浜小学校焼失（小浜市男山）

2 月 17 日 20 時 23 分頃、小浜市男山小浜小学校宿直室から出火、本館、東校舎など 5 棟を全焼、講堂、便所など 2 棟を部分焼し延べ 1,485 m²を焼失、損害額 1 億 1,194 万円となった火災で、原因は、掘りこたつからの出火である。この火災は、発見が遅れたことと木造校舎で防火壁等の設備もなく、防火上欠陥の多い建物であったこと、また、消防水利も少なかったなどがあり、延焼拡大し大火に至ったものである。消火活動状況は、水積付ポンプ車、三輪ポンプ車等 19 台、出動人員については消防職団員 114 名、また、名田庄村、上中町、大飯町、高浜町からの応援を受け 1 時間後に鎮火した。

昭和 35 年（1960 年）

★店舗等 6 棟全半焼（小浜市玉前）

3 月 18 日 3 時 40 分頃、小浜市玉前で発生した火災は、木造 2 階建て 4 棟全焼、2 棟半焼、3 棟部分焼で延べ 350 m²の店舗等を焼失した火災である。

出火原因については、店舗内で使用した電気コテのスイッチの切り忘れと推定される。この店舗内の 2 階に就寝中であった店員 1 名が死亡した。

★物置火災（小浜市上中井）

9 月 4 日 2 時 30 分頃、小浜市上中井において、物置から出火した火災は、木造瓦葺き 2 階建て住宅 2 棟を全半焼し物置 1 棟を全焼、延べ約 200 m²を焼失した。

出火原因は、風呂場の取り灰の不始末によるものであり、前日朝に取り灰し 15 時間後に再燃、付近の可燃物に延焼拡大したものである。

★住宅 4 棟全焼（小浜市飯盛）

12 月 29 日 14 時 45 分頃、小浜市飯盛において発生した火災は、木造 2 階建て 1 棟、木造平屋建て 3 棟、延べ 208 m²を焼失した。

出火原因は、掘りこたつの火鉢の熱により、周囲の木枠が炭化し出火に至ったものである。

昭和 36 年（1961 年）

★住宅等 6 棟全焼（小浜市和多田）

4 月 3 日 12 時 05 分頃、小浜市和多田において発生した火災は、木造一部 2 階建て 1 棟、木造平屋建て 2 棟、同じく物置 2 棟を全焼および木造 2 階建て納屋 1 棟を部分焼の延べ 346 m²が焼失した火災であり、また、山林へも延焼し 250 a を焼失している。

出火原因は、炊事場煙突からの火の粉が杉皮葺の屋根に飛火したものである。

★新道大火（上中町新道）

9 月 28 日午後 8 時 15 分頃、上中町新道区で大火があり、農家など 10 世帯 17 棟延べ 1,013 m²を全焼、49 人が焼け出された。民家の居間付近から出火、住宅、茅葺き平屋建て 57 m²、物置小屋 46 m²を全焼、さらに隣接の住宅、土蔵、物置小屋など 17 棟を全焼して同 11 時 15 分鎮火した。この大火で、上中町、滋賀県今津町の職、団員ら 180 人と町民 300 人が消火にあたった。同地区にはすぐ近くに北川が流れているが、水位が低く、消火に困難をきわめた。しかも谷からの東の風にあおられ、茅葺きの屋根に飛火して次々と延焼拡大したものである。

昭和 37 年（1962 年）

★住宅火災（小浜市遠敷）

1 月 26 日 2 時 04 分頃、小浜市遠敷で発生した火災は、木造 2 階建て、平屋建ての 2 棟が全焼、木造 2 階建ての半焼、部分焼が各 1 棟の延べ 129 m²が焼失した。

この火災により幼い兄妹 2 名が焼死しており、出火原因は風呂場の焚き木の不始末によるものであった。

昭和 38 年（1963 年）

★住宅火災（小浜市東勢）

10 月 7 日 22 時 55 分頃、小浜市東勢で発生した火災は、木造平屋建て住宅 1 棟および木造平屋建て納屋 1 棟を全焼、木造 2 階建て住宅 1 棟を部分焼の、延べ 143 m²が焼失した火災である。出火原因は、薪用コンロの残り火が付近の可燃物上に落下し延焼したものである。

昭和 39 年（1964 年）

★河内大火（上中町河内）

3 月 28 日 15 時 15 分頃、上中町河内で発生した火災は、木造カヤ葺き平屋建て民家から出火し、住宅等 11 棟を全焼し延べ 718 m²を焼失、18 人が罹災した。

火災発生時、各家のほとんどが山仕事などに出かけて留守だったため発見が遅れたうえ、河内区は熊川の県道から河内川沿いに奥地へ約 3km 入った山間集落で水利の便が悪かったこと、茅葺き屋根が多く飛火して次々と延焼拡大したため大火になった。

昭和 40 年（1965 年）

★国鉄小浜駅前ビル火災（小浜市駅前町）

4 月 5 日 5 時 30 分頃、小浜駅前ビルから出火し 6 時 50 分に鎮火した。

この建物は、小浜駅前正面に向かって東西に細長く建てられた木造モルタル塗り、スレート葺き平屋建て一部 2 階建て、延べ 525 m²の片流れ式屋根を持った 12 世帯（主に飲食店）が入居していた。



国鉄小浜駅前ビル火災

付近は、ガソリンスタンドが散在しているなど密集地であることから、市では非常サイレンを吹鳴する一方、消防車 11 台、消防職団員 150 名が消火にあたるなか、駅員らも消火、被災者の救助にあたった。

尚、この火災の原因は不明であり、損害額は 1,427 万 8 千円となった火災である。

昭和 41 年（1966 年）

★住宅火災（小浜市今宮）

4 月 7 日 16 時 09 分頃、小浜市今宮で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建て全焼および木造瓦葺き 2 階建て半焼、延べ 196 m²を焼失した火災である。

出火原因は、品川あんに豆炭を入れ、蓋をせず放置したため近くにあったカーテンに着火し炎上したものと推定される。

昭和 42 年（1967 年）

★住宅 3 棟全焼（小浜市門前）

3 月 12 日 15 時 30 分頃、小浜市門前で発生した火災は、木造茅葺き平屋建て 3 棟、延べ 256 m²を全焼した火災である。損害額は約 150 万円で 8 人が焼け出された。

出火原因は、出火建物付近での子供の火遊びにより、付近の可燃物に着火し茅葺き屋根へと延焼したものである。また、隣接する建物の間隔が狭く輻射熱と飛び火により延焼拡大したものである。

★林野火災（小浜市多田）

8 月 3 日 14 時 00 分頃、小浜市多田地係で発生した林野火災は、指定文化財を多く所有する多田寺裏墓地から出火し、4 時間にわたり 269 a を焼失した。

この火災の原因は、雑草焼却の不始末であり、状況については、出火時間 2 時間前に墓掃除のため、焚火をしており一時残火を整理したが、焚火の位置から離れた草むらへ飛火し延焼拡大したものである。

昭和 43 年（1968 年）

★東勢で 5 棟全焼（小浜市東勢）

4 月 5 日 13 時 00 分頃、小浜市東勢で発生した火災は、火災気象通報発令中であり、地形が高台になっていたため、発見通報が遅れ大火になった。これにより、住宅等 5 棟が全焼、延べ 422 m²を焼失し罹災人員 17 名で、同日 14 時 30 分鎮火する。

この火災の原因は、子供の火遊びであり、損害額は 340 万 3 千円である。

尚、国鉄小浜線東勢踏切近くが混雑のため、一時不通になった。

昭和 44 年（1969 年）

★太良庄で 3 棟全焼（小浜市太良庄）

4 月 29 日 10 時 56 分頃、小浜市太良庄で発生した火災は、木造茅葺き平屋建て（トタン張り含む）住宅 3 棟、延べ 260 m²を全焼した。

出火原因については、小学生によるマッチの火遊びで、積み置きしてあった雪囲い用の茅に着火し出火に至ったものである。農繁期の為、ほとんどの家庭には大人が居らず、発見通報の遅れとフェーン現象下に加えて水の便が悪く、茅葺き屋根という悪条件が重なった結果がもたらした火災であり、消防車 10 台が出動した。尚、この火災により職員など 4 名が手や足に軽傷を負った。

【主な災害年別一覧表】

昭和 28 年～昭和 44 年

昭和 28 年

2. 17	小浜市田島	住宅火災 死者 1 全焼 1 損害額 1 万円 炉の火が風にあおられ付近の衣類に着火（推定）
3. 11	小浜市本町	電気火災 電線がゆるみ腕木に接触し、短絡したもの
5. 1	小浜市大宮	住宅火災 全焼 5 半焼 1 焼損面積 123 m ² 風呂の残り火で、過熱され出火（推定）
5. 21	小浜市竹原	事業場火災 半焼 1 焼損面積 79 m ² 損害額 100 万円 ガソリンの不適切な取り扱いにて失火
7. 5	小浜市池河内	納屋火災 全焼 1 焼損面積 26 m ² 損害額 5 万 5 千円 木炭の上に置き忘れたブトくすべ（虫よけ）から出火
8. 23	小浜市鹿島	住宅火災 半焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 3 万円 煙突の過熱
9. 23	若狭地方	台風 13 号 9 月 17 日カロリン群島東部で発生した熱帯低気圧が台風 13 号に発達・北上し、23 日ころから日本列島の南岸に横たわっていた停滞前線を刺激、豪雨をもたせ、かつ、9 月 25 日午後から高潮にも見舞われ、悪条件が揃い管内各地に甚大な被害をもたらせた
9. 29	小浜市遠敷	土蔵火災 部分焼 1 焼損面積 7 m ² 損害額 5 万円 土蔵の横の鉄管に落雷した
12. 5	小浜市加茂	納屋火災 半焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 2 万 5 千円 子供の火遊び

昭和 29 年

1. 13	小浜市津島	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 半焼 2 焼損面積 94 m ² 損害額 35 万円 こたつの火の不始末
3. 26	上中町三田	住宅火災 全焼 1 損害額 8 万 1 千円
6. 17	小浜市 小松原川西	箸工場火災 全焼 3 焼損面積 210 m ² 損害額 66 万円 たばこの火が 床下に落ち出火
8. 8	小浜市深野	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 89 m ² 損害額 51 万 3 千円 原因不明
8. 16	上中町安賀里	製材所火災 全焼 1 損害額 840 万 1 千円
11. 23	小浜市多賀	倉庫火災 負傷者 1 全焼 2 半焼 1 部分焼 1 焼損面積 101 m ² 損 害額 82 万円 取灰の不始末により付近の木板に延焼
12. 19	小浜市堅海 海岸	船舶火災 全焼 9 半焼 1 発動機船 4 隻 伝馬船 4 隻 焼損面積 178 m ² 損害額 86 万円 船の機関室の排気管の貫通部の板が燦焼により 発火

昭和 30 年

2. 23	小浜市竹長	学校(物置)火災 半焼 1 焼損面積 20 m ² 損害額 1 万円 ストープの 灰の不始末
7. 6	上中町堤	物置火災 焼損棟数 2 損害額 50 万 7 千円
9. 22	小浜市上竹原	寄宿舎火災 全焼 1 焼損面積 1,228 m ² 損害額 870 万円 子供のマ ッチによる火遊び

昭和 31 年

1. 16	小浜市堀屋敷	工場火災 全焼 1 焼損面積 79 m ² 損害額 10 万 8 千円 箸乾燥室内 のコンロに箸が落下し着火したもの
1. 18	小浜市田島	炭焼小屋火災 全焼 1 焼損面積 13 m ² 損害額 1 万 3 千円 焚火の不 始末
1. 20	小浜市阿納尻	学校火災 全焼 2 焼損面積 940 m ² 損害額 893 万円 かまどの不良
3. 27	小浜市津島	雑居ビル火災 全焼 1 焼損面積 739 m ² 損害額 827 万円 かまどの 焚き口から燃え木が落下
4. 14	小浜市田島	林野火災 焼損面積 30 a 焚火の不始末

8. 1	小浜市上竹原	焼却場火災 部分焼1 焼損面積 10 m ² 損害額 1 万円 焼却炉のふたを開けたまま使用したため出火したもの
8. 17	上中町武生	作業場火災 半焼1 損害額 8 万 1 千円
10. 24	上中町熊川	住宅火災 部分焼1 損害額 2 万円

昭和 32 年

1. 14	小浜市大湊	住宅火災 全焼2 部分焼1 焼損面積 28 m ² 損害額 18 万 3 千円 ガソリンを浸した布の不始末
2. 10	小浜市深谷	木小屋火災 全焼1 焼損面積 10 m ² 損害額 5 千円 原因不明
4. 16	小浜市池河内	住宅火災 負傷者 8 全焼 42 半焼1 部分焼1 焼損面積 2,316 m ² 焼損面積 150 a (山林) 損害額 1,859 万 4 千円 子供の火遊び
6. 24	小浜市西勢	倉庫火災 全焼1 焼損面積 46 m ² 損害額 47 万円 倉庫の中にあつた軽自動車の不良
6. 26	小浜市四分一	木小屋火災 死者1 全焼1 焼損面積 17 m ² 損害額 3 万 5 千円 線香の不始末
6. 29	小浜市伏原	工場火災 部分焼1 焼損面積 10 m ² 損害額 1 万 1 千円 セルモーターがショートしガソリンに引火
8. 11	小浜市泊	船小屋火災 全焼8 部分焼1 船2 隻焼失 焼損面積 317 m ² 損害額 11 万 6 千円 たばこの不始末

昭和 33 年

1. 3	小浜市三分一	住宅火災 全焼6 半焼2 部分焼1 焼損面積 380 m ² 損害額 190 万円 7 千円 瓦製こたつの不始末
2. 17	小浜市男山	学校火災 負傷者1 全焼5 部分焼2 焼損面積 1,485 m ² 損害額 1 億 1,194 万円 堀こたつの不始末
2. 20	小浜市大宮	住宅火災 負傷者1 部分焼1 損害額 1 千円 火鉢の不始末
2. 22	小浜市西津	倉庫火災 全焼1 焼損面積 53 m ² 損害額 11 万 6 千円 原因不明
3. 1	小浜市栗田	寺院火災 死者1 部分焼1 損害額 3 千円 こたつの火種が落下
5. 1	小浜市下竹原	作業場火災 部分焼1 焼損面積 17 m ² 損害額 9 千円 原因不明

6. 8	小浜市門前	物置小屋火災 全焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 7 千円 原因不明
6. 14	小浜市田島	住宅火災 全焼 1 焼損面積 84 m ² 損害額 41 万 7 千円 落雷
6. 24	小浜市下田	炭焼小屋火災 全焼 1 焼損面積 26 m ² 損害額 3 千円 炭焼き釜の火の粉が飛散したもの
7. 26	上中町三田	林野火災 焼損面積 20 a
8. 31	小浜市鹿島	倉庫火災 全焼 1 半焼 1 部分焼 1 焼損面積 170 m ² 損害額 52 万円 原因不明

昭和 35 年

1. 28	小浜市羽賀	倉庫火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 30 m ² 損害額 3 万 6 千円 燐炭の不始末
2. 24	小浜市金屋	林野火災 焼損面積 25 a 損害額 1 千円 焚火の不始末
3. 18	小浜市玉前	店舗火災 死者 1 全焼 4 半焼 2 部分焼 3 焼損面積 350 m ² 損害額 543 万 7 千円 電気コテのスイッチの切り忘れ
4. 9	上中町新道	林野火災 焼損面積 100 a
7. 21	小浜市下田	炭焼小屋火災 全焼 1 焼損面積 27 m ² 損害額 4 千円 炭焼きかまどの過熱
7. 26	小浜市白髪	倉庫火災 部分焼 1 焼損面積 12 m ² 損害額 1 千円 焚火の飛火
9. 4	小浜市上中井	倉庫火災 全焼 2 半焼 1 焼損面積 200 m ² 損害額 280 万 9 千円 取灰の不始末
10. 11	小浜市竜前	炭焼小屋火災 全焼 2 焼損面積 63 m ² 損害額 10 万 2 千円 炭釜の不始末
10. 18	小浜市東勢	納屋火災 全焼 2 焼損面積 144 m ² 損害額 233 万円 原因不明
10. 19	小浜市田茂谷	炭焼小屋火災 全焼 1 焼損面積 16 m ² 損害額 6 千円 炭釜の不始末
10. 30	小浜市国分	倉庫火災 半焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 1 万 5 千円 原因不明
12. 7	小浜市竜前	倉庫火災 半焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 1 万円 子供の火遊び
12. 29	小浜市飯盛	住宅火災 全焼 4 焼損面積 208 m ² 損害額 238 万 1 千円 堀こたつの煉炭の過熱

昭和 36 年

2. 16	小浜市生守	物置小屋火災 部分焼 1 焼損面積 2 m ² 損害額 5 万 9 千円 炭火鉢が過熱し外周の桶板に着火
2. 26	小浜市神宮寺	炭焼小屋火災 全焼 1 焼損面積 20 m ² 損害額 1 万 5 千円 窯の崩落により屋根に着火
2. 27	小浜市 新小松原	住宅火災 負傷者 1 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 18 万 5 千円 修理中のバイクのガソリンに煉炭こたつの火が引火
4. 3	小浜市和多田	住宅火災 全焼 5 部分焼 1 焼損面積 346 m ² 山林焼損面積 250 a 損害額 402 万 9 千円 煙突の火の粉が屋根に飛火
4. 20	小浜市青井	林野火災 焼損面積 10 a たばこの投げ捨て
4. 30	小浜市太興寺	倉庫火災 半焼 1 焼損面積 30 m ² 損害額 33 万円 取灰の不始末
9. 6	小浜市伏原	神社火災 全焼 2 焼損面積 40 m ² 損害額 10 万 5 千円 板壁に落雷
9. 6	小浜市生守	その他火災 損害額 7 万 5 千円 稲木に落雷
9. 28	上中町新道	住宅火災 全焼 17 焼損面積 1,013 m ² 損害額 600 万円 漏電

昭和 37 年

1. 4	小浜市神宮寺	炭焼小屋火災 全焼 1 焼損面積 120 m ² 損害額 5 万円 窯の崩落により屋根に着火
1. 12	小浜市伏原	車両火災 バイク 1 台 損害額 7 万 5 千円 バイクを修理中、付近にいた人のたばこのマッチによりガソリンに引火
1. 17	小浜市津島	住宅火災 負傷者 1 半焼 1 焼損面積 50 m ² 損害額 127 万円 原因不明
1. 26	小浜市中ノ町	住宅火災 死者 2 負傷者 2 全焼 2 半焼 1 部分焼 1 焼損面積 129 m ² 損害額 181 万円 風呂の焚き木の不始末
2. 3	小浜市 小松原川西	作業場火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 1 万円 煙突の折損による火源の漏洩
2. 19	上中町三生野	住宅火災 焼損棟数 2 焼損面積 203 m ² 損害額 35 万 8 千円 子供の火遊び
4. 1	小浜市本保	林野火災 焼損面積 20 a 損害額 5 千円 焚火の飛火

4. 4	小浜市太良庄	住宅火災 半焼 1 焼損面積 35 m ² 損害額 32 万 3 千円 こたつの火種の落下
4. 21	小浜市下加斗	倉庫火災 全焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 3 万 1 千円 焚火の不始末
5. 18	小浜市遠敷	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 5 千円 炊事場でガソリンを取り扱い中付近のコンロ火が引火
7. 29	小浜市奈胡	炭焼小屋火災 全焼 1 焼損面積 24 m ² 損害額 3 千円 炭焼かまどの煙突の取り扱い不良
8. 13	上中町井ノ口	工場火災 焼損棟数 2 焼損面積 237 m ² 損害額 20 万円 見立て機の過熱
11. 24	上中町堤	住宅火災 損害額 50 万円 放火
12. 15	上中町井ノ口	工場火災 焼損面積 171 m ² 損害額 50 万円 チップ工場の焼却場煙突過熱
12. 23	小浜市西勢	林野火災 焼損面積 115 a 損害額 1 千円 たばこの不始末

昭和 38 年

3. 10	小浜市貴船	住宅火災 全焼 1 焼損面積 25 m ² 損害額 96 万 7 千円 ストープの油受け皿にこぼれた灯油に引火
4. 3	小浜市西勢	林野火災 焼損面積 20 a 損害額 6 千円 焚火の火の粉が山林に飛火
6. 21	小浜市甲ヶ崎	作業場火災 全焼 1 焼損面積 12 m ² 損害額 12 万 2 千円 焚火の不始末
8. 2	小浜市次吉	稲木火災 損害額 1 千円 放火
8. 3	小浜市奈胡	稲木火災 損害額 2 万円 放火
9. 1	高浜町神野	住宅火災 大火
9. 15	小浜市平野	住宅火災 半焼 1 焼損面積 18 m ² 損害額 31 万 7 千円 かまどの不始末
10. 7	小浜市東勢	住宅火災 全焼 2 部分焼 1 焼損面積 143 m ² 損害額 105 万 7 千円 薪用コンロの残り火の不始末
11. 27	上中町玉置	住宅火災 焼損面積 66 m ² 損害額 23 万 5 千円 石油ストーブの転倒

昭和 39 年

1. 24	上中町兼田	住宅火災 焼損面積 21 m ² 損害額 20 万円 乾燥機構造不良
2. 6	小浜市和久里	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 77 m ² 損害額 66 万 4 千円 練炭の熱で板材が過熱され出火
3. 28	上中町河内	住宅火災 負傷者 1 焼損棟数 11 焼損面積 718 m ² 損害額 300 万円 堀こたつの火がふとんに着火
5. 12	上中町大鳥羽	住宅火災 焼損面積 104 m ² 損害額 100 万円 子供の火遊び
5. 16	小浜市竹長	炭焼小屋火災 全焼 1 焼損面積 60 m ² 損害額 5 千円 噴出した火焰が周囲の可燃物に着火
6. 19	上中町杉山	林野火災 焼損面積 15 a 焚火の不始末
7. 26	上中町日笠	林野火災 焼損面積 15 a 焚火の不始末
9. 14	上中町井ノ口	製材所火災 焼損棟数 5 焼損面積 1,106 m ² 損害額 1,007 万円 たばこの不始末
9. 26	小浜市東市場	住宅火災 全焼 1 焼損面積 120 m ² 損害額 71 万 6 千円 かまどの亀裂からの放熱が可燃物に着火
9. 28	小浜市浅間	寺院（常高寺）火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 90 m ² 損害額 110 万円 炭こたつの火がふとんに着火
12. 9	小浜市中の畑	神社火災 全焼 1 焼損面積 37 m ² 損害額 26 万円 火鉢の欠陥
12. 23	小浜市上竹原	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 31 m ² 損害額 8 千円 たばこの不始末



常高寺山門火災

昭和 40 年

1. 1	小浜市遠敷	住宅火災 半焼 1 焼損面積 30 m ² 損害額 19 万 5 千円 子供の火遊び
1. 17	小浜市浅間	住宅火災 半焼 1 焼損面積 42 m ² 損害額 21 万 1 千円 こたつの火入れの取扱い不良
3. 6	上中町日笠	住宅火災 負傷者 1 焼損面積 84 m ² 損害額 76 万 7 千円 堀こたつ構造不良

3. 13	小浜市遠敷	住宅火災 全焼 2 半焼 1 焼損面積 164 m ² 損害額 236 万 4 千円 ガソリンの容器が風呂焚き口付近で破損し引火
3. 23	小浜市上中井	林野火災 負傷者 1 焼損面積 10 a 焚火の不始末
4. 5	小浜市伏原	雑居ビル(貸店舗)火災 全焼 1 焼損面積 525 m ² 損害額 1,427 万 8 千円 原因不明
6. 14	上中町下吉田	住宅火災 焼損面積 60 m ² 損害額 32 万 5 千円 落雷
8. 27	小浜市中井	林野火災 焼損面積 80 a 焚火の不始末
8. 31	小浜市田島	林野火災 焼損面積 15 a 焚火の不始末
10. 13	上中町有田	住宅火災 焼損棟数 4 焼損面積 371 m ² 損害額 360 万 4 千円 放火
11. 8	小浜市西小川	物置火災 半焼 1 焼損面積 33 m ² 損害額 2 万円 子供の火遊び

昭和 41 年

2. 8	小浜市板屋町	工場火災 全焼 1 焼損面積 110 m ² 損害額 43 万 8 千円 箸乾燥機の火源が可燃物に着火
2. 10	小浜市下加斗	住宅火災 全焼 1 焼損面積 12 m ² 損害額 4 万 8 千円 取灰の再燃
2. 10	小浜市浅間	共同住宅火災 全焼 1 焼損面積 87 m ² 損害額 52 万 4 千円 ベンジンが練炭火鉢に落下
4. 7	小浜市今宮	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 半焼 1 焼損面積 196 m ² 損害額 96 万 9 千円 豆炭の火がカーテンに引火
7. 3	小浜市多賀	興行場火災 全焼 1 半焼 1 焼損面積 199 m ² 損害額 73 万 9 千円 原因不明
8. 30	小浜市青井	林野火災 焼損面積 30 a 損害額 1 万 6 千円 たばこの不始末
10. 7	小浜市金屋	住宅火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 149 m ² 損害額 98 万 1 千円 煙突構造の不備
10. 19	小浜市口小屋	林野火災 焼損面積 60 a 損害額 22 万円 たばこの不始末
12. 17	小浜市堅海	住宅火災 死者 1 負傷者 1 部分焼 1 損害額 6 千円 こたつの異常過熱

昭和 42 年

1. 23	小浜市塩釜	住宅火災	全焼 1 部分焼 1	焼損面積 53 m ²	損害額 43 万 9 千円	原因不明
1. 28	上中町井ノ口	住宅火災	焼損棟数 2	焼損面積 130 m ²	損害額 172 万円	パン焼器の過熱
3. 3	小浜市上竹原	住宅火災	焼損面積 100 a	枯草焼却の拡大		
3. 12	小浜市門前	住宅火災	全焼 3	焼損面積 256 m ²	損害額 156 万円	子供の火遊び
3. 26	小浜市東勢	林野火災	焼損面積 10 a	枯草焼却の拡大		
5. 22	小浜市阿納	林野火災	焼損面積 10 a	損害額 2 万 5 千円	たばこの投げ捨て	
5. 24	上中町海士坂	車両火災	1 台	損害額 20 万円	原因不明	
7. 24	上中町末野	林野火災	焼損面積 10 a	損害額 9 万円	たばこの不始末	
8. 3	小浜市多田	林野火災	焼損面積 269 a	損害額 3 万円	枯草焼却の不始末	
12. 26	小浜市太興寺	住宅火災	全焼 1 部分焼 1	焼損面積 119 m ²	損害額 88 万 5 千円	原因不明

昭和 43 年

1. 27	小浜市深谷	住宅火災	半焼 1	焼損面積 10 m ²	損害額 9 万円	風呂かまどの煙突破損部分から火源が漏洩
3. 10	小浜市貴船	住宅火災	死者 1	焼損面積 41 m ²	損害額 64 万 6 千円	電気こたつの過熱
3. 15	小浜市 北川左岸堤	その他火災	焼損面積 10,000 m ²	丸山橋上流	原因不明	
3. 16	小浜市湯岡	その他火災	焼損面積 2,400 m ²	機関車の煤煙で枯草が燃える		
3. 29	小浜市下根来	林野火災	焼損面積 20 a	損害額 4 万円	たばこの不始末	
4. 3	小浜市和久里	住宅火災	死者 1 部分焼 1	損害額 3 千円	豆炭こたつの火がふとんに着火	
4. 4	上中町下吉田	その他火災	焼損面積 50 m ²	焚火の拡大延焼		
4. 5	小浜市東勢	住宅火災	負傷者 1 全焼 5	焼損面積 422 m ²	損害額 340 万 3 千円	子供のマッチによる火遊び
4. 8	小浜市竹原	ガス爆発事故	負傷者 1	アセチレンガスの使用不良		

5. 10	小浜市阿納	林野火災 焼損面積 10 a 損害額 10 万円 たばこの投げ捨て
6. 8	小浜市神宮寺	住宅火災 全焼 1 焼損面積 96 m ² 損害額 69 万 5 千円 こたつの過熱
12. 21	上中町井ノ口	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 28 m ² 損害額 4 千円 やぐらこたつの過熱

昭和 44 年

1. 5	小浜市竹原	住宅火災 負傷者 1 半焼 1 焼損面積 22 m ² 損害額 6 万 4 千円 かまどの火の粉が飛火し付近の可燃物に着火
1. 8	上中町麻生野	住宅火災 全焼 1 焼損面積 81 m ² 損害額 101 万 2 千円 子供の火遊び
1. 10	小浜市竹原	倉庫火災 全焼 1 焼損面積 40 m ² 損害額 13 万 1 千円 炉（ドラム）の火源転倒落下
1. 24	名田庄村楨谷	住宅火災 全焼 3 負傷者 3 焼損面積 233 m ² 損害額 245 万円 掘りごたつの炭火の不始末
3. 25	小浜市 西津福谷	林野火災 焼損面積 10 a 損害額 4 千円 焚火の拡大
3. 26	小浜市上加斗	林野火災 焼損面積 30 a 損害額 9 千円 原因不明
4. 4	小浜市湊	住宅火災 死者 1 部分焼 1 焼損面積 2 m ² 損害額 5 千円 あんかから火種がこぼれ出火
4. 10	小浜市西相生	物置火災 全焼 1 焼損面積 33 m ² 損害額 9 万 1 千円 取灰の不始末
4. 13	小浜市堅海	林野火災 焼損面積 55 a 損害額 5 千円 焚火の拡大
4. 29	小浜市太良庄	住宅火災 負傷者 4 全焼 3 焼損面積 260 m ² 損害額 160 万円 子供のマッチによる火遊び
7. 27	小浜市多田	車両火災 1 台 損害額 5 万円 バッテリー配線の短絡
8. 4	小浜市太良庄	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 113 m ² 損害額 56 万 2 千円 たばこの火の粉が落ちる
8. 30	大飯町尾内	住宅火災 焼損棟数 12
9. 22	小浜市和多田	住宅火災 全焼 1 焼損面積 24 m ² 損害額 4 万 3 千円 焚火の飛火

組合発足以降の災害

(昭和 45 年 ～ 令和元年)

掲載された災害の基準	
火災	死傷者のあるもの
	損害額 5 万円以上
	建物火災の焼損面積 10 m ² 以上
	林野火災の焼損面積 10 a 以上
その他	特異な火災
	特異な災害
	死者のある交通事故
	死者のある労働災害
	自然災害
	緊急消防援助隊

昭和 45 年（1970 年）

★店舗併用住宅火災（小浜市竜田）

4 月 6 日 1 時 05 分頃小浜市竜田で発生した火災は、昭和 5 年頃建築された木造瓦葺き 2 階建ての店舗併用住宅 1 棟 4 世帯 357 m²を全焼し、さらに隣接する店舗併用住宅 1 戸 56 m²を部分焼、合計 413 m²を焼損した。

出火原因は、石炭ストーブの焚き殻を焚きつけ入れのダンボールに捨てた為、燻焼過程を経て出火に至ったものである。この火災における延焼拡大した要因として、家人だけで消火しようとしたためによる通報の遅れと各戸の屋根裏、小屋組に至るまでの防火壁および間仕切壁が全く施工されておらず、大屋根吹き通しのためドラフト現象が起こり、燃焼速度を速め拡大したものである。

尚、密集地であることから覚知と同時に、消防車 10 台、職団員 60 名が消火作業にあたったが、鎮火までに約 2 時間を要した。

2. 3	小浜市北塩屋	作業場火災 部分焼 1 損害額 6 万円 箸乾燥機の煙突から出火
2. 7	小浜市湊	作業場火災 半焼 1 焼損面積 64 m ² 損害額 50 万 6 千円 ストーブの火が可燃物に引火
2. 7	小浜市大宮	住宅火災 全焼 1 焼損面積 40 m ² 損害額 157 万 5 千円 石油ストーブの燃料の誤り
3. 14	小浜市住吉	住宅火災 負傷者 1 部分焼 1 焼損面積 2 m ² 損害額 7 千円 天ぷら油の引火
4. 1	小浜市東市場	その他火災 焼損面積 1,000 m ² 原因不明
4. 6	小浜市竜田	店舗併用住宅火災 全焼 4 半焼 1 焼損面積 413 m ² 損害額 1,027 万 9 千円 石炭からを不適當なところへ置く
4. 9	上中町武生	その他火災 焼損面積 2,000 m ² ゴミ焼却中に延焼拡大
4. 14	小浜市板屋町	作業場火災 焼損棟数 1 焼損面積 126 m ² 損害額 3 千円 煙突の火の粉の飛火
5. 3	小浜市多田	住宅火災 部分焼 1 損害額 10 万 7 千円 カラーテレビの絶縁不良
6. 6	小浜市福谷	作業場火災 全焼 1 焼損面積 126 m ² 損害額 191 万 8 千円 原因不明
7. 5	小浜市塩釜	車両火災 1 台 損害額 11 万 7 千円 ガスコンロの消し忘れ
7. 21	小浜市金屋	学校火災 部分焼 1 焼損面積 80 m ² 損害額 4 万円 漏電
7. 21	名田庄口坂本	住宅火災 全焼 1 焼損面積 75 m ² 損害額 80 万円 たばこの不始末
8. 10	高浜町日置	住宅火災 負傷者 1 ぼや 風呂かまど LPG 爆発

8. 11	小浜市今宮	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 半焼 1 部分焼 1 焼損面積 53 m ² 損害額 58 万 8 千円 原因不明
8. 29	小浜市上竹原	工場火災 損害額 15 万 5 千円 絶縁ワニスが熱源ヒーターに落ち引火
10. 10	高浜町中津海	作業場火災 全焼 1 焼損面積 52 m ² 損害額 5 万円 古材を焼却中火の粉がくず屋屋根に着火
11. 22	小浜市白鬚	旅館火災 部分焼 1 焼損面積 148 m ² 損害額 57 万 6 千円 石油ストーブ調整不良
12. 28	小浜市下中井	店舗火災 負傷者 1 部分焼 1 損害額 2 千円 プロパンガスのガス漏れによりバーナーの火が引火

昭和 46 年 (1971 年)

★山崩れ (小浜市金屋)

6 月 25 日未明、小浜市の中心街から約 3 キロメートル離れた山あいの農村地帯で、国指定の重要文化財と国指定の名勝である庭園を持つ万徳寺を望む金屋区で高さ 70 メートル、幅 150 メートルにわたって山崩れが起き、住宅離れで寝ていた一家 6 人を一瞬のうちに土砂が飲み込んだ。

午前 6 時頃、近所の人の通報により現場に急行したが、離れは完全に土砂に埋まり、飛び散った木材が土砂の中から頭をのぞかせ、救出活動のじゃまとなり、また、傾斜がきついため足場が悪く、救出作業は困難を極め、生存を祈りながら、若狭消防職団員、警察官、地元民等約 500 人が必死の救出作業にあたったが、祈りもむなしく午後 3 時頃までに、全員が遺体で発見された。

山崩れ事故は、台風や集中豪雨に起因するものが多い中、杉も植わった山が突然崩れるという前例のない大きな事故である。



金屋山崩れ

★強風下の高浜町で 17 棟焼失 (高浜町横町)

8 月 5 日、12 時 45 分頃約 4 万人の海水浴客でごった返す高浜町宮崎 (横町) において、瞬間風速 15m 以上という強風下で、製材所、民家を含む全焼 15 棟、部分焼 2 棟を焼失する大火があった。

原因としては、製材によりできた、おがくず、カンナくずを焼却、一旦消火したが、おりからの強風で再燃し、約 15m 離れた工場に燃え移り火災になったものである。尚、数年前から同一場所で焼却しており相当量が堆積していたと思われる。

出動車両は署から 6 台、33 名、団から 7 台、210 名、隣接の舞鶴東消防署から、ポンプ車 1 台、舞鶴消防団からもポンプ車 1 台、計 11 名の応援があった。負傷者も、職員 4 名、団員 2 名、一般人 5 名を出し現在でもキンヤ (屋号) の火事として語り継がれている。

★若狭高校部室全焼（小浜市千種）

9月24日19時25分頃、小浜市千種一丁目の若狭高校体育館南側にあるクラブ室より出火、木造平屋建てを全焼、隣接する音楽室の一部を含む、延べ284㎡を焼失し約1時間後に鎮火した。消防車8台、職団員合わせて約110名が消火にあたるなか、女子生徒は燃え上がるクラブ室を見て泣き叫び、駆け付けた男子生徒は、机やイスを運び出していた。

この火災により職団員それぞれ1名の負傷者を出した。

また、県高校野球大会2回戦への出場を見合わせた。出火原因については、火の気のないところからの出火の為、不明となっている。

2. 11	上中町脇袋	物置小屋火災 全焼1 半焼1 焼損面積 54 ㎡ 損害額 15 万円 取灰の不始末
2. 13	小浜市甲ヶ崎	危険物火災 損害額 5 万 5 千円 簡易タンクからガソリンが漏れマッチの火が引火
2. 14	高浜町難波江	住宅火災 全焼1 焼損面積 114 ㎡ 損害額 20 万円 こたつの火が建具に着火
3. 25	上中町上野木	林野火災 焼損面積 27 a 野焼きの不始末
4. 5	小浜市四合一	林野火災 焼損面積 10 a 枯草焼却の火が飛び火し拡大
4. 11	小浜市中井	その他火災 負傷者 1 焼損面積 1,000 ㎡ 枯草焼却の火が拡大
4. 13	小浜市西相生	林野火災 負傷者 2 焼損面積 10a 損害額 2 千円 枯草焼却の火が拡大
4. 13	小浜市西勢	林野火災 焼損面積 10 a 枯草焼却の火が飛び火し拡大
4. 16	高浜町山中	住宅火災 全焼1 焼損面積 283 ㎡ 損害額 230 万円 アイロン切り忘れ
5. 7	小浜市飯盛	住宅火災 部分焼1 焼損面積 10 ㎡ 損害額 15 万円 焚火の火がガソリンに引火し延焼拡大
6. 24	高浜町宮崎	木工工場火災 負傷者 1 ぼや 溶断機の火花がアセチレンガスに引火し延焼拡大
6. 25	小浜市金屋	山崩れ 高さ 70 メートル、幅 150 メートルにわたり山崩れが発生 未明の事故により一家 6 人死亡
8. 5	高浜町宮崎	作業場火災 負傷者 11 全焼 15 部分焼 2 焼損面積 1,768 ㎡ 損害額 2,211 万 2 千円 たき火の火の粉がおがくずに着火
9. 24	小浜市 千種 1 丁目	学校火災 負傷者 2 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 284 ㎡ 損害額 227 万 1 千円 原因不明
10. 5	高浜町菌部	車両（トラック）火災 1 台 損害額 10 万円 配線器具

10. 31	高浜町菌部	車両火災 負傷者 1 1 台 損害額 10 万円 車両転覆によりガソリン燃料が漏れエンジンの熱により発火
12. 7	高浜町音海	合板工場火災 半焼 1 焼損面積 202 m ² 損害額 324 万円 たき火の火の粉がチップに着火
12. 20	上中町井ノ口	工場火災 部分焼 1 損害額 42 万円 溶接の火花

昭和 47 年 (1972 年)

★旅館 2 棟全焼 (上中町大鳥羽)

1 月 31 日 18 時 36 分頃、上中町大鳥羽で発生した火災は、木造瓦葺 2 階建て旅館延べ 255 m²および別館 137 m²の 2 棟を全焼し、さらに店舗併用住宅および事務所 (駅) 2 棟を部分焼した火災である。

この火災の原因は、別館を新築中、大工が使用した木片を処理するため、近くで朝から焚火をしていたところ、折からの強風にあおられ飛火、延焼拡大した。当日は強風波浪注意報が発令中であった。

★大規模林野火災 (名田庄村納田終)

8 月 9 日午前 3 時頃、名田庄村納田終地係の国有林において、伐採作業に従事中の作業員のたばこの不始末から 27 ha (27 万 m²) を焼失する火災が発生した。

発生当時、営林署職員、作業員約 40 名で 8 時間にわたり消火作業を行ない、一旦成功したが再燃し、延焼拡大した為、消防機関に通報されたもので、鎮火は翌 10 日の午前 2 時 50 分と、一昼夜燃え続けたことになる。尚、9 日午後 11 時頃雨が降りはじめ、一挙に火勢はおとろえ、まさに恵みの雨となった。また、この火災により管理者を含め消防職団員および作業員等合わせて 190 名余りと小型ポンプ 10 台の出動があった。

1 31	上中町大鳥羽	旅館火災 全焼 2 部分焼 2 焼損面積 392 m ² 損害額 1,248 万 8 千円 焚火の火の粉が飛火
1. 31	高浜町田ノ浦	発電所火災 収容物のみ焼損 負傷者 1 損害額 82 万 7 千円 溶接の火花が可燃物に着火
2. 17	上中町井ノ口	工場火災 部分焼 1 損害額 65 万 9 千円 工業用炉の残火の処置の不十分
3. 3	名田庄村榎谷	車両火災 ライトバン 1 損害額 5 万円 焚火の飛び火
4. 1	小浜市阿納尻	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 42 m ² 損害額 20 万 8 千円 焚火の火粉
4. 4	小浜市和久里	住宅火災 部分焼 1 損害額 5 万円 子供の火遊び

4. 30	小浜市奥田縄	林野火災 焼損面積 30 a 損害額 6 万 6 千円 原因不明
6. 11	大飯町大島	住宅火災 全焼 1 焼損面積 237 m ² 損害額 747 万 2 千円 煙突周囲の野地板に着火したもの
7. 29	小浜市池河内	林野火災 焼損面積 20 a 損害額 5 万円 炭焼釜の焚き口から飛び火
7. 29	高浜町下車持	車両火災 1 台 損害額 47 万 5 千円 キャブレーター付近より出火
8. 7	小浜市犬熊	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 46 m ² 損害額 40 万 9 千円 ボイラー煙突の放熱により板材に着火
8. 9	名田庄村 納田終	林野火災 焼損面積 2,700 a 損害額 32 万円 たばこの不始末
8. 14	高浜町宮崎	射的場火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 13 m ² 損害額 8 万 7 千円 原因不明
8. 25	小浜市堀屋敷	住宅火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 141 m ² 損害額 68 万 1 千円 風呂かまどの焚き口から可燃物に着火
9. 12	名田庄村 口坂本	交通事故 死者 1 ショベルローダ運転中道路下へ転落下敷き
10. 7	高浜町若宮	旅館火災 負傷者 1 部分焼 1 焼損面積 30 m ² 損害額 83 万 5 千円 煙突が可燃物に接触（自動火災報知設備発報により発見）
10. 26	高浜町子生	納屋火災 部分焼 1 焼損面積 21.6 m ² 損害額 5 万 2 千円 マッチの火がガソリンに引火
11. 11	小浜市 新小松原	船具小屋火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 15 m ² 損害額 10 万円 焚火の火の粉が飛火し船具小屋に着火
11. 12	小浜市駅前町	車両火災 1 台 損害額 14 万 8 千円 原因不明
12. 4	高浜町日引	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 16 m ² 損害額 40 万 7 千円 漏れたガスに石油ストーブの火が引火
12. 9	上中町小原	倉庫火災 全焼 1 焼損面積 239 m ² 損害額 65 万 9 千円 マッチの不始末

昭和 48 年（1973 年）

★セスナ機墜落（名田庄村井上）

5 月 3 日、16 時 52 分名田庄村井上において、航空機墜落により生存者 1 名が重傷を負い救助を求めていると、救助要請の一報を受ける。

救助概要は、中日本航空所有のセスナ機により教習中、山肌に墜落し4名搭乗のうち1名が重傷（左鎖骨骨折、右下腿部骨折、頭部裂傷）を負いながらも自力で下山し付近の民家から救助を要請してきたものであり、重傷の下山者は救急隊により病院へ搬送した。尚、墜落現場の特定が困難であったため、病院での治療を終えた後、現場付近に立ち合わせ墜落現場の特定に協力を願った。その結果墜落現場は、一ツ谷国有林内通称長谷山標高 500m付近と判明した。



セスナ機墜落

18時10分救出対策本部を設置し、消防職、団員50数名他役場職員、県警捜索隊、国有林管理事務所員数名と合同で、捜索隊を結成し捜索活動に向かうが、日没と寒さにより困難を極めた。また、救出対策現場と捜索現場との連絡については、本部指揮車を中継局とし一昼夜、職員が交代で中継業務についた。捜索活動開始約10時間後の、翌日4時35分頃、機長の遺体と破損した機体の一部を発見、その6時間半後に救出対策本部を解散した。

慣れない山歩きと懐中電灯だけが頼りで、夜通しの捜索により、隊員は疲労の限界であったが、その活動に対して県警本部長および中日本航空（株）より、感謝状が贈呈された。

★落雷で4棟全半焼（小浜市加茂）

9月2日17時44分頃小浜市加茂で発生した火災は、住宅の茅葺き屋根トタン部に落雷したもので、木造茅葺き平屋建て住宅1棟、鉄骨平屋建て製菓工場1棟、木造平屋建て納屋を全焼し木造2階建て牛舎1棟が半焼の、延べ231㎡を全半焼した建物火災である。

出火時には豪雨を伴う雷が発生しており、消防車5台が出動し約1時間後に消し止めた。尚、罹災宅には3名の家族が居たが負傷はしていない。

1. 8	高浜町菌部	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 10 ㎡ 損害額 135 万 2 千円 線香が倒れマッチに着火
2. 1	小浜市下竹原	作業場火災 全焼 1 焼損面積 40 ㎡ 損害額 37 万円 ストープの煙突の過熱
4. 8	名田庄村下	休耕田火災 焼損面積 32 a 損害額 5 千円 枯草の焼却で延焼
5. 3	名田庄村井上	セスナ機墜落事故 死者 3 負傷者 1 出動隊員 13 消防団員 48) セスナ機が山腹に墜落
5. 14	上中町三宅	住宅火災 全焼 1 焼損面積 146 ㎡ 損害額 143 万 8 千円 風呂煙突の火粉が飛火
5. 14	名田庄村 奥坂本	炭焼小屋火災 全焼 1 焼損面積 12 ㎡ 損害額 13 万 3 千円 かまどの輻射熱により付近の可燃物に着火
6. 4	小浜市 山手 2 丁目	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 10 ㎡ 損害額 3 万 8 千円 風呂釜の空焚き

6. 13	名田庄村槇谷	労働災害 死者 1 ブルドーザー運転中道路が崩れ転落
7. 8	高浜町安土	船舶火災 1 隻 損害額 129 万円 気化したガソリンに引火
7. 16	高浜町東三松	住宅火災 半焼 1 焼損面積 24 m ² 損害額 26 万 8 千円 火遊び
8. 17	小浜市湊	住宅火災 全焼 1 焼損面積 68 m ² 損害額 75 万円 原因不詳
8. 17	高浜町和田	その他(国鉄線路脇枯草)火災 焼損面積 39 m ² たばこ投げ捨て
8. 30	小浜市神宮寺	その他(稲木)火災 損害額 6 万 6 千円 落雷により出火
9. 2	小浜市加茂	住宅火災 全焼 3 半焼 1 焼損面積 231 m ² 損害額 618 万 8 千円 落雷
10. 31	小浜市生守	住宅火災 死者 1 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 6 万円 たばこの火の不始末
11. 28	上中町瓜生	住宅火災 全焼 1 焼損面積 130 m ² 損害額 204 万 5 千円 堀こたつの火の不始末
11. 28	高浜町鐘寄	土蔵火災 部分焼 1 焼損面積 14 m ² 損害額 8 万 4 千円 マッチの燃えかすが落下し可燃物に着火
12. 27	小浜市日吉	作業場火災 全焼 1 焼損面積 194 m ² 損害額 277 万円 ストープの火が可燃物に着火したもの

昭和 49 年 (1974 年)

★クリーニング店より出火、7 棟焼失 (小浜市広峰)

1 月 9 日 20 時 43 分頃、小浜市広峰で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建てのクリーニング店から出火、全焼 7 棟、部分焼 1 棟の計 1,183 m²を焼失し、6 世帯 24 名が罹災、同日 21 時 53 分鎮火した。損害額は、2,695 万 7 千円で消防車 14 台、職団員 300 人が消火作業にあたった。この火災の原因は、LP ガス風呂の空焚きである。

大火になった原因は、クリーニング作業所のボイラー燃料、化学薬剤が燃焼したため、延焼速度を速め、また、付近一帯の家屋は隣接しており、消防隊が進入できず消火困難を極めた。



広 峰 7 棟 焼 失

★スナック喫茶より出火、6 棟焼失 (小浜市酒井)

1月21日2時55分頃、小浜市酒井スナック喫茶1階、女子店員室から出火した火災は、警防活動上密集商店街として指定している街区での火災であり、無風にもかかわらず6棟8店舗延1,157㎡を焼失、出火建物3階のレストラン従業員男性1名（17才）が焼死、消防隊員3名が負傷した。損害額は4,906万9千円で消防車15台、職団員250人が消火作業にあたった。

原因は、酷酔状態の女性店員による、石油ストーブの取扱い不良によるものであり、近くの外科病院では、入院患者の避難準備をしていた。



酒 井 6 棟 焼 失

★店舗併用住宅火災（小浜市一番町）

9月18日1時10分頃、小浜市一番町で発生した建物火災は、店舗が建ち並ぶ大手通りに面したところで、全焼2棟、半焼1棟、部分焼2棟の計577㎡を焼失したものである。

損害額は1,854万9千円で消防車14台を出動させ、消火作業にあたった。

この火災の原因については不明である。火災が拡大した要因としては、通報が遅れたことと店舗兼住宅と間取りが複雑で、建物が密集していたことがあげられる。

1. 9	小浜市広峰	住宅火災 全焼7 部分焼1 焼損面積1,183㎡ 損害額2,695万7千円 ガス風呂の空焚きにより浴槽に着火
1. 10	小浜市尾崎	工場火災 部分焼1 焼損面積30㎡ 損害額38万8千円 焼却炉の火の粉が飛火し工場内の可燃物に着火
1. 21	小浜市酒井	店舗火災 死者1 負傷者3 焼損棟数8 焼損面積1,157㎡ 損害額4,906万9千円 石油ストーブの取り扱い不良
1. 24	名田庄村 納田終	労働災害 死者1 出動車両1 出動隊員2 堀越トンネル新道取り付け作業中に地盤が崩れ、土砂に埋まったもの
1. 26	大飯町大島	寄宿舎火災 半焼1 焼損面積14㎡ 損害額26万円 ボイラー用モーターの加熱により、燃料の灯油に着火したもの
2. 18	小浜市遠敷	住宅火災 半焼1 焼損面積29㎡ 損害額20万1千円 マッチの火が藁に着火
2. 19	高浜町和田	造船所火災 部分焼1 焼損面積28㎡ 損害額52万5千円 ストーブにマッチで火をつけようとし漏れていた燃料に着火
4. 4	名田庄村下	休耕田火災 焼損面積10a 枯草焼却中に強風による飛び火
4. 4	高浜町和田	林野火災 焼損面積50a 損害額6万7千円 畦焼の火が山林に拡大
4. 10	小浜市小松原	物置小屋火災 部分焼1 焼損面積14㎡ 損害額14万6千円 子供の火遊び
4. 13	小浜市阿納尻	その他火災 焼損面積1,000㎡ 焚火の火が強風により拡大

5. 16	大飯町尾内	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 125 m ² 損害額 684 万 9 千円 原因不明
5. 25	上中町下野木	住宅火災 負傷者 1 半焼 1 焼損面積 30 m ² 損害額 76 万 1 千円 たばこの火の不始末
9. 18	小浜市一番町	住宅火災 全焼 2 半焼 1 部分焼 2 焼損面積 577 m ² 損害額 1,854 万 9 千円 原因不明
9. 19	高浜町菌部	納屋火災 部分焼 1 損害額 7 万 5 千円 籾乾燥機のバーナー部に灯油が漏れて引火
11. 1	上中町上野木	住宅火災 全焼 1 焼損面積 26 m ² 損害額 20 万 9 千円 子供の火遊び
11. 12	大飯町父子	住宅火災 半焼 1 焼損面積 70 m ² 損害額 151 万 4 千円 石油ストーブの異常燃焼によりカーテンに着火
12. 1	高浜町日置	住宅火災 負傷者 3 半焼 1 焼損面積 40 m ² 損害額 432 万 3 千円 石油ストーブに誤ってガソリンを補給し着火

昭和 50 年（1975 年）

★住宅密集地火災（小浜市鈴鹿）

2 月 24 日 3 時 35 分頃小浜市鈴鹿で発生した火災は、住宅密集地で木造瓦葺き 2 階建て 2 棟 167 m²を全焼および 1 棟半焼 38 m²、合計 205 m²を焼失した住宅火災であった。

出火原因は、白金カイロに燃料を注入してマッチで点火した際、漏れていた燃料のベンジンに引火し、慌てて叩き消そうとして燃料容器を倒し一気に火面が拡大し、火災となったものである。

出火当事者と家人による初期消火の失敗が極度に通報を遅らせているが、住宅密集地であるにもかかわらず被害が少なかった要因として、小規模建造物であったことが幸いしている。

★住宅火災（高浜町菌部）

3 月 3 日 0 時 20 分頃、高浜町菌部で発生した住宅火災は、木造 2 階建て、延べ 254.8 m² 全焼し死者(幼児)1 名、負傷者(大人)1 名であった。

この火災の原因は電気ストーブにふとんが触れ火災となったものと推定される。この日は非常に寒く里帰りしている孫が寒いだろうと思い、いつもは消している電気ストーブを孫が寝付くまで付け、消すのを忘れ寝付いてしまったために起こった火災であり、孫を助けようとして自分も負傷したものの。

★住宅火災（高浜町西三松）

8 月 25 日 10 時 40 分頃、高浜町西三松で発生した住宅火災は、木造 2 階建て、延べ 246.355

m²全焼し負傷者大人2名のうち1名は消防団員であった。

この火災の原因は、児童が机の上にダンボールを置きそこにローソクを立てマッチで火をつけ遊んでいるうちに忘れてしまい火災となった。

2. 24	小浜市鈴鹿	住宅火災 負傷者2 全焼2 半焼1 焼損面積205 m ² 損害額384万9千円 マッチの火がベンジンに引火
3. 3	高浜町菌部	住宅火災 死者1 負傷者1 全焼1 半焼1 部分焼1 焼損面積254 m ² 損害額688万3千円 電気ストーブがふとんに接触着火
3. 13	小浜市上根来	住宅火災 死者1 全焼1 焼損面積98 m ² 損害額82万2千円 マッチの火がプロパンガスに引火し爆発
5. 3	小浜市西勢	その他火災 死者1 放火
5. 10	小浜市遠敷	住宅火災 全焼1 焼損面積43 m ² 損害額44万9千円 プロパンガスボンベの締め付け部がゆるみ、ガスが漏れ引火
8. 4	上中町天徳寺	林野火災 焼損面積40 a たばこの火の不始末
8. 25	高浜町西三松	住宅火災 負傷者2 全焼1 部分焼1 焼損面積246 m ² 損害額618万円 机にローソクを立て、火をつけ放置
12. 14	高浜町音海	合板工場火災 部分焼1 焼損面積150 m ² 損害額22万3千円 原因不明

昭和51年（1976年）

★住宅火災（小浜市門前）

4月12日1時35分頃小浜市門前で発生した火災は、火のまわりが早く2棟を全焼した。出火と同時に、消防車10台が出動し消火作業を行ったが、2階建て土蔵1棟と木造茅葺き母屋1棟、延べ面積201 m²を焼失したものである。

出火原因は、土蔵内に収納した燐炭が再燃し土蔵および母屋に延焼したものである。

★作業場等3棟焼失（上中町下タ中）

7月2日3時50分頃、上中町下タ中で発生した火災は、木造トタン葺平屋建て大工小屋延べ85 m²、物置兼貸店舗延べ258 m²および製材小屋延べ122 m²の3棟全焼、3棟を部分焼した火災である。

出火原因については、大工が喫煙したたばこの火が落下したか、あるいは完全に消えなかったため、カンナくずに着火、時間の経過とともに延焼拡大し、出火に至ったものと推定される。

★箸乾燥場火災（小浜市新小松原）

12月18日20時25分頃小浜市新小松原で発生した火災は、木造トタン葺き平屋建ての塗箸乾燥場延べ71 m²が全焼したものである。

出火原因は、地場産業である塗箸の生地を乾燥機で乾燥中、合成樹脂塗料の可燃性ガスがヒーターの過熱により爆発燃焼し火災に至ったものと推定される。

乾燥機の吸気ファンは2基あるが、そのうち1基が故障で、設計上も排気ファンがなく、可燃性ガス濃度が容易に爆発範囲に達し本火災に至ったものであり、構造上の問題と使用方法に問題を提起し、注意を喚起した火災である。

2. 3	小浜市岡津	林野火災 焼損面積 12 a 損害額 1 万円 焚火の拡大
2. 8	上中町大鳥羽	住宅火災 死者 1 損害額 1 万円 堀こたつの火が着物に着火
3. 14	小浜市貴船	倉庫火災 焼損棟数 1 焼損面積 127 m ² 損害額 49 万円 原因不明
4. 10	高浜町関屋	林野火災 焼損面積 10 a 損害額 7 万 9 千円 畑の枯草焼却のため火をつけたところ山林に燃え広がる
4. 12	小浜市門前	住宅火災 全焼 2 焼損面積 201 m ² 損害額 186 万 3 千円 燐炭
4. 24	小浜市滝谷	住宅火災 全焼 1 焼損面積 69 m ² 損害額 864 万 8 千円 ガスコンロの消し忘れ
4. 25	小浜市 千種 1 丁目	車両火災 1 台 損害額 13 万 1 千円 溶接機の熱で普通乗用車の座席が燃える
6. 13	名田庄村榎谷	住宅火災 全焼 2 焼損面積 114 m ² 損害額 250 万 4 千円 原因不明
6. 28	小浜市多田	住宅火災 全焼 1 焼損面積 25 m ² 損害額 15 万円 子供の火遊び
7. 2	上中町下タ中	作業所火災 全焼 3 部分焼 3 焼損面積 465 m ² 損害額 2,297 万 6 千円 たばこの火の不始末
7. 13	小浜市生守	車両火災 1 台 損害額 81 万 9 千円 原因不明
7. 19	小浜市 新小松原	工場火災 部分焼 1 焼損面積 4 m ² 損害額 31 万 1 千円 箸乾燥機の電気スパーク
7. 30	高浜町青	物置火災 全焼 1 焼損面積 37 m ² 損害額 35 万 5 千円 原因不明
10. 3	大飯町万願寺	作業小屋火災 全焼 1 焼損面積 50 m ² 損害額 133 万 2 千円 籾乾燥機の燃料パイプから焚口に燃料漏れし、バーナーの火が着火
11. 28	小浜市後瀬町	共同住宅火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 15 万円 子供の火遊び
12. 18	小浜市 新小松原	工場火災 全焼 2 焼損面積 71 m ² 損害額 370 万 6 千円 箸乾燥機から出火

昭和 52 年（1977 年）

★製材所火災（上中町井ノ口）

3 月 16 日 3 時 00 分頃、上中町井ノ口で発生した火災は、木造トタン葺平屋建て大工小屋延べ 188 m² 1 棟を全焼、また、製材所 1 棟を部分焼した火災である。

出火原因については、作業をしていた大工が無意識に捨てた、たばこの吸い殻の不始末によるものである。

★工場火災（小浜市生守）

4 月 28 日 1 時 3 分頃小浜市生守で発生した火災は、鉄骨トタン葺き平屋建て、延べ面積 423.77 m² を焼失した火災である。

出火原因は、作業員が作業中吸っていたたばこの不始末により、火災に至ったと推定される。尚、この地域は急激に建物が増えていて住宅等の軒数の割には、消防水利が少なかった。

★旧・知三小学校火災（名田庄村久坂）

10 月 20 日 10 時 03 分頃、すでに廃校となった小学校（木造 2 階）の解体作業と並行して廃材の焼却中、付近の枯草に飛び火して延焼、元校長室付近の外壁に着火、これを発見した解体従事者 4 名がバケツで消火作業をしたが、火勢が強く、屋内へ延焼拡大した。

火災は、裏山および西隣の住宅に延焼拡大し、また、南川対岸の挙野集落にも飛び火した。

消防隊は、第 2 出勤により職員 27 名、消防団 139 名がポンプ車 4 台、消防団車両 10 台で消火作業にあたる。

対岸の挙野集落の飛び火については、付近住民のバケツリレーで消火したものの、火元の旧・知三小学校は全焼、西隣の住宅は半焼し、建物焼損面積合計は 1,174 m²、林野 75 a を焼失し、約 1 時間半後に鎮火した。



旧・知三小学校火災

★旅館火災（小浜市一番町）

10 月 23 日 22 時 18 分頃小浜市一番町で発生した火災は、木造モルタル壁瓦葺き 3 階建旅館、延べ 616.22 m² を全焼し約 1 時間半後に鎮火した。棟続きの別館には、観光客 12 名が宿泊しており、出火に気づき全員無事避難したが、消火にあたった職員、団員それぞれ 1 名が負傷した。

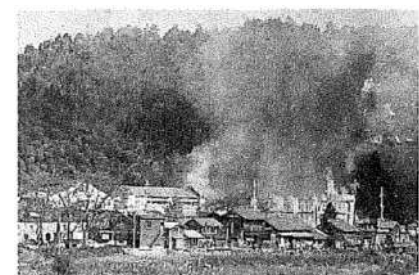
出火原因については、宴会客のたばこの不始末と思われる。尚、この火災では職、団員合わせて 302 名と 21 台の車両の出動となった。

1. 10	高浜町和田	集会場火災 部分焼 1 焼損面積 40 m ² 損害額 14 万 4 千円 原因不明
1. 27	上中町関	住宅火災 全焼 1 負傷者 1 焼損面積 241 m ² 損害額 1,670 万 1 千円 マッチの取扱い不良

2. 10	小浜市奈胡	住宅火災 全焼 1 焼損面積 232 m ² 損害額 115 万 4 千円 こたつの豆炭から掛ふとんに着火
2. 24	小浜市飛鳥	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 3 m ² 損害額 5 万円 アセチレン溶断機の不始末
3. 12	高浜町東三松	飲食店（レストラン）火災 部分焼 1 焼損面積 12 m ² 損害額 17 万 7 千円 電気こたつ（あんか）の取扱い不良
3. 16	上中町井ノ口	工場火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 2,128 m ² 損害額 1,326 万 4 千円 たばこの火の不始末
3. 17	高浜町青	製材所火災 半焼 1 焼損面積 137 m ² 損害額 44 万円 薪ストーブの残り火が木屑に着火
4. 4	大飯町大島	林野火災 焼損面積 20 a 焚火の不始末
4. 8	高浜町事代	住宅火災 半焼 1 焼損面積 14 m ² 損害額 4 万 6 千円 ボイラーストレーナ部の油漏れ
4. 9	小浜市大手町	車両火災 1 台 損害額 22 万 1 千円 原因不明
4. 23	小浜市岡津	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 141 m ² 損害額 255 万 4 千円 石油ストーブでワカメを乾燥中、着火したもの
4. 28	小浜市生守	工場火災 全焼 3 焼損面積 424 m ² 損害額 1,799 万 7 千円 たばこの不始末
6. 8	小浜市福谷	駐在所火災 全焼 1 焼損面積 59 m ² 損害額 389 万 1 千円 天ぷら鍋の過熱
9. 23	高浜町神野浦	住宅火災 全焼 1 類焼 2 焼損面積 195 m ² 損害額 484 万 8 千円 火遊び（ライターの火が新聞紙に着火）
10. 10	上中町三宅	車両火災 1 台 損害額 8 万 9 千円 エンジン排気管過熱でわらに着火
10. 20	名田庄村久坂	小学校火災 全焼 1 半焼 1 建物焼損面積 1,174 m ² 山林焼損面積 75 a 損害額 596 万 9 千円 解体作業中であった旧知三小学校の廃材を焼却中飛び火により旧校舎に着火
10. 23	小浜市一番町	旅館火災 負傷者 2 全焼 1 焼損面積 616 m ² 損害額 4,074 万 7 千円 たばこの不始末



駐在所火災



旧・知三小学校火災

昭和 53 年（1978 年）

★住宅併用作業場火災（小浜市日吉）

5 月 17 日 20 時 45 分頃小浜市日吉で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建ての住居兼桶製造作業場、延べ 115.2 m²および隣家 138.58 m²、計 253.78 m²を全半焼した。

出火原因は、送風機の過熱によるものか、従業員等のたばこによるものか、2 つ推定されるが断定までは至らない。

尚、この火災において市街地特有の間口の狭い奥行の深い建築物であったことが延焼拡大の原因になったといえる。

2. 23	小浜市野代	作業場火災 全焼 1 焼損面積 66 m ² 損害額 94 万 3 千円 焚火が飛散
4. 1	名田庄村三重	その他火災 焼損面積 1,000 m ² 南川河川敷においてダンボールを焼却中飛び火
4. 13	上中町井ノ口	その他火災 損害額 200 万円 神社境内の立ち木（大杉）に落雷
4. 15	名田庄村久坂	住宅火災 全焼 1 焼損面積 87 m ² 損害額 112 万 6 千円 原因不明
4. 23	小浜市下中井	住宅火災 全焼 1 焼損面積 117 m ² 損害額 258 万 1 千円 たばこの不始末
4. 30	高浜町湯谷	その他〈造成地〉火災 焼損面積 900 m ² マッチで火遊び
5. 2	小浜市竜前	作業場火災 全焼 1 焼損面積 50 m ² 損害額 23 万 7 千円 焚火が再燃し作業場に燃え移る
5. 17	小浜市日吉	住宅併用作業場火災 全焼 2 半焼 1 焼損面積 254 m ² 損害額 490 万円 原因不明
5. 30	小浜市多田	店舗火災 半焼 1 焼損面積 60 m ² 損害額 388 万 2 千円 原因不明
6. 2	小浜市上加斗	林野火災 焼損面積 50 a 損害額 49 万 4 千円 集塵機のマフラーから枯れ枝に着火
6. 3	上中町新道	林野火災 焼損面積 15 a 損害額 5 千円 たばこの火の不始末
6. 10	大飯町鹿野	林野火災 焼損面積 50 a 損害額 5 万 4 千円 たばこの吸殻の不始末
6. 23	小浜市 小松原川東	住宅火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 72 m ² 損害額 204 万 4 千円 アイロンを通電状態にして放置
7. 11	上中町下吉田	住宅火災 全焼 1 焼損面積 215 m ² 損害額 226 万 9 千円 たばこの火の不始末
7. 31	小浜市甲ヶ崎	その他火災 損害額 60 万円 廃材の延焼拡大
7. 31	名田庄村	林野火災 焼損面積 55 a 損害額 50 万 5 千円 たばこの不始末によ

	奥坂本	り枯草に着火
8. 27	高浜町車持	その他火災 焼損面積 300 m ² たばこの投げ捨てにより国鉄線路脇枯草に着火
10. 15	小浜市高塚	その他（稲木）火災 損害額 5 千円 放火の疑い（推定）
10. 15	小浜市栗田	その他（稲木）火災 損害額 8 千円 放火の疑い（推定）
10. 23	小浜市野代	車両火災 1 台 損害額 31 万円 交通事故により普通乗用車から出火
10. 24	小浜市本保	林野火災 焼損面積 10 a 損害額 8 万円 焚火が拡大
11. 8	小浜市東相生	住宅火災 全焼 1 焼損面積 171 m ² 損害額 1,245 万 6 千円 ガスストーブから火災に至る
12. 17	小浜市大湊	工場火災 負傷者 1 損害額 2 千円 石油ストーブの火が着衣に着火
12. 31	高浜町事代	住宅火災 負傷者 1 部分焼 1 焼損面積 12 m ² 損害額 19 万 2 千円 原因不明

昭和 54 年（1979 年）

★住宅火災（小浜市奥田縄）

1 月 2 日 5 時 40 分頃小浜市奥田縄で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建て住宅および納屋 2 棟、延べ 181.24 m²が全焼し消火作業には、職団員 42 名と 7 台の消防車があたり、約 1 時間後に鎮火した。

出火原因については、約 1 週間前に消したと思われる燐炭の再燃であると推定される。

★ローソク工場火災（名田庄村納田終）

5 月 9 日 13 時 15 分頃、名田庄村納田終（老左近）において、ローソク製造工場から火災が発生、鉄骨造平屋作業場 2 棟と車庫 1 棟、および隣接する農作業小屋 1 棟（4 棟合計 90 m²）が全焼した。

出火原因は、ローソクの原料であるパラフィンを営業用ガスコンロにかけたまま放置したため火災となったもので、消防職団員合計 43 名、消防車両 5 台で消火作業にあたり、約 30 分後に鎮火した。

この火災は、出場途上、消防自動車が道路上に流れ出したロウの上を通過しなければ水利部署できないため、やむをえず通過したが、車両の下部にロウが付着して走行に支障があり、また車両本体にも放水作業に支障があった。

★店舗火災（小浜市白鬚）

6 月 15 日 9 時 40 分頃小浜市白鬚で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建て店舗および住宅 3 棟、延べ面積 130 m²を半、部分焼した火災である。

出火原因は、店舗 2 階広間の祭壇のローソクである。尚、隣接する店舗は非常に密接しており、これが延焼拡大の原因になったといえる。

1. 2	小浜市奥田縄	住宅火災 負傷者 1 全焼 2 焼損面積 181 m ² 損害額 679 万 8 千円 袋に入れた燐炭が再燃
1. 30	高浜町和田	車両 (大型トレーラー) 火災 1 台 損害額 6 万 2 千円 その他 (バッテリーのスパークが燃料に引火)
3. 27	高浜町畑	住宅火災 全焼 1 焼損面積 45 m ² 損害額 17 万円 マッチでたばこにつけた火が新聞に着火
4. 18	高浜町上瀬	車庫火災 全焼 1 焼損面積 15 m ² 損害額 26 万 4 千円 燐炭が再燃し角材に着火
4. 22	名田庄村永谷	車両火災 1 台 損害額 98 万円 単独事故によりガソリンが漏れマフラーの過熱にて引火
4. 23	上中町井ノ口	作業場火災 全焼 1 焼損面積 133 m ² 損害額 96 万 6 千円 焼却炉からの飛び火
5. 9	名田庄村 納田終	工場火災 全焼 4 焼損面積 90 m ² 損害額 285 万 4 千円 パラフィン (ローソクの原料) をガスコンロ にかけたまま放置したため沸騰し 引火
5. 11	高浜町山中	林野火災 焼損面積 30 a 損害額 24 万 5 千円 原因不明
5. 22	小浜市熊野	林野火災 焼損面積 30 a たばこの不始末
6. 15	小浜市白鬚	店舗火災 半焼 2 部分焼 1 焼損面積 130 m ² 損害額 2,440 万 2 千円 祭壇のローソクが転倒
6. 24	小浜市 遠敷 5 丁目	住宅火災 半焼 1 焼損面積 27 m ² 損害額 170 万 2 千円 原因不明
8. 21	小浜市西勢	車両火災 1 台 損害額 20 万円 交通事故により出火
10. 14	小浜市矢代	車両火災 1 台 損害額 20 万円 セルモーターの配線短絡により出 火
10. 23	大飯町野尻	土蔵火災 全焼 1 焼損面積 46 m ² 損害額 51 万 1 千円 屋内で多量の 練炭を燃焼させ、周囲の可燃物に着火
10. 25	高浜町関屋 猪鼻峠	林野火災 焼損面積 270 a 枯れ枝を焼却中枯草に着火



上中町作業場火災



西勢車両火災

11. 16	小浜市 新小松原	作業場火災 全焼 1 半焼 1 部分焼 2 焼損面積 185 m ² 損害額 396 万 2 千円 箸の乾燥機から出火
12. 7	小浜市 水取 1 丁目	住宅火災 負傷者 1 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 9 万 8 千円 マッチの火がベンジンに引火

昭和 55 年（1980 年）

★住宅火災（小浜市浅間）

1 月 3 日 21 時 15 分頃小浜市浅間で、木造 2 階建て住宅 3 棟、木造平屋建て工場 1 棟を焼失する火災が発生した。

損害状況は、出火建物となった住宅が全焼、他の住宅 2 棟については、半焼と部分焼、隣接する工場を部分焼したもので、出火原因は放火であり、灯油を撒いてマッチで火をつけたもので、危険物火災特有の燃焼経路をたどり、延焼拡大したものである。

尚、この火災において、建物内部構造の複雑さと、電線が焼け落ち消火活動する隊員の足元で青い火花を発しながら跳ね回るなど消火活動に支障をきたした。

★住宅火災（上中町市場）

10 月 11 日 13 時 55 分頃上中町市場で発生した火災は、木造瓦葺 2 階建住宅延べ 148 m² 1 棟を全焼した火災である。

出火原因については、石油ストーブに火をつけたところ、燃焼筒付近より異常燃焼したため、屋外へ運び出そうとしたが、玄関でストーブを転倒させたため出火、延焼拡大したものである。

尚、当事者は玄関内で、焼死体で発見された。

1. 3	小浜市浅間	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 半焼 1 部分焼 2 焼損面積 126 m ² 損害額 266 万 3 千円 放火
1. 25	高浜町和田	住宅火災 全焼 1 焼損面積 197 m ² 損害額 658 万 1 千円 石油ストーブの上に干してある洗濯物に着火
3. 21	上中町杉山	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 133 m ² 損害額 328 万 9 千円 原因不明
3. 21	名田庄村下	住宅火災 全焼 1 焼損面積 99 m ² 損害額 249 万 4 千円 ライターの火遊び
3. 29	小浜市岡津	船舶火災 1 隻 損害額 11 万 7 千円 電気ストーブの上に可燃物が落下し出火（推定）
4. 24	大飯町大島	林野火災 焼損面積 30 a たばこの投げ捨て
5. 17	高浜町音海	合板工場（チップサイロ）火災 部分焼 1 焼損面積 12 m ² 損害額 21 万 8 千円 チップサイロに火源が入る

5. 19	小浜市北塩屋	住宅火災 半焼 1 焼損面積 16 m ² 損害額 30 万 7 千円 風呂の煙突の不良
5. 26	上中町井ノ口	住宅火災 負傷者 2 半焼 1 焼損面積 151 m ² 損害額 1,274 万 4 千円 ボイラー排気筒の過熱
6. 2	高浜町宮崎	店舗火災 部分焼 1 損害額 10 万 6 千円 原因不明
8. 16	高浜町宮崎	車両火災 1 台 負傷者 2 損害額 95 万 6 千円 車の燃料タンクに單車が衝突し火花がガソリンに引火
9. 15	小浜市西勢	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 77 万 2 千円 たばこの不始末
9. 15	上中町麻生野	作業所火災 全焼 1 焼損面積 154 m ² 損害額 333 万 6 千円 原因不明
9. 21	小浜市四分一	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 25 万 4 千円 風呂の煙突部分が可燃物に接触し着火
10. 11	上中町市場	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 148 m ² 損害額 1,460 万 1 千円 石油ストーブが転倒
10. 26	小浜市加茂	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 39 m ² 損害額 195 万 3 千円 原因不明

昭和 56 年（1981 年）

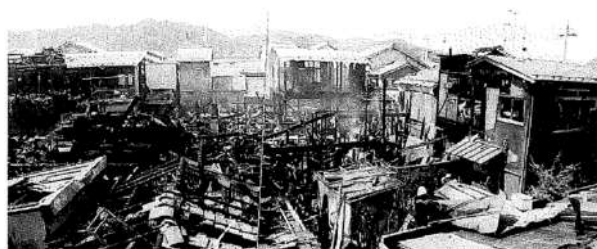
★寄宿舎火災（高浜町青）

2 月 8 日 21 時 00 分頃高浜町青で発生した寄宿舎火災は、プレハブ軽量鉄骨造 2 階建て、延べ面積 259.2 m²を全焼し死者大人 1 名であった。

この火災の原因は、不明。この建物は、関西電力（株）高浜発電所 3・4 号建設に伴う作業員寄宿舎で昭和 53 年頃より高浜町青、緑ヶ丘、立石に仮設建築物として建てられ多くの作業員がいた。

★県漁連倉庫火災（小浜市多賀）

4 月 29 日 13 時 55 分頃、小浜市内の密集地にある県漁連倉庫内（延べ面積 275 m²平屋建）より出火、その日は火災気象通報が発令されており風速 10m 近くある西の風の影響を受けて、次々と民家に延焼し、全焼 9 棟、半焼 1 棟、部分焼 4 棟の 1,104 m²を焼失、損害額は 6,609 万円、出動車両 23 台、出動人員 210 名を要し約 2 時間後に鎮火した。原因は、倉庫内で喫煙をしたとの証言もあり、その不始末



漁連倉庫火災

により出火したものと考えられる。

尚、この火災による死傷者等の人的被害はなかった。

★踏切内での列車事故（大飯町本郷）

8月16日16時10分頃、大飯町本郷丸山第6丹後道踏切内で、福知山発敦賀行きの列車と横断しようとした乗用車との衝突事故により、死者1名、重症者1名を出す交通事故が発生した。

現場到着時乗用車は、踏切より約110m小浜側に引きずられ、乗車員2名とも車内に閉じ込められており1名（助手席）は意識不明の状態、1名（運転手）は意識朦朧状態であった。

★合成樹脂工場火災（小浜市須縄）

9月2日12時12分頃、小浜市須縄合成樹脂工業所より出火した。

出火当時は、昼休みの時間で工場には従業員は居なく、火災の発見も遅れた。消火活動は、合成樹脂特有の臭気と多量の黒煙に悩まされる中、空気呼吸器不足により消火に支障をきたしたため、管内各分署より現場へ集結させ交換しながら装着の後消火活動を行い、1時間後に鎮火したが、工場は全焼し、焼損面積389㎡、損害額は1,747万3千円となった。

この火災の原因は、紙袋を焼却炉で燃やしていたところ、火の粉が付近にあったプラスチック製品に燃え移ったものである。

1. 5	上中町熊川	住宅火災 部分焼1 焼損面積11㎡ 損害額27万6千円 マッチによる火遊び
2. 6	小浜市 水取4丁目	住宅火災 死者1 半焼1 焼損面積43㎡ 損害額155万5千円 マッチの不始末
2. 8	高浜町青	寄宿舎火災 死者1 全焼1 焼損面積259㎡ 損害額592万9千円 原因不明
3. 27	小浜市西相生	その他火災 負傷者2 放火
4. 29	小浜市多賀	倉庫火災 全焼9 半焼1 部分焼4 焼損面積1,104㎡ 損害額6,609万円 たばこの不始末
6. 8	名田庄村 納田終	交通事故 負傷者1 居眠り運転の乗用車が水田へ転落、農作業をしていた女性が下敷きとなる
8. 2	大飯町長井	倉庫火災 全焼1 焼損面積35㎡ 損害額16万2千円 原因不明
8. 9	名田庄村 奥坂本	交通事故 負傷者1 坂道に乗用車を駐車、サイドブレーキを引き忘れたため乗用車が動きだし、止めようとして乗用車の下敷きとなる
8. 16	大飯町本郷	交通事故 死者1 負傷者1 国鉄小浜線下り列車と乗用車が衝突し乗用車の車内に閉じ込められる



漁連倉庫火災

9. 2	小浜市須縄	工場火災 全焼 2 焼損面積 389 m ² 損害額 1,747 万 3 千円 焼却炉の火の粉
9. 6	小浜市堀屋敷	車庫火災 全焼 1 焼損面積 302 m ² 損害額 1,219 万 4 千円 子供の火遊び
9. 20	小浜市泊	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 1 m ² 損害額 5 千円 放火
10. 4	上中町熊川	物置火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 1 千円 ゴミの焼却の火が下屋に燃え移る
10. 28	大飯町石山	林野火災 焼損面積 6 a 損害額 7 万 4 千円 焚火の飛び火により周囲の枯草に着火
11. 5	大飯町本郷	住宅火災 焼損面積 442 m ² 損害額 18 万 6 千円 原因不明
12. 5	高浜町西三松	住宅火災 半焼 1 焼損面積 96 m ² 損害額 507 万 6 千円 ホームこたつ用電熱器の不適切な取り扱い

昭和 57 年（1982 年）

★住宅火災（高浜町下車持）

1 月 9 日 14 時 05 分頃、高浜町下車持で発生した住宅火災は、木造平屋建て延べ 153.7 m²を全焼した。

この火災の原因となったのは、児童が仏壇のローソクにマッチで火をつけ、このマッチの捨て場にこまりゴミ箱として使用しているダンボール箱に捨てたところ、燃え上がり恐ろしくなって外へ出たため火災となった。

★店舗併用住宅火災（小浜市駅前町）

4 月 1 日 5 時 00 分頃小浜市駅前町、駅通り商店街の密集地で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建ての店舗併用住宅延べ 146 m²を全焼した火災で、ラスモルタルに流れた電流がスパークして腰板部に着火し、延焼したと推定される。

★住宅火災（高浜町日置）

8 月 24 日 16 時 06 分頃、高浜町日置で発生した住宅火災は、木造平屋建て延べ 54 m²を全焼、ほかに類焼として半焼 1、部分焼 1 の 38 m²を焼失し、負傷者を 1 名だした。

この火災の原因は、44 歳の女性が部屋でゴミを新聞紙に包み火をつけたため火災となったもの。この建物は、高浜町営住宅として昭和 42 年に建築された建物である。

1. 9	高浜町下車持	住宅火災 全焼 1 焼損面積 153 m ² 損害額 498 万 9 千円 仏壇ローソクに火をつけたマッチをダンボール箱に捨てたもの
2. 3	小浜市福谷	工場火災 部分焼 1 焼損面積 8 m ² 損害額 24 万 5 千円 箸乾燥機内

		から出火
3. 14	上中町安賀里	その他火災 焼損面積 27 a 損害額 1 千円 野焼きの延焼拡大
3. 30	小浜市東勢	林野火災 焼損面積 40 a たばこの不始末
3. 30	上中町麻生野	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 16 m ² 損害額 1 万 2 千円 ガスコンロの火を付けたまま放置
4. 1	小浜市駅前町	店舗火災 全焼 1 焼損面積 110 m ² 損害額 495 万 5 千円 電気配線のスパークで出火
5. 9	大飯町大島	林野火災 負傷者 1 焼損面積 40a 損害額 3 万 3 千円 携帯コンロを芝の上におき使用、付近の枯草に着火
5. 13	小浜市広峰	病院火災 半焼 1 焼損面積 20 m ² 損害額 54 万 3 千円 屋根野地板と煙突が接触していたため出火
7. 3	上中町兼田	林野火災 焼損面積 10 a 損害額 15 万 5 千円 蜂を追い払おうとして火をつけ延焼拡大
8. 3	大飯町大島	納屋火災 部分焼 1 焼損面積 8 m ² 損害額 38 万 4 千円 たばこの火がポリ容器から洩れ出たガソリンに引火
8. 20	小浜市伏原	その他火災 焼損面積 17 m ² 損害額 14 万 2 千円 焚火の火の粉が飛散
8. 24	高浜町日置	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 半焼 1 部分焼 1 焼損面積 92 m ² 損害額 452 万 9 千円 部屋で新聞紙にゴミを包みマッチで火をつけたところ裾に燃えうつる
9. 7	高浜町安土	作業場火災 半焼 1 焼損面積 20 m ² 損害額 158 万 6 千円 たばこの吸殻を床に投げ捨てたところゴミに着火
10. 17	小浜市生守	工場火災 全焼 1 焼損面積 132 m ² 損害額 234 万 8 千円 薪を煙道の外壁トタンに接し積み置いたため高温となり出火
10. 28	小浜市 雲浜 1 丁目	物置火災 全焼 1 焼損面積 34 m ² 損害額 5 万 6 千円 廃材の焼却中飛火
12. 15	小浜市堀屋敷	店舗火災 部分焼 1 焼損面積 9 m ² 損害額 6 万 6 千円 石油ストーブの輻射熱により出火

昭和 58 年（1983 年）

★畳床製造工場火災（小浜市遠敷 8 丁目）

2 月 10 日 16 時 30 分頃、小浜市遠敷 8 丁目、畳床製造所から出火した火災は、わら置き場から燃え広がり作業所など 4 棟を全焼、計 451 m²を焼失し 1 時間 30 分後に鎮火した。

損害額は 2,150 万 4 千円に達し、原因は不明扱いとなっている。



畳床製造工場火災

★フェーン現象下での林野火災（名田庄村納田終）

4 月 26 日 11 時 55 分、異常乾燥・火災気象通報発令下、名田庄村納田終棚橋谷で林野火災が発生、消防車両 17 台、消防職団員 183 名が出動して消火活動を実施し、約 4 時間後、山林 280 a を焼失して鎮火。尚、消火作業中火傷により、2 名の負傷者があった。



名田庄村林野火災

1. 6	小浜市青井	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 2 m ² 損害額 3 万 2 千円 子供の火遊び
2. 1	大飯町石山	住宅火災 死者 1 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 316 m ² 損害額 1,271 万 4 千円 練炭火鉢の上に可燃物が落下
2. 2	小浜市本保	住宅火災 全焼 1 焼損面積 109 m ² 損害額 196 万 4 千円 ガスコンロの消し忘れ
2. 10	小浜市 遠敷 8 丁目	工場火災 全焼 4 焼損面積 451 m ² 損害額 2,150 万 4 千円 原因不明
2. 16	小浜市大宮	住宅火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 167 m ² 損害額 903 万 9 千円 風呂の取灰の不始末
2. 28	小浜市下竹原	船舶火災 1 隻 損害額 8 万 3 千円 たばこの投げ棄て（推定）
3. 20	大飯町大島	社会福祉施設火災 部分焼 1 損害額 2 万 2 千円 食器乾燥機のサーモスタット不良により乾燥中のプラスチック容器に着火
3. 26	高浜町 下車持高森	車両火災 1 台 損害額 46 万 3 千円 交通事故により燃料タンクのホースが抜け、漏れたガソリンに電気スパークの火が引火
4. 6	高浜町神野	林野火災 焼損面積 10 a 枯草を焼却しようと火をつける
4. 25	小浜市伏原	寺院火災 部分焼 1 焼損面積 17 m ² 損害額 79 万 9 千円 放火疑い

4. 26	名田庄村 納田終	林野火災 負傷者 2 焼損面積 280 a 損害額 152 万 鉄塔工事中にエンジンカッターを使用し火花が枯草に着火
5. 23	小浜市和久里	工場火災 全焼 1 焼損面積 90 m ² 損害額 407 万 6 千円 木製箸のおがくずが高温のため出火
5. 29	小浜市奈胡	林野火災 焼損面積 13 a 損害額 1 万 4 千円 たばこの不始末
5. 30	上中町大鳥羽	住宅火災 全焼 1 焼損面積 167 m ² 損害額 985 万円 天ぷら油の過熱による発火
5. 31	大飯町大島	林野火災 焼損面積 4 a 損害額 5 万円 焚火の再燃
6. 5	高浜町菌部	林野火災 焼損面積 80 a 損害額 16 万円 粃殻に火をつけ放置したところ枯草に燃え移る
6. 17	上中町下タ中	土蔵火災 全焼 1 焼損面積 51 m ² 損害額 232 万円 焚火の火の粉が飛火
8. 3	高浜町和田	浜茶屋火災 全焼 1 焼損面積 140 m ² 損害額 62 万円 おでん釜の火の消し忘れ
8. 8	高浜町東三松	その他(キューピクル)火災 負傷者 1 損害額 100 万円 ブレーカー一次側端子接続不良
8. 15	高浜町音海	住宅火災 負傷者 1 部分焼 1 焼損面積 37 m ² 損害額 18 万 7 千円 クーラー電源コード不良による短絡
8. 26	小浜市加茂	牛舎火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 56 m ² 損害額 52 万 4 千円 蚊くすべの火種が藁に落下
9. 16	高浜町若宮	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 1 m ² 損害額 14 万 3 千円 蚊取り線香の放置
12. 23	大飯町本郷	住宅火災 半焼 1 焼損面積 23 m ² 損害額 63 万 9 千円 石油ストーブの取り扱い不良により障子に着火

昭和 59 年（1984 年）

★59 豪雪（若狭豪雪）

昭和 58 年 12 月中旬から昭和 59 年 3 月末まで異常気象が持続し、これに断続的な強い降雪が加わって大雪となった。

積雪分布の特色は嶺南大雪型となり、積雪状況は、「38」「52」「56」の記録を上回り、特に昭和 59 年 1 月 27 日から 2 月 9 日の昼まで降り続いた雪は、若狭地方に大きな影響を与えた。

1 月 31 日、上中町雪害対策本部を設置、2 月 8 日豪雪対策本部に切り替え、中心部で積雪 140cm、河内では 330cm を記録し孤立状態となった。

2 月 6 日には、名田庄村、小浜市と共に豪雪対策本部、雪害対策本部が設置され、2 月 10 日には雪は一息ついたものの、名田庄村永谷区では、20 日間以上も孤立状態が続き、小浜市中心部での最深積雪は 135cm で、明治 42 年からの累年極値となった。

2 月 9 日、大飯町は雪害対策本部を設置、当時の国鉄小浜線が全面運休となり、交通機関にも影響が出た。大飯町内の積雪量は、本郷で 85cm、川上では 150cm、大島でも 100cm を観測した。

また、高浜町においても 2 月 11 日に雪害対策本部を設置し、最深積雪 165cm を記録した。

被害は、屋根の雪降ろし中の転落事故による死傷者や、住宅・物置の全壊・半壊等による被害をもたらせた。



59 豪雪

★寺院火災（小浜市東相生）

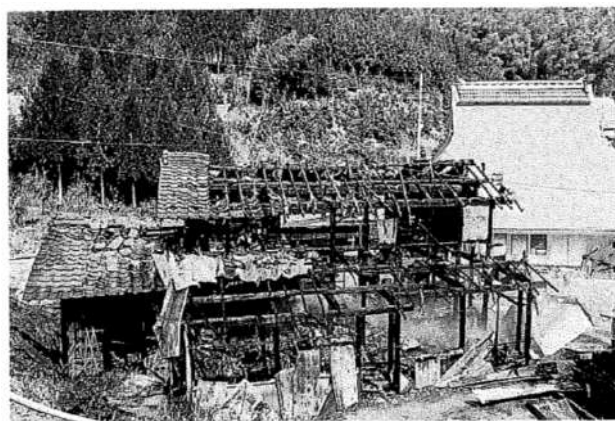
2 月 26 日 17 時 40 分頃、小浜市東相生、興禅寺で発生した火災は庫裏から出火し、廊下で接続された本堂に延焼拡大、庫裏および本堂が全焼、計 416 m²を焼失し、1 世帯 2 人が罹災した。損害額は、1,303 万 6 千円である。

この火災の原因は、石油ストーブの上部で干されていた洗濯物が落下したものである。

★箸工場火災（小浜市奥田縄）

4 月 17 日 12 時 20 分頃小浜市奥田縄で発生した火災は、木造瓦葺き（一部トタン葺き）2 階建て箸工場、延べ面積 153.3 m²および隣接している木造トタン葺き平屋建て倉庫、延べ面積 34.83 m²の 2 棟が全焼した火災である。

この火災の原因は不明であるが、火元である箸乾燥室には灯油を燃料とした温風機が置いてありバーナーを使用していた為、温風機との関連が深い。



奥田縄箸工場火災

1. 18	小浜市生守	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 7 万 5 千円 煙突貫通部の炭化による発火
1. 21	名田庄村 納田終	工場火災 部分焼 1 焼損面積 (収容物のみ) 損害額 14 万 9 千円 オイルヒーターの異常過熱により出火
1. 25	上中町三宅	作業場火災 部分焼 1 焼損面積 2 m ² 損害額 11 万 1 千円 合糸機故障による摩擦熱が繊維屑に着火
1. 27	高浜町日引	船小屋火災 全焼 2 焼損面積 209 m ² 損害額 554 万 6 千円 電気配線の短絡により出火
2. 8	若狭地方	59 豪雪 1 月 27 日から 2 月 9 日まで降り続いた雪は、嶺南大雪型となり、「38」「52」「56」の記録を上回り、死傷者や、住宅等の全・半壊、孤立状態等生活に影響をおよぼした。
		
2. 26	小浜市東相生	寺院火災 全焼 2 焼損面積 416 m ² 損害額 1,303 万 6 千円 石油ストーブの上に干してあった洗濯物が落下
4. 17	小浜市奥田縄	工場火災 全焼 2 焼損面積 188 m ² 損害額 1,042 万 4 千円 原因不明
4. 26	小浜市尾崎	林野火災 焼損面積 10 a 損害額 10 万円 焚火の火粉
4. 29	高浜町高野	林野火災 焼損面積 20 a 損害額 1 万 3 千円 畦草焼をしようと火入したところ休耕田枯草に燃え移る
6. 21	高浜町関屋	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 168 万円 たばこ吸殻を紙袋に入れゴミ箱に捨てたところ再燃し着火
8. 3	小浜市青井	車両火災 死者 1 1 台 損害額 38 万 4 千円 放火
8. 13	大飯町大島	林野火災 焼損面積 30 a たばこの投げ捨て
9. 2	小浜市遠敷	倉庫火災 部分焼 1 焼損面積 3 m ² 損害額 10 万円 粃乾燥機の取扱い不良
9. 21	小浜市太興寺	住宅火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 134 m ² 損害額 94 万 6 千円 原因不明
10. 10	小浜市 水取 4 丁目	住宅火災 半焼 1 焼損面積 41 m ² 損害額 158 万 6 千円 こたつの配線老朽

昭和 60 年（1985 年）

★箸工場火災（小浜市新小松原）

10 月 24 日 23 時 55 分頃、小浜市新小松原で発生した箸製造作業場の火災は、木造平屋建てから出火し、全焼 6 棟、部分焼 2 棟の計 483 m²を焼失し、翌 25 日 1 時 35 分鎮火した。

損害額は、6,803 万 3 千円である。この火災の原因は不明である。

8 棟焼失については、箸製造作業場等が密集地にあり、強風等悪条件が重なったことによるものと思われる。



小松原箸工場火災

1. 22	大飯町尾内	交通事故 負傷者 2 普通トラックが運転操作を誤り海へ転落し運転者が左足大腿部を座席とハンドルに挟まれ脱出不可能となったもの
2. 5	小浜市新小松原	住宅火災 全焼 1 部分焼 2 焼損面積 203 m ² 損害額 698 万 3 千円 マッチの不始末
3. 16	小浜市太良庄	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 102 m ² 損害額 113 万円 焚火の拡大
3. 19	大飯町尾内	交通事故 負傷者 1 町道から国道に出ようとした軽トラックが西進中の大型トラックと衝突、その反動で東進してきた大型トラックと衝突した三重衝突事故で軽トラック運転手が座席と前面ボディに両足を挟まれ脱出不可能となったもの
4. 22	小浜市 雲浜 1 丁目	物置火災 全焼 1 焼損面積 4 m ² 損害額 7 万 4 千円 取灰の不始末
5. 15	小浜市西勢	物置火災 全焼 1 焼損面積 33 m ² 損害額 3 万円 焚火の拡大
5. 26	大飯町犬見	車両火災 1 台 損害額 33 万 3 千円 摩擦による火花または電気関係のアーキにより漏れたガソリンに引火
8. 9	高浜町事代	住宅火災 半焼 1 部分焼 3 焼損面積 82 m ² 損害額 176 万 8 千円 たばこが灰皿から落ちふとんに着火
8. 23	小浜市奥田縄	林野火災 焼損面積 2 a 損害額 15 万円 たばこの不始末
8. 26	高浜町笠原	林野火災 焼損面積 60 a 損害額 1 万円 原因不明
10. 24	小浜市 新小松原	工場火災 全焼 6 部分焼 2 焼損面積 483 m ² 損害額 6,803 万 3 千円 原因不明
11. 20	上中町上野木	車庫火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 15 m ² 損害額 30 万 8 千円 原因不明

11. 22	小浜市四谷町	その他火災 損害額 16 万 4 千円 点灯中の投光器に可燃物が接触し発火
11. 27	小浜市伏原	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 3 m ² 損害額 8 万 8 千円 天ぷら鍋の過熱により油に着火

昭和 61 年（1986 年）

★店舗火災（上中町熊川）

1 月 28 日 5 時 40 分頃、上中町熊川で発生した火災は、木造トタン葺 2 階建店舗延べ 176 m²、1 棟を全焼した火災である。

出火原因については、従業員が吸ったたばこが灰皿から座ぶとん上に落下したため、座ぶとんおよび畳が長時間無炎燃焼し出火、延焼拡大したものである。

尚、当日は約 90cm の積雪があり消火活動に困難を極めた。



熊川店舗火災

★倉庫火災（小浜市生守）

6 月 21 日 7 時 10 分頃、小浜市生守の倉庫として使用している、鉄骨造平屋建て一部 2 階スレート葺 799.11 m²のうち、中央に位置するサイロ部 43.4 m²を焼失する火災が発生した。この倉庫は、以前製材所として使用しており、サイロ部には相当量のオガクズ、ひき粉が堆積されたままで、原因としては前日鉄骨を焼き切る作業の火花が、ひき粉等に相当飛んで当日燃えあがったものである。尚、早朝より松くい虫防除をしていた中日本航空がヘリコプターにより空中消火を実施、火災消火に多大な協力を得た。

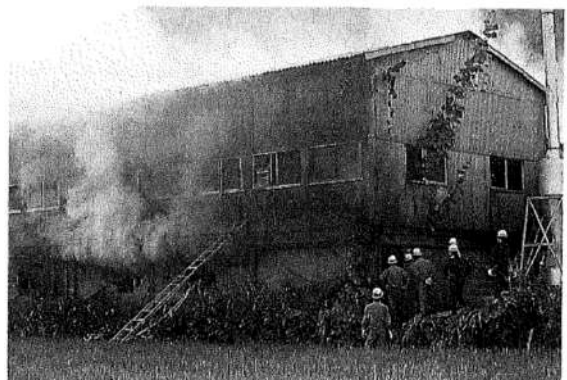


倉庫火災

★木工所火災（小浜市須縄）

8 月 1 日 3 時 00 分頃、小浜市須縄で延べ 255.9 m²を有する鉄骨造屋根波スレート葺き 2 階建木工場を焼失する火災が発生した。現場は国道 162 号線沿いでホース延長に支障をきたし、水利も 200 m 以上離れており予想以上に長時間にわたる消火活動となった。

また、1 階物置部分には、オガクズ、木端等が大量に堆積されており、出入り口も少なかったことから効果的な注水ができないと判断し、すべての出入り口をふさぎ、泡放水による窒息消火を実施、効果を得た。



木工所火災

★船舶火災（高浜町和田）

8月3日10時06分頃、高浜町和田で発生した船舶火災は、モーターボート2艇を全焼した。

この火災の原因は、モーターボートエンジンルームに可燃性ガス（ガソリン）が充満していた。これにエンジン始動の火花が引火したもの。この船舶は高浜町所有の水難救助艇「PT3」として昭和52年に購入された。また類焼した福井県警所有の巡視艇「すいせん」は昭和53年に購入されたもので、どちらの船舶も福井県立若狭和田マリーナに係留されていた。

1. 1	小浜市鯉川	住宅火災 全焼1 焼損面積 137 m ² 損害額 128 万円 天ぷら鍋の加熱により油に着火
1. 28	上中町熊川	店舗火災 全焼1 焼損面積 176 m ² 損害額 3,619 万 6 千円 たばこの火の不始末
2. 4	名田庄村 口坂本	住宅火災 負傷者 1 全焼1 焼損面積 77 m ² 損害額 106 万 3 千円 放火の疑い
2. 27	高浜町安土	作業員休憩所火災 部分焼1 焼損面積 13 m ² 損害額 7 万 1 千円 薪用ストーブにマシン油を入れ燃やそうとしたところ誤ってガソリンを入れたもの
3. 13	上中町黒田	住宅火災 全焼1 焼損面積 115 m ² 損害額 924 万 9 千円 石油ストーブ使用方法の不良
3. 21	上中町天徳寺	店舗火災 全焼1 焼損面積 140 m ² 損害額 679 万円 石油ストーブに可燃物が落下
4. 2	大飯町大島	飲食店火災 全焼1 焼損面積 108 m ² 損害額 1,557 万 4 千円 消したはずのたばこの再燃によりゴミ箱内の紙屑に着火拡大したもの
4. 3	小浜市熊野	林野火災 焼損面積 12 a 損害額 20 万円 焚火の拡大
4. 5	高浜町西三松	住宅火災 全焼1 半焼1 部分焼1 焼損面積 54 m ² 損害 115 万 6 千円 原因不明
4. 14	大飯町大島	林野火災 焼損面積 16a 焚火の火が飛散し付近の枯草に燃え移る
4. 16	小浜市 雲浜1丁目	物置火災 全焼1 焼損面積 31 m ² 損害額 2 万 1 千円 焼却炉からの飛火
5. 6	高浜町岩神	工場火災 全焼1 焼損面積 191 m ² 損害額 709 万 4 千円 原因不明
5. 17	小浜市飯盛	作業場火災 全焼1 焼損面積 269 m ² 損害額 353 万 5 千円 溶接機の火花の飛散
5. 18	高浜町宮崎	車両火災 1 台 負傷者 1 損害額 9 万 4 千円 ガソリンを盗もうとライターで明かりを取ったところ引火

6. 21	小浜市生守	倉庫火災 部分焼 1 焼損面積 43 m ² 損害額 59 万 5 千円 溶接機の火花の飛散
7. 18	小浜市飯盛	車両火災 1 台 損害額 6 万円 ブレーキドラムの過熱
8. 1	小浜市須縄	倉庫火災 部分焼 1 焼損面積 128 m ² 損害額 310 万 4 千円 原因不明
8. 3	上中町上吉田	物置火災 部分焼 1 焼損面積 15 m ² 損害額 15 万 6 千円 原因不明
8. 3	高浜町和田	船舶(救助艇) 火災 2 隻 損害額 52 万 1 千円 スパークによりエンジンルーム内の気化ガソリンに引火
8. 25	小浜市広峰	車両火災 1 台 損害額 53 万 4 千円 たばこの吸い殻が車内に落下し出火
9. 7	高浜町難波江	林野火災 負傷者 1 焼損面積 40a 損害額 27 万 8 千円 たばこの投げ捨てにより枯れ葉に着火
12. 21	小浜市 川崎 1 丁目	船舶火災 1 隻 負傷者 1 損害額 22 万 7 千円 船倉内のガス漏れ爆発

昭和 62 年 (1987 年)

★燃糸工場火災 (小浜市小屋)

1 月 27 日 14 時 25 分頃小浜市小屋で発生した火災は、軽量鉄骨造平屋建て燃糸工場、延べ 271.29 m²と木造瓦葺き 2 階建て作業場、延べ 93.27 m²が全焼した火災である。出火原因は、刺繍糸の製造中、機器のプーリー軸受部分に刺繍糸の繊維が絡み付き回転の摩擦により発熱着火したものである。

工場内に設置してある燃糸機、編上げ機および合糸機等数十台が全焼し多大な損害を出した。

★密集地で建物火災 (大飯町本郷)

4 月 5 日 0 時 50 分頃、大飯町本郷の戦前から使用している老朽建物が多く、駅、銀行、商店等が密集した中心部で、住宅火災が発生、延焼拡大し、倉庫、大工小屋等全焼 3 棟、部分焼 3 棟の計 6 棟を焼失する火災が発生した。

出火原因と推定されるのが、ガラス製灰皿に山積みされ捨ててあった吸い殻が、約 5 時間後に再燃しその熱により灰皿が破損、火のついた吸い殻が飛び散り火災になったもので損害額としては、約 771 万円の被害が出ている。特にたばこの不始末については 5 時間後に再燃したという部分に注目し、今後の火災予防の教訓として行きたいと思う所である。

★店舗併用住宅火災 (高浜町事代)

12 月 29 日 13 時 00 分頃、高浜町事代で発生した店舗併用住宅火災は、出火元である木

造瓦葺き 2 階建て延べ 139 m²を全焼し西側隣接建物を半焼、東側隣接建物を全焼した火災である。

この火災の原因は、出火元である住宅の風呂の焚き口付近が最も強く燃えている事から、この付近が出火点と考えられ、前日に焚き口から取灰しダンボール箱の中に入れていた事から、この灰の中に火が残っており出火に至ったものと考えられる。

尚、この地域は密集地（若狭消防組合の準火災危険地域に指定）であり、また発見の遅れにより消防隊出動時にすでに黒煙が上がっておりこれらにより類焼していったものと考えられる。

1. 7	高浜町和田	住宅火災 全焼 1 焼損面積 65 m ² 損害額 533 万 2 千円 放火の疑い
1. 22	小浜市生守	共同住宅火災 負傷者 1 損害額 1 千円 放火
1. 27	小浜市小屋	工場火災 全焼 2 焼損面積 364 m ² 損害額 4,382 万 1 千円 機械軸と絹糸との摩擦により発火し周囲の可燃物に着火
3. 17	高浜町若宮	作業場火災 全焼 1 焼損面積 106 m ² 損害額 181 万 3 千円 炉内の火源が転倒落下しカンナ屑に着火
4. 3	小浜市深谷	住宅火災 全焼 1 死者 1 焼損面積 32 m ² 損害額 48 万 2 千円 こたつの掛ぶとんが、火鉢内の火にふれ着火
4. 5	名田庄村 納田終	休耕田火災 焼損面積 40 a 損害額 2 万 7 千円 枯草の焼却からの飛び火で拡大
4. 5	大飯町本郷	住宅火災 全焼 3 部分焼 3 焼損面積 364 m ² 損害額 771 万円 たばこの火がふとん、雑誌に着火
4. 7	小浜市矢代	住宅火災 全焼 1 焼損面積 186 m ² 損害額 215 万円 ワカメ乾燥機より出火
4. 17	高浜町横津海	住宅火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 75 m ² 損害額 201 万円 原因不明
5. 22	小浜市大谷	林野火災 焼損面積 40 a 損害額 31 万円 たばこの不始末により延焼拡大
7. 29	大飯町本郷	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 2 m ² 損害額 2 千円 扇風機電源コードの発熱により発火
8. 13	小浜市四分一	林野火災 焼損面積 10 a 落雷により付近の雑木に着火
8. 30	小浜市太良庄	納屋火災 半焼 1 焼損面積 40 m ² 損害額 146 万 4 千円 原因不明
8. 30	大飯町川上	車両火災 1 台 損害額 5 万 9 千円 ガードレールに衝突したことにより燃料が漏れ引火
9. 1	小浜市北塩屋	土蔵火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 6 万 8 千円 セルロイドの自然発火

9. 12	小浜市 遠敷9丁目	車両火災 1台 損害額 16 万円 屋台のコンロ部からの熱伝導により出火
9. 12	小浜市岡津	作業場火災 全焼 1 焼損面積 183 m ² 損害額 430 万 6 千円 粃乾燥機バーナーが異常燃焼
10. 7	小浜市池河内	車庫火災 全焼 1 焼損面積 28 m ² 損害額 43 万 5 千円 自動脱穀機のエンジン部から出火
10. 13	上中町堤	住宅火災 全焼 1 焼損面積 129 m ² 損害額 1,118 万 3 千円 放火
10. 22	小浜市白鳥	物置火災 全焼 1 半焼 1 焼損面積 48 m ² 損害額 139 万 9 千円 原因不明
12. 23	小浜市飛鳥	車庫火災 全焼 1 焼損面積 41 m ² 損害額 29 万 7 千円 焚火の火の粉が飛火し 建物内の可燃物に着火
12. 29	高浜町事代	店舗併用住宅火災 全焼 1 焼損面積 139 m ² 損害額 1,187 万 8 千円 ダンボールに入れていた取灰が再燃

昭和 63 年（1988 年）

★乗用車が南川へ転落（小浜市東相生）

7 月 17 日 5 時 00 分頃、小浜市東相生地係国道 162 号線を男女 2 人の乗った普通乗用車が、北進中運転操作を誤り約 30m 下の南川に転落。助手席の女性は自力で脱出し、民家に助けを求め無事救助されたが、運転手の男性が車内に残されていることが判明、直ちに救助活動を開始した。しかし、いつもは多くの太公望でにぎわう南川も、梅雨期の降雨により増水しその表情を一変させており、流れの速さ、濁った水に救助活動は困難を極め、3 時間を要する救助活動となり、隊員の祈りもむなしく、車内の男性は帰らぬ人となった。

★店舗併用住宅火災（小浜市広峰）

12 月 23 日 7 時 25 分頃小浜市広峰で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建て店舗併用住宅延べ 129.6 m²が全焼し、隣接の木造瓦葺き 2 階建て 66 m²を部分焼した火災である。

出火原因については、石油ストーブに給油する際、灯油をこぼし完全に拭き取らずに点火した為、着火拡大し火災に至ったものである。



店舗併用住宅火災

1. 26	高浜町横町	飲食店火災 部分焼 1 焼損面積 7 m ² 損害額 19 万 9 千円 コンロに天ぷら鍋をかけたままその場を離れたため油に着火
2. 1	大飯町川上	作業場火災 全焼 1 焼損面積 50 m ² 原因不明
2. 4	小浜市下竹原	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 118 m ² 損害額 230 万 8 千円 石油ストーブを着火する際、漏れていた灯油に引火
2. 18	上中町無悪	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 18 m ² 損害額 71 万 5 千円 石油ストーブの異常燃焼
2. 28	大飯町大島	車両火災 1 台 損害額 106 万 3 千円 車両の素人配線により被覆が剥離し車体と接触、スパークし発火
3. 13	小浜市深野	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 26 万 7 千円 フライパンの過熱により出火
4. 14	小浜市和久里	共同住宅火災 部分焼 1 焼損面積 11 m ² 損害額 5 万 4 千円 子供の火遊び
4. 23	小浜市四谷町	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 8 m ² 損害額 23 万 6 千円 天ぷら鍋の過熱
7. 17	小浜市東相生	交通事故 死者 1 負傷者 1 普通乗用車が国道 162 号線より約 25m 下の南川に転落
7. 17	小浜市生守	交通事故 死者 1 負傷者 2 国道 162 号線上で乗用車と軽トラックの正面衝突事故
9. 1	小浜市加斗	林野火災 焼損面積 154 a 草木の焼却中、周囲の枯草に着火
10. 10	小浜市和久里	倉庫火災 全焼 1 焼損面積 218 m ² 損害額 831 万 9 千円 除草用バーナーで雑草を焼却中、建物に着火
11. 13	小浜市 遠敷 4 丁目	住宅火災 半焼 1 焼損面積 28 m ² 損害額 1,016 万 4 千円 原因不明
12. 23	小浜市広峰	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 196 m ² 損害額 975 万 2 千円 石油ストーブに着火する際、漏れていた灯油に引火

昭和 64 年（1989 年）

★住宅火災（高浜町事代）

1 月 4 日 2 時 4 分頃、高浜町事代で発生した住宅火災は、出火元である木造瓦葺き 2 階建て延べ 345 m²を全焼し密集地であったため付近の住宅、店舗 11 棟に飛び火等で類焼があ

った。この火災の原因は、居間で長期にわたり使用していたレンタン火鉢と床板、じゅうたんの間にレンタンの熱が蓄積し炭化状態となり、低温出火に至ったものと推定出来るが、現場の焼き状態が強く推定を裏付ける物的証拠が得られない為、不明である。

この建物は古く建築年月日はわからない。高浜町佐伎治神社式年大祭中山の山元であり旧家である。尚、この地域は密集地（若狭消防組合の準火災危険地域に指定）であり、北の風 6m/S と悪天候のため飛び火により風下の本町通り商店街各店舗のビニール日よけが類焼した。

平成元年（1989 年）

★工場火災（上中町市場）

7 月 3 日 1 時 20 分頃、上中町市場で発生した工場火災は、鉄骨スレート葺一部 2 階建延べ 826 m²の内 236 m²を焼失し鎮火まで約 1 時間半を要した。

出火原因については、焼却炉から落下した火の粉が焼却炉とパレットの間に蓄積したひき粉等に着火し、数時間燦焼した後、火災に至ったものである。

★店舗火災（高浜町宮崎）

11 月 26 日 12 時 10 分頃、高浜町宮崎で発生した店舗併用住宅火災は、出火元である木造瓦葺き 2 階建て延べ 439.21 m²を全焼し隣接建物 3 棟と一部を部分焼した火災である。

この火災の原因は、店舗併用住宅からの出火で、店舗側の焼きが強い。しかし、当日は店を閉めており火の気は無いが、店舗側でオーブントースターを使用しており、その下面、背面の焼き状況が強い事からオーブントースター本体の加熱又は異物等がたまり炭化し高熱になり、木製トースター台に燃え移ったと考えられる。以上の事からオーブントースターから何らかの原因で出火していると推定される。

この火災の発見は、通行人が休業で閉めているシャッターの隙間から煙が出ているのを見て家人に伝えている。この為発見が遅れ消防隊出動時にすでに黒煙が上がっており、これらにより類焼していったものと考えられる。

1. 4	高浜町事代	住宅火災 全焼 1 焼損面積 348 m ² 損害額 1,001 万 5 千円 原因不明
3. 20	大飯町大島	飲食店火災 部分焼 1 焼損面積 13 m ² 損害額 37 万 2 千円 天ぷら鍋に火をつけたまま放置
4. 22	小浜市西勢	交通事故 負傷者 2 国道 27 号線で大型トラックと普通乗用車の正面衝突
7. 3	上中町市場	工場火災 半焼 1 焼損面積 236 m ² 損害額 2,843 万 8 千円 焼却炉の火の延焼拡大
7. 21	小浜市 雲浜 1 丁目	住宅火災 半焼 1 焼損面積 18 m ² 損害額 19 万 3 千円 焚火が周囲の枯草に燃え移り、建物の外壁に着火
7. 21	小浜市遠敷	交通事故 負傷者 3 国道 27 号線で軽トラックと普通乗用車の正面衝突

8. 14	上中町新道	交通事故 負傷者 2 国道 303 号線でワゴン車と普通乗用車の正面衝突
8. 27	小浜市国分	交通事故 負傷者 2 国道 27 号線で軽トラックが道路下に転落
8. 27	上中町末野	交通事故 死者 1 負傷者 3 普通トラックと軽乗用車の正面衝突
9. 30	大飯町大島	ゴミ焼却場(ゴミ投入油圧バケツ ト)火災 損害額 120 万円 事後聞知。焼却炉投入口から吹き上がった炎により、油圧バケツ、配線及びケーブルの一部焼損
10. 2	高浜町宮崎	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 6 m ² 損害額 11 万 9 千円 薪用風呂かまどの火が焚き口にあった紙屑に着火
10. 4	小浜市 遠敷 6 丁目	その他火災 負傷者 1 子供の火遊び
10. 10	上中町井ノ口	事業場火災 部分焼 1 損害額 50 万 9 千円 もみ乾燥機の調整不良
10. 13	小浜市西勢	住宅火災 損害額 5 千円 放火
11. 26	高浜町宮崎	店舗併用住宅火災 負傷者 2 全焼 3 焼損面積 439 m ² 損害額 4,172 万 1 千円 オープントースターの加熱により壁面材に着火
12. 6	名田庄村三重	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 16 m ² 損害額 28 万 4 千円 たばこの不始末
12. 23	高浜町横津海	工場火災 部分焼 1 焼損面積 30 m ² 損害額 1,147 万 2 千円 溶断機の火が油に着火
12. 29	名田庄村堂本	住宅火災 全焼 1 焼損面積 33 m ² 損害額 40 万円 風呂場の煙突の過熱

平成 2 年 (1990 年)

★事務所火災 (小浜市青井)

2 月 17 日 16 時 15 分頃小浜市青井で、鉄骨スレート葺き 2 階建て事務所兼倉庫延べ 221 m²を全焼する火災が発生した。

出火原因については、放火、たばこ、電気関係等が考えられるが立証に至らず不明となっている。



倉庫兼事務所火災

★共同住宅火災（小浜市後瀬町）

2月22日8時09分頃、小浜市後瀬町で発生した火災は、鉄筋コンクリート5階建て共同住宅最上階の一室延べ面積65㎡を部分焼した。

出火原因については、室内に充満したプロパンガスが引火爆発したものであり、消防隊が屋内進入しようとしてベランダに手をかけた直後に爆発したもので、危うく5階から転落するところであり、他の隊員も一瞬ひるんだものであった。尚、この火災で出火室の男性が死亡し下階の3室が消火損害を受けた。



後瀬共同住宅火災

★コンクリート生埋め事故（上中町関）

2月27日13時38分頃、上中町関地係の砂防堰堤工事現場において、型枠がはずれ流れ出たコンクリートに生き埋めとなり、死者1名、負傷者3名を出す労働災害が発生した。

現場は掘削した山と堰堤の間隔が非常に狭く、重機等による救出作業が出来ないため人海戦術にたより困難を呈した。

負傷者3名は自力脱出したが、1名はコンクリートに両肩まで埋まり、又、鉄製型枠に足を挟まれて身動き出来ない状態であり、しかも水の差し込みによる溺死を防ぐため、約

10台の小型ポンプでの排水とあわせながらの救出作業となった。要救護者は、時間の経過と共に体力が低下してきたため、現場に医師と看護婦の派遣を要請、点滴等の治療をしながら約5時間後に救出したときには、すでに死亡が確認された後であり、無念さと疲労だけが残る事故であった。

尚、この救出にかかわった職、団員は44名で、うち7名は軽症であったが化学熱傷（セメント皮膚炎）をおった。



コンクリート生埋め事故

★住宅火災（小浜市和多田）

11月8日16時21分頃、小浜市和多田で、木造瓦葺き平屋建て住宅延べ196.4㎡を全焼する火災が発生した。

出火原因については、石油ストーブの給油の際こぼした灯油を完全に拭き取らずに点火し着火拡大した取り扱い不備である。

★勤労会館火災（小浜市大手町）

11月23日3時50分頃、小浜市大手町小浜勤労会館より出火、延べ500㎡を全焼する火災が発生した。

この建物は、昭和33年に建築された木造瓦葺き2階建てのモルタル塗の古い建物で、現場は、若狭消防署より南西に200mと直近であったが、発見、通報のおくれ、それと古い木造ということもあり、消防隊到着時にはすでに1階部分は火の海であった。この火災で消防ポンプ車13台、消防職、団員123名が出動、



勤労会館火災

消火にあたった。

出火原因については、石油ストーブの異常燃焼により腰板へ燃え移り、延焼拡大したものと考えられる。

1. 5	小浜市 新小松原	寺院火災 部分焼 1 焼損面積 28 m ² 損害額 13 万 5 千円 子供の火遊び
1. 29	小浜市 水取 2 丁目	住宅火災 負傷者 1 部分焼 1 焼損面積 17 m ² 損害額 13 万 9 千円 燃焼中の石油ストーブの上に、石油タンクを誤って落下させ出火
2. 17	小浜市青井	事業場火災 全焼 1 焼損面積 221 m ² 損害額 2,946 万 5 千円 原因不明
2. 22	小浜市後瀬町	共同住宅火災 死者 1 部分焼 1 焼損面積 65 m ² 損害額 525 万 7 千円 プロパンガス
2. 27	上中町関	労働災害 死者 1 負傷者 3 えん堤工事において型枠にコンクリートを流す作業中、型枠がはずれ流れ出たコンクリートに生き埋めとなったもの
3. 1	小浜市和久里	交通事故 死者 1 大型トラックと軽ワンボックス車との側面衝突事故
3. 10	高浜町西三松	その他火災 焼損面積 4 m ² 損害額 439 万円 枯草の始末をしようと火をつけたところ資材に着火
3. 22	小浜市仏谷	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 12 m ² 損害額 16 万 2 千円 焚火の火種が付着していた麻袋を木箱の上に置いたため出火
4. 5	上中町井ノ口	工場火災 全焼 1 焼損面積 180 m ² 損害額 344 万 6 千円 焼却炉からの飛び火
4. 21	小浜市福谷	工場火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 83 m ² 損害額 653 万 5 千円 原因不明
5. 11	高浜町難波江	交通事故 負傷者 2 ハンドル操作を誤りコンクリート壁に激突
5. 12	小浜市清滝	住宅火災 損害額 1 千円 放火
5. 13	小浜市堀屋敷	住宅火災 全焼 1 焼損面積 91 m ² 損害額 94 万 7 千円 除草用のバーナーの火が下見板に着火
5. 18	小浜市駅前町	飲食店火災 部分焼 1 損害額 1,085 万 2 千円 たばこの不始末
6. 8	小浜市福谷	その他火災 損害額 2 万 2 千円 タイヤに放火の疑い
6. 9	上中町新道	交通事故 死者 1 国道 303 号線で普通乗用車がセンターラインを越え、対向の大型トラックと側面衝突し乗用車が大破したもの
6. 28	小浜市駅前町	飲食店火災 半焼 1 焼損面積 65 m ² 損害額 1,296 万 8 千円 原因不

		明
7. 5	小浜市下竹原	作業場火災 部分焼 1 焼損面積 8 m ² 損害額 6 万 8 千円 発砲スチロールに放火の疑い
7. 8	高浜町六路谷	交通事故 死者 1 前の車のスペアタイヤ落下を避け対向車と衝突
7. 23	小浜市福谷	その他火災 発砲スチロールに放火
8. 12	小浜市尾崎	納屋火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 143 m ² 損害額 802 万 4 千円 原因不明
8. 28	小浜市金屋	その他火災 焼損面積 9,000 m ² 原因不明
9. 1	小浜市遠敷	住宅火災 負傷者 2 半焼 1 焼損面積 47 m ² 損害額 303 万 9 千円 ガスコンロの欠陥により爆発
9. 15	大飯町川上	車両火災 1 台 損害額 5 万円 走行中、ミッションオイルがマフラー上に漏れ落ち、排気熱により発火
9. 17	小浜市 千種 2 丁目	労働災害 負傷者 1 リフター昇降口でリフター上部と 2 階の床との間に頭を挟んだもの
10. 15	小浜市泊	船舶火災 1 隻 損害額 150 万円 放火の疑い
11. 8	小浜市和多田	住宅火災 負傷者 1 全焼 2 焼損面積 196 m ² 損害額 995 万 1 千円 石油ストーブの取り扱い不良により、こぼれていた灯油に引火
11. 16	上中町下野木	納屋火災 部分焼 1 焼損面積 86 m ² 損害額 6 万 1 千円 溶接機の火花
11. 23	小浜市大手町	集会場（勤労会館）火災 全焼 1 焼損面積 500 m ² 損害額 1,178 万 4 千円 石油ストーブの異常燃焼
12. 4	上中町市場	労働災害 負傷者 1 ゴミ収集車のローターに足をはさまれる
12. 14	名田庄村三重	住宅火災 全焼 1 焼損面積 52 m ² 損害額 194 万 7 千円 電気コタツの過熱
12. 17	大飯町川上	交通事故 死者 1 工事現場にワゴン車が突っ込み、パイプが車内に突きささる
12. 28	小浜市伏原	作業場火災 負傷者 1 全焼 1 部分焼 4 焼損面積 313 m ² 損害額 1,656 万 8 千円 原因不明



勤 労 会 館 火 災



伏原作業場火災

平成 3 年（1991 年）

★大型トレーラーとの正面衝突事故（大飯町長井）

4 月 10 日 20 時 36 分頃、大飯町長井地係国道 27 号線上において東進中の大型トレーラーと普通乗用車が正面衝突し、乗用車がトレーラーの下に潜り込み、死者 2 名、重症者 2 名を出す交通事故が発生した。

東進中の大型トレーラーがセンターラインをはみ出して対向してきた乗用車との衝突を避けようと接触しながら反対車線に出たところ、西進中の後続車両と正面衝突しさらに東進中の後続車両も追突した 3 重衝突事故である。

トレーラーの下敷きになった乗用車には、男 2 名女 2 名の計 4 名が乗車しており、全員がダッシュボードと座席の間に挟まれているなど救出困難な状態であった。また乗用車を引き出すための救助機材がなく大型クレーンを要請するなど救出するのに約 1 時間あまりを要した事故であった。



大飯町トレーラー衝突事故

★住宅火災（高浜町岩神）

10 月 15 日 0 時 30 分頃、高浜町岩神で木造瓦葺き平屋建て延べ 36.9 m²を全焼する火災が発生した。この建物は、映画俳優の大河内伝次郎の別荘で別名大河内別荘といわれていたが、永年使用されておらず荒れ果てた空き家状態となっていた。

この火災の原因は、約 4 年前から無断で居住していた浮浪者が、夕食を調理した際の七厘の中の木炭の不始末であった。

★大飯発電所で水素ガス燃える（大飯町大島）

12 月 6 日 14 時 30 分頃、関西電力（株）大飯発電所内において水素ガス緊急放出試験中、爆発音とともに水素ガスが放出口より燃え上がるという火災が発生した。

当時大飯発電所では、1、2 号機は運転中で 3、4 号機は試運転に向けて各機器の調整運転中であり、本火災は 4 号機側タービン建屋屋上で発生した。

概要は、発電機軸受部分を冷却するため水素ガスの緊急放出試験中、放出時の流速により溶接スパッタ（溶接中に飛散する金属粒）が配管内で鉄板等に衝突し火花が発生、放出中の水素ガスに引火し火災に至ったもので、配管内に残っていた水素ガスが全部放出された時点で自然鎮火し、配管には衝突時のキズがかすかに残った程度で、周囲の機械器具等には損害はなく火災の形跡すらなかった。

原子力発電所内での火災という通報を受けたときには、一瞬ひるんだものであったが被害等もなく最小限で事なきを得たので、ホッと胸を撫でおろした事案であった。

2. 1	小浜市香取	旅館火災 部分焼 1 損害額 8 万円 ボイラーの故障
2. 21	小浜市小屋	労働災害 死者 1 土砂崩れ生き埋め事故
2. 22	小浜市和多田	物置火災 全焼 1 焼損面積 21 m ² 損害額 30 万 1 千円 豆炭を火消しつばに入れ、布切れをかけたため出火
3. 21	高浜町東三松	住宅火災 全焼 1 焼損面積 129 m ² 損害額 228 万 4 千円 灰皿より

		落ちたたばこの火がこたつ掛ぶとんに落ち着火
3. 24	小浜市堅海	一般負傷 負傷者 1 パラグライダーの墜落事故
4. 3	大飯町野尻	林野火災 焼損面積 17 a 野焼きの火が飛び火により延焼拡大
4. 9	高浜町六路谷	交通事故 負傷者 9 国道 27 号線上での普通ワゴン車と普通乗用車の正面衝突事故
4. 10	小浜市多田	住宅火災 半焼 1 焼損面積 44 m ² 損害額 142 万 3 千円 電気コードが短絡し出火
4. 10	大飯町長井	交通事故 死者 2 負傷者 2 国道 27 号線上での普通乗用車と大型トレーラーの正面衝突事故
4. 22	大飯町神崎	交通事故 死者 1 普通ワゴン車の川への転落事故
4. 23	高浜町音海	店舗火災 全焼 1 焼損面積 80 m ² 損害額 410 万 3 千円 灰皿より落ちたたばこの火がダンボールに入った新聞紙に落ち着火
5. 10	小浜市丸山	車両火災 負傷者 1 1 台 損害額 3 万円 燃料タンク付近でライターに火をつけたためガソリンに引火
5. 16	名田庄村小倉	自動販売機火災 3 台 損害額 89 万 4 千円 電気配線の短絡
7. 20	高浜町事代	自動販売機火災 1 台 損害額 6 万 5 千円 花火に火をつけ金銭返却口に入れた
9. 15	小浜市深谷	交通事故 負傷者 2 国道 162 号線で普通乗用車同士の正面衝突事故
10. 8	小浜市白鬚	土蔵火災 半焼 1 焼損面積 23 m ² 損害額 61 万 8 千円 原因不明
10. 15	高浜町岩神	住宅火災 全焼 1 焼損面積 36.9 m ² 損害額 51 万 1 千円 薪コンロの炭火が近くにあった雑誌に落ち着火
11. 18	小浜市青井	その他火災 負傷者 1 焼損面積 20 m ² 焚火の火が風にあおられ拡大
11. 23	高浜町東三松	交通事故 死者 1 負傷者 1 普通乗用車の電柱激突事故
12. 6	大飯町大島	その他火災 金属片の接触により摩擦熱が発生し水素ガスに引火
12. 15	小浜市 川崎 1 丁目	その他火災 損害額 10 万 7 千円 溶接の火花が発砲スチロールに着火
12. 16	上中町上野木	交通事故 死者 2 軽オープンカーの倉庫激突事故

平成 4 年（1992 年）

★重要文化財焼失（小浜市北塩屋）

1 月 17 日 22 時 00 分頃、小浜市北塩屋にある海福寺において観音堂が焼失する火災が発生した。

原因については、線香立てから火のついた線香が倒れ打敷に着火、長時間無煙燻焼を経て延焼拡大したものと推定される。これによる被害は、築 150 年の観音堂はいうにおよばず内容物としては、文化財に指定されている平安時代の作品である仏像 3 体（各々推定言平価額 1,000 万円）が焼失した。

文化財防火デーを 1 週間後に控え、防御訓練や防火査察等の計画が進んでいるなかでのこの火災は、国宝級の仏像などを多く保有する当若狭地方にとっては何ともやりきれない火災のひとつであり、その後の訓練等には例年よりも力が入ったのは今も記憶に残っている。

★事故による車両火災（高浜町六路谷）

7 月 29 日 22 時 50 分頃、高浜町六路谷で発生した車両火災は、車両 3 台を全焼した火災である。

この火災の原因は、粉粒体運搬車両（タンクローリー）が飛び出してきた自動二輪車と衝突し、自動二輪車が車両下にあるのに気が付かず空地まで走行したところ自動二輪車の燃料ガソリンが漏れこれに道路と自動二輪車の接触の火花が引火したもので、空地で消火しようとしたがうまくできず近くにあったコンテナトラックに類焼したものである。

★寺院火災（高浜町三明）

9 月 12 日 12 時 00 分頃、高浜町三明の中町通りに面する寺院より出火、木造瓦葺き平屋建て延べ 380 m²と隣接する住宅延べ 85 m²を全焼、さらに集会場と住宅の一部を焼失し約 1 時間半後に鎮火した。

現場は、高浜町内の住宅、商店等が密集する中心部に位置し、昼時ということもありヤジ馬、関係者等で一時騒然となった。

出火場所は、本堂の内陣からと認められたが、原因については断定に至らず不明となっている。

★工場火災（小浜市奈胡）

11 月 2 日 14 時 50 分頃、小浜市奈胡で発生した工場火災は、鉄骨トタン葺き平屋建て箸工場延べ 333.6 m²を全焼した火災である。

出火原因については、従業員のたばこの不始末により合成樹脂屑に着火しソフト燃料に引火、一気に延焼拡大したものである。



箸工場火災

1. 9	高浜町山中	事務所火災 全焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 4 万 9 千円 たばこの火種がソファに落ち着火
1. 17	小浜市北塩屋	寺院火災 全焼 1 焼損面積 42 m ² 損害額 3,107 万 4 千円 線香が倒れ出火

2. 16	上中町井ノ口	倉庫火災 半焼 1 焼損面積 130 m ² 損害額 235 万 4 千円 焚火の不始末
2. 28	高浜町六路谷	車両（普通乗用車）火災 1 台 損害額 65 万 3 千円 排気管加熱により電気配線に着火
4. 6	小浜市 雲浜 2 丁目	水難事故 死者 1 歩行者が北川に転落した事故
4. 20	小浜市 遠敷 8 丁目	共同住宅火災 部分焼 1 焼損面積 62 m ² 損害額 769 万 5 千円 たばこの不始末
5. 3	高浜町六路谷	車両（普通ワゴン車）火災 1 台 損害額 40 万円 キャブレター部より出火
5. 9	小浜市北塩屋	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 6 m ² 損害額 9 万 8 千円 ローソクの火が掛軸に着火
6. 10	高浜町日引	林野火災 焼損面積 10 a 損害額 20 万 3 千円 たき火の延焼拡大
6. 13	小浜市浅間	林野火災 焼損面積 10 a 損害額 8 千円 たばこの不始末により出火
6. 16	高浜町六路谷	交通事故 死者 1 負傷者 1 国道 27 号線上で普通トラックとタンクローリーが正面衝突し、更にタンクローリーが大型ダンプ車に激突
7. 2	高浜町下車持	車両火災 1 台 損害額 1,448 万 7 千円 駐車中の活魚運搬車両より出火 原因不明
7. 29	高浜町六路谷	車両火災 3 台 損害額 1,366 万 6 千円 オートバイと大型トラックの衝突事故により出火
8. 2	高浜町事代	水難事故 死者 1 歩道より 20m 下の海へ転落した事故
8. 5	高浜町東三松	交通事故 死者 1 国道 27 号線で軽トラックと 4 t トラックの正面衝突事故
9. 3	小浜市仏谷	林野火災 焼損面積 12 a 損害額 2 千円 焚火の火の粉が飛火
9. 10	小浜市日吉	作業場火災 部分焼 1 焼損面積 146 m ² 損害額 655 万 9 千円 乾燥機の排気筒が加熱し、ひき粉に着火
9. 12	高浜町三明	寺院火災 負傷者 1 全焼 2 部分焼 2 焼損面積 473 m ² 損害額 2,001 万 1 千円 原因不明
9. 18	大飯町小堀	交通事故 死者 2 国道 27 号線上での大型トラック同士の正面衝突事故



日吉作業場火災

9. 25	小浜市青井	交通事故 負傷者 2 国道 27 号線で停車中の大型トラックに大型トラックが追突したもの
10. 12	高浜町宇治	交通事故 負傷者 1 国道 27 号線で信号待ちの大型トラックに普通トラックが追突、4 台を巻き込む玉突き衝突事故
11. 2	小浜市奈胡	作業場火災 全焼 2 焼損面積 334 m ² 損害額 4,709 万 1 千円 たばこの不始末により出火

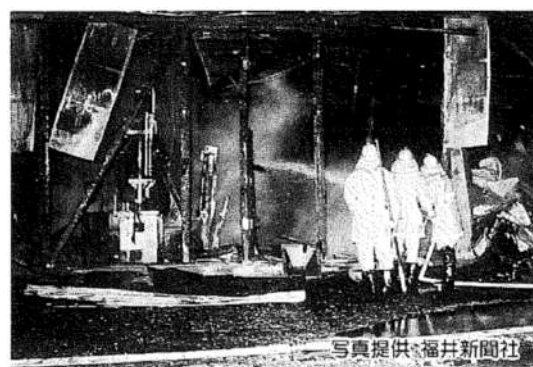
平成 5 年 (1993 年)

★プラスチック工場火災 (小浜市羽賀)

2 月 21 日 23 時 45 分頃、小浜市羽賀で発生した工場火災は、木造平屋建て (一部 2 階建て) プラスチック加工工場延べ 780 m²を全焼した。

出火時間が深夜であり無人となって 5 時間以上経過していること、出火点と推定される周囲には火災を助長させる条件は多くそろっているが、出火原因については不明。

出火から短時間のうちに延焼拡大し約 1 時間で完全に焼け落ちたのも、特殊可燃物 (プラスチック) 火災の特徴といえる。



プラスチック工場火災

★マイクロバス転落 (上中町熊川)

3 月 29 日 7 時 45 分頃、上中町熊川地係国道 303 号線において、今津方面に向け走行中の 19 名乗りのマイクロバスが突風にあおられ、ハンドル操作を誤り道路下約 5m の田んぼに転落し、負傷者 7 名を出した交通事故が発生した。

マイクロバスは田んぼであおむけになっており、車内には 10 名ほど取り残され、自力で出られない状態であった。また、マイクロバスより燃料が漏れているのを確認、二次災害防止をして順次救出した。



マイクロバス転落事故

★若狭高校合宿所火災 (小浜市南川町)

8 月 28 日 4 時 20 分頃、小浜市南川町で発生した火災は、県立若狭高等学校所有の合宿所「青戸会館」で木造モルタルトタン葺き 2 階建て、延べ 273.27 m²を全焼し約 1 時間半後に鎮火した。

出火原因は、少年の放火によるもので、ガラス戸を割って建物内に侵入し、マッチを使いシーツに火を放ったものである。この火災に際し消防車 5 台が出動し放水している。



若狭高校合宿所火災

1. 19	小浜市 川崎 2 丁目	交通事故 死者 1 普通乗用車が岸壁から海へ転落したもの
2. 11	小浜市高塚	交通事故 死者 1 原付きバイクが交差点で転倒、対向してきた乗用車の下敷きになったもの
2. 15	高浜町青	住宅火災 全焼 1 半焼 1 焼損面積 112 m ² 損害額 252 万 4 千円 原因不明
2. 21	小浜市羽賀	工場火災 全焼 1 焼損面積 780 m ² 損害額 4,011 万 9 千円 原因不明
2. 24	高浜町東三松	住宅火災 収容物のみ 損害額 45 万 2 千円 ガソリンの確認をライターで行い引火
3. 16	小浜市鯉川	交通事故 死者 1 国道 27 号線で、軽乗用車と大型トレーラーとの正面衝突事故
3. 29	上中町熊川	交通事故 負傷者 7 国道 303 号線でマイクロバスが道路下 5 m の水田に転落
4. 6	小浜市四分一	納屋火災 全焼 2 部分焼 2 焼損面積 115 m ² 損害額 245 万 6 千円 原因不明
4. 13	小浜市北塩屋	事業場火災 半焼 1 焼損面積 56 m ² 損害額 706 万 8 千円 ストープ燃料を間違える
5. 15	大飯町万願寺	自動販売機火災 1 台 損害額 42 万円 現金を盗もうと切断機で切断中、販売機内設置のビニールシートに着火
5. 20	上中町新道	物置火災 全焼 1 焼損面積 14 m ² 損害額 23 万 6 千円 原因不明
5. 23	大飯町鹿野	その他（工事用発電機）火災 1 台 損害額 12 万 3 千円 工事用発電機の燃料が漏れ引火
6. 9	小浜市下竹原	倉庫火災 損害額 22 万 8 千円 底引き網に放火
6. 15	小浜市泊	船舶火災 1 隻 損害額 31 万 7 千円 ウインチの配線が短絡し発火
8. 18	小浜市多田	交通事故 死者 1 交差点に進入した普通乗用車の右側面に普通貨物トラックが追突
8. 28	小浜市南川町	合宿所火災 全焼 1 焼損面積 273 m ² 損害額 2,362 万 6 千円 放火
8. 31	大飯町本郷	住宅火災 半焼 1 焼損面積 63 m ² 損害額 731 万 7 千円 たばこの不始末
9. 25	小浜市多賀	車庫火災 部分焼 1 焼損面積 33 m ² 損害額 9 万 8 千円 原因不明

10. 1	小浜市駅前町	工場（機械）火災 損害額 179 万 6 千円 原因不明
10. 12	小浜市相生	その他火災 死者 1 焚火中誤って焼却炉に転落し焼死
11. 23	小浜市塩釜	旅館火災 部分焼 1 焼損面積 25 m ² 損害額 40 万 6 千円 ボイラーの煙突の貫通部から出火
12. 3	小浜市西勢	交通事故 死者 1 原付きバイクが後続の普通乗用車にはねられる
12. 13	高浜町小和田	倉庫火災 半焼 1 焼損面積 30 m ² 損害額 68 万 7 千円 原因不明
12. 27	高浜町宮尾	住宅火災 全焼 1 焼損面積 72 m ² 損害額 566 万 3 千円 原因不明
12. 28	小浜市 遠敷 8 丁目	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 3 m ² 損害額 7 万 7 千円 天ぷら鍋の過熱により油に着火

平成 6 年（1994 年）

★住宅火災（小浜市遠敷）

3 月 17 日 1 時 45 分頃、小浜市遠敷で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建て 2 棟、延べ 163. 17 m²を全焼し住宅 2 棟が部分焼となった火災である。

出火原因は、物置小屋入り口付近に放置された取り灰が、灯油のポリ缶を溶解し引火、延焼拡大に至ったものである。



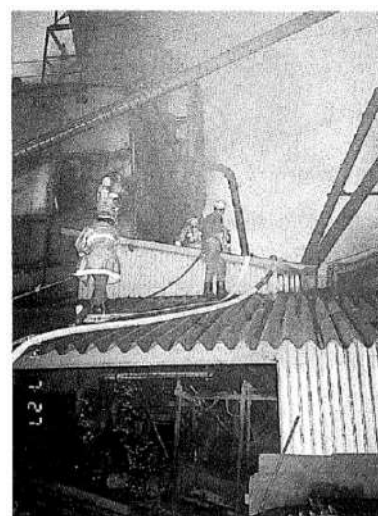
住 宅 火 災

★合板工場火災（高浜町音海）

7 月 27 日 17 時 30 分頃、高浜町音海で鉄骨造平屋建て合板工場の一部 115 m²を焼失し負傷者 2 名を出す火災が発生した。

この火災の原因は、コンベアー周辺の掃除で出た粉末状のゴミをフライトコンベアーに投入したところ、圧力低下中の炉内に流れ、粉塵爆発を起こしたため、当ラインを火が逆流し工場各ラインから圧送されたサンダ粉等の粉塵が浮動している 30 m²サイロ内に入り引火爆発を起こしてサイロ内チップを焼失したものである。

この工場は、昭和 46 年に建築されその冬にサイロの火災を起こしている。



合 板 工 場 火 災

★イベントの残り火からの林野火災（名田庄村堂本）

8 月 17 日 0 時 20 分頃、名田庄村堂本の山頂付近で、村最大のイベント「星のフィエスタ」で星文字焼を実施した残り火から出火して、17 日 11 時過ぎまで、山林約 160 a を焼失した。

消防隊は、ポンプ車 1 台、小型ポンプ 5 台による中継放水をはじめ、消防車両 21 台、消防職・団員約 200 名が消火活動にあたり、また森林組合員がチェーンソーにより、延焼防止のため立木の伐採を実施、火災後期には小浜消防団第 8 分団にも出動指令をかけた。

平成 6 年夏期は、全国各地で異常乾燥が続いて渇水状態となり、当若狭地方も、乾燥注意報等が連日発令されていた。

尚、若狭管内で 8 月 16 日 8 時 30 分から 17 日未明にかけて 4 件の火災出動があり、異例の事態であった。

★ 3 重衝突事故（上中町日笠）

9 月 11 日 17 時 15 分頃、上中町日笠の公衆浴場前で、国道 27 号線より公衆浴場の駐車場へ入ろうと停止中の軽乗用車に、後方より走行してきた大型トラック（10 t）が追突。そのはずみで軽乗用車が対向車線にはみ出たところ、上中方面より西進してきた普通乗用車と正面衝突したもので死傷者 4 名を出した事故である。

1. 6	小浜市 川崎 2 丁目	交通事故 死者 2 普通乗用車が道路から海へ転落し、沈んだもの
1. 27	高浜町蒜畠	交通事故 死者 1 国道 27 号線で、普通乗用車が追越しをかけ対向してきた大型トラックと正面衝突
1. 28	小浜市広峰	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 257 m ² 損害額 1,242 万 6 千円 原因不明
1. 30	小浜市東勢	店舗火災 半焼 1 焼損面積 13 m ² 損害額 269 万 2 千円 原因不明
2. 18	大飯町本郷	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 33 m ² 損害額 39 万 5 千円 ガスコンロの消火のため、座ぶとんを被せたことにより座ぶとんに着火
2. 18	小浜市野代	交通事故 死者 1 軽トラック同士が交差点内で衝突
3. 16	大飯町大島	発電所構内 FRP 樹脂塗料火災 負傷者 1 電気溶接機の火花が引火性塗料に着火
3. 17	小浜市遠敷	住宅火災 全焼 2 部分焼 2 焼損面積 163 m ² 損害額 836 万円取り灰が灯油に引火
5. 5	名田庄村 下三重	納屋火災 部分焼 1 焼損面積 17 m ² 損害額 56 万 9 千円 たばこ不始末
5. 16	上中町三宅	交通事故 死者 1 国道 27 号線と 303 号線の交差点で大型トラックと普通乗用車との正面衝突事故
5. 22	小浜市本保	稲木小屋火災 全焼 1 焼損面積 20 m ² 損害額 17 万 8 千円 焚火からの飛火が藁に着火
6. 1	名田庄村三重	飲食店火災 部分焼 1 焼損面積 9 m ² 損害額 19 万 2 千円 焚火の飛び火
6. 23	小浜市国分	交通事故 死者 1 国道 27 号線で、大型トラックと軽自動車の正面衝突事故

7. 24	名田庄村 納田終	交通事故 負傷者 2 普通乗用車がハンドル操作を誤り、ガードレールに衝突
7. 27	高浜町音海	合板工場火災 負傷者 2 部分焼 1 焼損面積 115 m ² 損害額 173 万 7 千円 炉内の粉塵爆発
8. 10	小浜市加茂	その他火災 焼損面積 7,000 m ² 焚火の火が枯草に燃え移る
8. 16	小浜市尾崎	その他火災 焼損面積 1,160 m ² たばこの投げ捨て
8. 17	名田庄村堂本	林野火災 焼損面積 160 a 損害額 232 万 8 千円 イベントの火の不始末
8. 25	上中町堤	納屋火災 負傷者 1 部分焼 1 焼損面積 13 m ² 損害額 65 万 7 千円 火遊びの火が稲わらに着火
8. 28	高浜町和田	納屋火災 収容物のみ 損害額 7 万 9 千円 靱乾燥機バーナー部不良により燃料管が破裂し燃料に引火
9. 11	上中町日笠	交通事故 死者 1 負傷者 3 国道 27 号線上で右折停車中の軽乗用車に大型トラックが追突、対向車線にはみ出し対向してきた普通乗用車と正面衝突したもの
9. 12	小浜市尾崎	車両火災 1 台 損害額 136 万 4 千円 交通事故によりエンジン部から出火
9. 15	上中町脇袋	車庫火災 全焼 1 焼損面積 27 m ² 損害額 80 万 7 千円 焚火の火の粉が飛火
9. 18	大飯町川上	納屋火災 全焼 1 焼損面積 29.97 m ² 損害額 13 万 2 千円 七厘コンロの残り火が可燃物に着火
9. 26	小浜市荒木	交通事故 負傷者 2 普通乗用車と対向してきたライトバンとの正面衝突事故
10. 15	上中町大鳥羽	交通事故 負傷者 2 軽トラックが居眠り運転のため道路右の電柱及びカーブミラー用柱に激突
11. 24	小浜市小屋	作業場火災 全焼 1 焼損面積 71 m ² 損害額 190 万 9 千円 乾燥用炉から火の粉が飛散し付近の木くずに着火
11. 30	大飯町安川	車両火災 1 台 損害額 110 万 6 千円 ゴミ収集車両荷台内収集物の残り火
12. 2	小浜市羽賀	労働災害 負傷者 1 採土作業終了後、頂上付近より崩土があり 逃げ遅れ生き埋めとなる
12. 3	上中町上野木	交通事故 死者 1 普通乗用車と普通トラックの正面衝突事故
12. 13	小浜市阿納	物置火災 部分焼 1 損害額 8 万 5 千円 原因不明

平成 7 年（1995 年）

★阪神淡路大震災（近畿圏広域）

1 月 17 日 5 時 46 分 52 秒、兵庫県の淡路島北部を震源として M7.3 の兵庫県南部地震が発生し近畿圏の広域（兵庫県を中心に、大阪府、京都府）が大きな被害を受けた。特に神戸市市街地（東灘区、灘区、中央区（三宮・元町・ポートアイランドなど）、兵庫区、長田区、須磨区）の被害は甚大であった。

若狭消防からも消防援助隊として 4 隊、3 日間、延べ 13 名の隊員が出場した。

この震災を契機として、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、平成 7 年 6 月に緊急消防援助隊が創設されたところである。

★住宅火災（小浜市奥田縄）

5 月 12 日 13 時 15 分頃、小浜市奥田縄で発生した火災は、木造 2 階建て住宅、延べ面積 95.8 m²と付属建物で木造平屋建て便所、延べ面積 5 m²及び木造 2 階建て納屋延べ面積 50.4 m²を全焼した火災である。

出火原因は、石油ストーブの燃料としてガソリンを給油したためストーブの火が引火し拡大したものである。

★正面衝突事故（上中町新道）

7 月 16 日 16 時 20 分頃、上中町新道地係国道 303 号線において、西進中の普通ワゴン車（5 名乗車）と対向してきた普通乗用車（5 名乗車）が正面衝突し負傷者 10 名を出した事故が発生、救助工作車で普通乗用車の車内に取り残された運転手を救出するのに、カッター及びスプレッダーを使用し車両を切断また隙間を拡張して被救助者を引き出して救出した。



高浜町営住宅火災

★住宅火災（高浜町菌部）

8 月 22 日 12 時 35 分頃、高浜町菌部で木造瓦葺き平屋建て延べ 131 m²を全焼し、死者 1 名、負傷者 2 名を出す住宅火災が発生し、台所のガステーブル付近から出火延焼したものであるが原因は不明である。

尚、この建物は高浜町営住宅として昭和 34 年に建築された建物であり、負傷者の 1 名は、海水浴に来ていた豊中北消防職員により救出されたもので、後日若狭消防組合より表彰状を贈った。

★小浜中学校火災（小浜市雲浜 2 丁目）

9 月 9 日 5 時 30 分頃、小浜市雲浜 2 丁目で発生した小浜中学校火災は、鉄筋コンクリート造 3 階建ての 2 階部分を 60 m²焼失した。

出火原因は、スタンド型扇風機の絶縁劣化により発熱しコードに着火、延焼したものであるが発生日が第 2 土曜日のため、校内には生徒の姿がなく、大きな混乱がなかったのが幸いであった。



小浜中学校火災

★3 重衝突事故（大飯町長井）

9月27日10時5分頃、大飯町長井地係国道27号線路上で西進中の大型トラック運転者のわき見運転が原因でセンターラインをはみ出し、対向してきた普通貨物自動車1t)と衝突、さらに後続の普通貨物自動車(4t)と衝突する事故が発生した。

救急事案として出動したところ、火災事案も発生。さらに2台の普通貨物自動車と大型トラック運転手が脱出不可能であるといった救助事案も発生し消防車3台、救助工作車1台、救急車2台が出場した管内でも初めての事例であった。

★危険物施設火災（小浜市飯盛）

12月5日12時30分頃、小浜市飯盛で発生した危険物施設火災は、鉄骨造3階建て内部にある収容物を焼失した火災である。

出火原因は、工場内2階部設置の反応釜内において、トルエンと水との攪拌作業中にトルエンがオーバーフローし、その後下階まで漏洩しフォークリフトの電気装置を侵したため、スパークが発生し出火に至ったものである。



危険物施設火災

1. 16	高浜町中山	納屋火災 半焼1 焼損面積49㎡ 損害額10万8千円 火鉢から火種が落ちダンボールに着火
1. 17	上中町井ノ口	住宅火災 死者1 負傷者1 全焼1 部分焼1 焼損面積167㎡ 損害額325万4千円 可燃物が電気ストーブに接触
2. 6	高浜町和田	車両（停車中の大型トラック）火災 1台 損害額837万2千円被覆配線のショート
3. 12	上中町中野木	交通事故 負傷者2 県道を西進の軽自動車が側面衝突され、反動で電柱に激突
3. 26	小浜市田島	その他の事故 岩場でワカメ採りをしていたところ係留中の船が高波により大破し、岩場で孤立したもの（自衛隊の大型救難ヘリコプターにて救助）
3. 31	大飯町福谷	住宅火災 全焼1 焼損面積72.29㎡ 損害額138万6千円 電気ストーブの不適正な取扱いにより過熱、可燃物に着火
5. 7	上中町堤	住宅火災 部分焼1 焼損面積10㎡ 損害額173万7千円 天ぷら油の過熱による発火
5. 12	小浜市奥田縄	住宅火災 全焼2 焼損面積151㎡ 損害額476万2千円 石油ストーブに燃料を間違えて給油したため出火
5. 17 ～18	小浜市高塚	住宅火災 住宅火災3件 その他火災2件 損害額合計8千円 2日間にわたり5件の連続放火
7. 10	小浜市生玉	ガス漏れ事故 アイスキャンデー製造を目的に貯蔵していた冷媒用アンモニア冷却タンクからアンモニアガスが漏出

7. 16	上中町新道	交通事故 負傷者 10 国道 303 号線を西進中の普通ワゴン車と、対向してきた普通乗用車との正面衝突事故
8. 2	高浜町音海	合板工場火災 部分焼 1 焼損面積 94 m ² 損害額 42 万円 作業灯にチップが付着高温となり着火
8. 22	高浜町菌部	住宅火災 死者 1 負傷者 2 全焼 1 焼損面積 131 m ² 損害額 321 万円 原因不明
9. 9	小浜市 雲浜 2 丁目	中学校火災 部分焼 1 焼損面積 60 m ² 損害額 651 万 8 千円 扇風機のモーターの過熱
9. 9	小浜市伏原	交通事故 負傷者 4 国道 27 号線へ大宮方面から交差点へ進入した普通乗用車の右側面に、東進中の大型貨物トラックが衝突
9. 27	大飯町長井	交通事故 死者 1 負傷者 2 国道 27 号線を西進中の大型トラックがセンターラインを越え、東進中の普通トラックと後続の普通トラックに衝突
10. 1	高浜町関屋	交通事故 死者 1 国道 27 号線を西進中の普通乗用車がセンターラインを越え、対向して来た大型トラックと正面衝突
11. 12	上中町末野	交通事故 死者 1 国道 27 号線を東進中の大型トラックと西進中の軽トラックが正面衝突（被救護者は、以前から高血圧症で運転中に意識不明になった）
11. 24	小浜市 遠敷 8 丁目	工場火災 部分焼 1 焼損面積 5 m ² 損害額 164 万円 帯ノコからの火花
12. 5	小浜市飯盛	危険物施設火災 部分焼 1 損害額 324 万 8 千円 トルエンが漏洩し電気装置のスパークに引火
12. 14	大飯町大島	渡船待合所火災 半焼 1 焼損面積 57.72 m ² 損害額 272 万 6 千円 コンセントプラグの劣化により発熱
12. 20	大飯町本郷	寄宿舍火災 部分焼 1 焼損面積 22.75 m ² 損害額 17 万 8 千円天ぷら鍋に火をつけたまま放置
12. 28	小浜市津島	車両火災 1 台 損害額 47 万 3 千円 原因不明
12. 29	上中町新道	交通事故 負傷者 7 国道 303 号線を西進中の普通乗用車と、東進中の普通乗用車との正面衝突事故

平成 8 年（1996 年）

★飲食店火災（高浜町畑）

4 月 20 日 23 時 30 分頃、高浜町畑で発生した店舗火災は、木造 2 階建て延べ 252 m²を部分焼した。

この火災の原因は、事務用ガスコンロの火炎の輻射熱によって東側壁のタイル貼りベニヤ板が高温状態となり炭化し着火に至り燃焼拡大したもの。木材低温着火の代表的なものである。

★住宅火災（小浜市尾崎）

10 月 21 日 17 時 15 分頃、小浜市尾崎で発生した住宅火災は、木造瓦葺き 2 階建て延べ 177 m²を全焼した。

出火原因は、ボイラー送風機内を炉の火が逆流し、漏洩した燃料の灯油に引火し火災になったものであり、出火したボイラー室内には、燃料タンク（110ℓ満量）のほかに灯油の入った 18ℓポリ容器が 3 缶あり、二次的に溶解しており火災の延焼拡大が早かった要因のひとつとなり、危険物の絡んだ火災の怖さを物語っている。

1. 7	高浜町青戸	飲食店併用住宅火災 ぼや 損害額 5 万円 ネオン管取り付けビスが高温となり壁体内面可燃物に着火
1. 10	高浜町湯谷	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 18 m ² 損害額 25 万 2 千円 簡易ストーブの飛び火により可燃物に着火
1. 21	小浜市上田	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 131 m ² 損害額 339 万円 原因不明
1. 25	大飯町大島	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 47 m ² 損害額 59 万 5 千円 漏洩していたプロパンガスにコンロの火が引火
1. 31	小浜市府中	住宅火災 半焼 1 焼損面積 47 m ² 損害額 526 万 2 千円 たばこの不始末
2. 6	高浜町音海	合板工場火災 全焼 1 焼損面積 56 m ² 損害額 193 万 1 千円 原因不明
2. 19	小浜市上竹原	車両火災 1 台 損害額 25 万円 電気配線の過熱
2. 28	名田庄村 奥坂本	倉庫火災 全焼 1 焼損面積 10 m ² 損害額 37 万 1 千円 ストーブの上部に干してあった可燃物が落下
3. 10	高浜町田ノ浦	交通事故 死者 1 小型貨物自動車が音海方向より南進中、田ノ浦随道北口付近で、センターラインを越え、対向の大型バスと正面衝突
4. 9	小浜市平野	交通事故 死者 1 東進中の大型トラックと西進中の普通ワゴン車の正面衝突事故
4. 10	高浜町下車持	交通事故 死者 1 負傷者 1 普通乗用車とセンターラインを越え、対

		向してきた普通貨物トラックの正面衝突事故
4. 18	小浜市阿納	物置小屋火災 全焼 1 焼損面積 32 m ² 損害額 86 万 5 千円 ワカメ乾燥機用ファンヒーターの過熱
4. 20	高浜町畑	店舗(飲食店)火災 部分焼 1 焼損面積 25 m ² 損害額 455 万 1 千円 こんろの輻射熱によってタイル張り壁下地コンパネに着火
4. 26	小浜市木崎	交通事故 負傷者 1 国道 27 号線を東進中の普通トラックが木崎東詰の信号柱に衝突、更に後続を走行中の大型トラックが追突、そのはずみで酒店の自動販売機に衝突
4. 27	上中町熊川	その他火災 焼損面積 15 a ゴミ焼却炉の火が風にあおられる
5. 12	小浜市丸山	交通事故 死者 1 主要地方道小浜上中線を西進中に運転操作を誤り北川堤防の法面に転落、その際車外に放り出されたところ、転げ落ちてきたワゴン車の下敷きになる
5. 15	小浜市府中	交通事故 死者 1 負傷者 1 府中方面から東進中の軽乗用車と府中橋に向け北進中の普通乗用車との交差点における側面衝突事故
5. 17	小浜市野代	工場火災 部分焼 1 焼損面積 91 m ² 損害額 2,454 万円 観賞魚用水槽からヒーターが露出し過熱
6. 26	大飯町岡田	作業場(弁当製造)火災 部分焼 1 内容物 1 損害額 28 万 9 千円 食器消毒保管機のタイマースイッチとサーモスタットの故障
6. 29	小浜市伏原	交通事故 負傷者 1 国道 27 号線を西進中の大型トレーラーが、松下前交差点を横断していた普通ワゴン車に気付き急ブレーキをかけたところ、トレーラーに積載していた建築鋼材が崩れ、キャビンを押しつつぶす
7. 11	小浜市伏原	交通事故 負傷者 3 国道 27 号線を東進中の大型保冷車の追突による、車両 4 台がからむ玉突き事故
7. 13	小浜市 雲浜 1 丁目	交通事故 負傷者 2 国道 162 号線を北進中の普通乗用車と南進中の普通乗用車が衝突した事故
7. 31	小浜市和久里	交通事故 死者 1 負傷者 1 国道 27 号線を西向けに信号待ちしていた大型トラックに、後続の大型トラックが追突
8. 4	上中町神谷	交通事故 負傷者 6 東進中の軽ワゴン車が反対車線にはみ出し対向してきた軽トラックと衝突、その軽トラックに普通ワゴン車が追突
8. 10	小浜市府中	機械による事故 死者 1 パワーショベルで作業中、バランスを失い約 3m 下に転落しパワーショベルの下敷きとなる
8. 14	上中町黒田	林野火災 焼損面積 31 a 損害額 60 万円 ゴミ焼却後の残り火処置不十分

9. 17	高浜町和田	飲食店併用住宅火災 ぼや 損害額 10 万 1 千円 コンロの消し忘れにより天ぷら油に着火
10. 21	小浜市尾崎	住宅火災 全焼 1 焼損面積 177 m ² 損害額 1,289 万 4 千円 風呂のボイラーの異常燃焼 (推定)

平成 9 年 (1997 年)

★原油流出事故

1 月 2 日午前 2 時 41 分頃、ロシア船籍タンカー「ナホトカ号」総トン数 13,157 総トン、C 重油 19,000 kℓ (ドラム缶約 95,000 本分) 積載し、上海からペトロパブロフスク (ロシア) 向け航行中、島根県沖において、船首部が脱落、同 8 時 20 分頃後部側が沈没し、船首部 (船底を上にして海面上わずかに 5m 露出) がそのまま漂流するという事故が発生した。

当事、船首部には、2,800 kℓ が残存し、破断タンクから 3,700 kℓ 流出したものと推定された。

その後、漂流している船首部は、北西の風に煽られ、事故発生以来 5 日と 5 時間をかけ、1 月 7 日午後 1 時 20 分に福井県三国町安島岬北東部に着岸した。

漂流中、船首部に残存していた重油が若狭湾に流出し続け、1 月 6 日には高浜町において、油流出事故対策本部が設置され、1 月 9 日に大飯町油流出事故対策本部が、1 月 10 日には小浜市油流出事故対策本部がそれぞれ設置され、関係市町で対策、警戒に当たった。

油魂は、1 月 15 日午前から 1 月 22 日にかけて、若狭消防組合管内若狭湾沿岸海域および小浜湾沿岸に漂着した。

関係市町では、警戒パトロール、浮遊中の油魂をはじめ、漂着した油魂回収のため、ボランティアを含め 3 月 23 日まで作業を続け、小浜市では延べ 6,604 人、回収量は 996.5 kℓ、高浜町においては延べ 4,766 人、回収量は 258.9 kℓ、大飯町においては延べ 2,399 人、480.0 kℓ を回収し作業を終えた。

警戒から終了までの約 3 ヶ月間、油による火災および回収作業による事故等もなく終息した。



原油流出事故

★旅館併用住宅火災 (高浜町菌部)

7 月 2 日 1 時 00 分頃、高浜町菌部で発生した火災は、旅館併用住宅の木造 2 階建母屋の居間より出火、同一棟の住宅を含む約 326 m² を全焼し 1 時間半後に鎮火した。

出火箇所は、居間のテーブル付近と判明しているが、原因としては、多方面から調査するが、焼き状況がひどく不明である。

★事故による車両火災（大飯町長井）

8月5日1時00分頃、長井地係国道27号線路上で普通乗用車が追越しをかけたところ対向してきた大型トラックと正面衝突。大型トラックの下敷きとなったまま約20m引きずられ出火炎上し火災に至った事故であり、普通乗用車運転手が車内に取り残されて焼死した。

火災・救急・救助の三案件が同時に発生したと認められる特筆した案件である。



車両火災

★住宅火災（高浜町和田）

11月7日16時40分頃、高浜町和田の密集地で発生した住宅火災は、木造2階建て延べ278㎡を全焼した火災である。

この火災の原因は、玄関の熱帯魚水槽に使用している電気配線のプラグ部分の短絡により下駄箱付近の可燃物（特定は出来ない）に着火したもの。

1. 2	若狭・小浜湾 一帯	原油流出事故 ロシア船籍タンカー「ナホトカ号」島根県沖にて船首部脱落、破断タンクからの油魂が1月15日から22日にかけて若狭小浜湾沿岸に漂着し、警戒、回収作業に多数あたる。	
1. 18	小浜市青井	車両火災 1台 損害額18万3千円 原因不明	
2. 22	小浜市荒木	交通事故 負傷者2 国道27号線を東進中の普通ワゴン車が雪でスリップし、ガードレールに衝突し車内に閉じ込められる	
3. 4	高浜町青	物置小屋火災 全焼1 部分焼1 ぼや1 焼損面積138㎡ 損害額8万5千円 焚き火の拡大により野地板に着火	
4. 7	小浜市和久里	住宅火災 全焼1 焼損面積95㎡ 損害額372万4千円 原因不明	
5. 15	大飯町大島	旅館火災 部分焼1 焼損面積7㎡ 損害額15万8千円 循環式温水器内部の劣化により発熱着火	
6. 1	小浜市 川崎2丁目	水難事故 死者1 胴長靴を着用し台船のレールの清掃及び修理中、深みにはまり溺れる	
6. 22	高浜町音海	交通事故 死者1 普通乗用車が運転操作を誤り岸壁から海中へ転落	
7. 2	高浜町菌部	旅館併用住宅火災 全焼1 焼損面積326㎡ 損害額3,668万円原因不明	
7. 19	高浜町塩土	水難事故 死者1 海で遊泳中溺れる	
8. 5	大飯町長井	車両火災 死者1 2台 損害額2,165万1千円 大型トラックと乗用車との衝突	

9. 1	小浜市次吉	交通事故 死者 1 北進中の普通乗用車と東進中の普通乗用車との交差点での衝突事故
9. 20	高浜町音海	交通事故 死者 1 軽乗用車が走行中、道路脇の電柱に激突
10. 17	小浜市 千種 1 丁目	車両火災 2 台 損害額 44 万 7 千円 工作した着火装置を使用し車両に放火
11. 2	小浜市東相生	交通事故 負傷者 5 国道 162 号線を北進中の普通ワゴン車がハンドル操作を誤り約 20m 下の南川に転落
11. 3	大飯町大島	魚介類育成研究施設火災 部分焼 1 焼損面積 2 m ² 損害額 38 万 3 千円 電気配線の短絡
11. 7	高浜町和田	住宅火災 全焼 1 半焼 1 焼損面積 278 m ² 損害額 4,172 万 4 千円 観賞用熱帯魚水槽に使用している電気配線プラグ部分の短絡により可燃物に着火
11. 10	小浜市 千種 1 丁目	車両火災 2 台 損害額 30 万 9 千円 工作した着火装置を使用 し車両に放火
11. 24	高浜町若宮	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 4 m ² 損害額 120 万 8 千円 コンロの輻射熱により板壁に着火
12. 24	小浜市 雲浜 2 丁目	交通事故 負傷者 1 停車中の普通トラックが動きだしたため、運転席ドアから車内に進入しようとしたが、引きずられ住宅の外壁と当車両に挟まれる

平成 10 年 (1998 年)

★住宅火災 (小浜市多賀)

7 月 8 日 0 時 45 分頃、小浜市多賀で発生した火災は、火元の木造平屋建て延べ 40.3 m² が全焼し隣接の木造 2 階建て 1 棟が全焼、さらに 4 棟が部分焼している。この地域は準防火地域と隣接した第 1 種住居地域であり延焼拡大の恐れのある所である。消防車 6 台が放水したが火元建物に居住の一人暮らしの老女 (74 才) が焼死している。出火原因は、仏壇のローソクが転倒し落下したものである。

★連続車両放火 (小浜市)

平成 9 年 10 月 17 日から平成 10 年 8 月 20 日にかけて、小浜市の市街地および村部で 5 件の車両火災が発生した。

これらの火災は、いずれも灯油とティッシュを使用した時限発火装置を、車両の下に置いて発生させた計画的な放火であり、被害は展示車、個人所有車等、軽自動車 2 台、普通自動車 6 台を焼損し、損害



写真提供 福井新聞社
連 続 車 両 放 火

額は 278 万 1 千円であった。

容疑者は、平成 10 年 8 月 20 日に発生した火災の後逮捕され、これら一連の放火を自供した。

★放火による店舗火災（小浜市南川町）

11 月 25 日 23 時 20 分頃、小浜市南川町国道 162 号線沿いの寝具、ギフト商品等を販売する店舗 2,009 m²のうち、402 m²を焼失する火災が発生した。

出火原因は、放火犯が持っていた新聞紙にライターで火をつけ、店舗裏に積んであった空ダンボール箱に投げ入れ放火したもので、損害額は高級寝具、ギフト商品又、建物の経過年数も 2 年ということもあり 1 億 6,546 万 5 千円となった。

内容物に、ふとん、毛布などが多く積み重なっていたため、1 枚ずつ移動させながらの消火作業となり、予想以上に時間が経過し鎮圧まで 4 時間、さらに鎮火まで 2 時間半という長丁場となり、帰署につく頃には東の空が白々と明け始めていた。

これといった理由もなく、ただ気分がスカッとするからという安易な考えで実行されており、これから師走を迎えようとする時期、なんとも物騒な事案であった。



放火による店舗火災

★住宅火災（大飯町本郷）

12 月 21 日 14 時 50 分頃、大飯町本郷で発生した火災は、木造瓦葺き 2 階建て 1 棟、延べ 113.46 m²の住宅を全焼し焼死者 1 名を出した火災である。

出火原因については、仮設仏壇のローソクが転倒、落下し付近の繊維製品に着火炎上したものと推定される。

1. 3	小浜市西勢	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 13 m ² 損害額 2 千円 かまどの煙突付近が加熱し付近の焚き物に着火
1. 5	小浜市 遠敷 9 丁目	車両火災 1 台 損害額 519 万 3 千円 電気配線の短絡によりキャビン内を焼失
2. 10	小浜市矢代	交通事故 死者 1 国道 162 号線を西進中の普通乗用車が運転操作を誤り約 40m 下の岩場へ転落
2. 15	小浜市丸山	美容室火災 部分焼 1 焼損面積 2 m ² 損害額 44 万 7 千円 電気配線の短絡により出火
5. 4	高浜町 東三松	車両(単車)火災 1 台 損害額 8 万 6 千円 原因不明
5. 23	小浜市本保	林野火災 焼損面積 12 a 損害額 1 万 5 千円 子供の火遊び
6. 28	小浜市塩釜	車両火災 1 台 損害額 129 万 8 千円 工作した着火装置を使用し車両に放火
7. 8	小浜市多賀	住宅火災 死者 1 全焼 1 部分焼 4 焼損面積 113 m ² 損害額 1,043

		万 5 千円 ローソクの消し忘れにより、何らかの要因によってローソクが転倒し付近の可燃物に着火
7. 27	小浜市中井	車両火災 1 台 損害額 10 万円 工作した着火装置を使用し車両に放火
8. 18	高浜町岩神	車両火災 1 台 負傷者 1 損害額 15 万円 原因不明
8. 19	小浜市岡津	交通事故 死者 1 負傷者 1 国道 27 号線を西進中の普通乗用車が右折しようとしたところ、後続の大型トラックに追突され、そのはずみでセンターラインを越え、対向してきた大型トラックと衝突、横転
8. 20	上中町天徳寺	ガス及び酸欠事故 負傷者 1 深さ 8.4m、直径 1.5m のマンホール底部でコンクリート壁に防水の塗色作業をしていたところ、有機溶剤により中毒を起こす
8. 20	小浜市中井	車両火災 1 台 損害額 62 万 7 千円 工作した着火装置を使用し車両に放火
8. 24	高浜町宮崎	交通事故 死者 1 国道 27 号線で車両等にはねられ、路上に倒れていた被救護者が、西進してきた普通乗用車に約 10m ひきずられる
		 連続車両放火
8. 27	名田庄村 納田終	車両火災 1 台 損害額 12 万円 ガソリンが漏れハイテンションコードの火花が引火
8. 29	上中町山内	車両火災 1 台 損害額 26 万 9 千円 消火不確認のオイルライターの炎が座席シートに着火
9. 10	高浜町子生	交通事故 死者 1 被救護者運転のコンバインが子生川右岸堤を走行中、運転操作を誤り約 2m 下の子生川に転落し、コンバインの下敷きとなる
10. 8	上中町下タ中	交通事故 負傷者 2 国道 27 号線を西進中の大型トラックが観光バスを追い越そうとしたところ、対向してきた普通ワゴン車の右側面に接触しさらに観光バス後部に接触、観光バスがガードレールを突き破り約 3m 下の水田に転落
10. 11	高浜町笠原	倉庫火災 全焼 1 焼損面積 40 m ² 損害額 283 万 5 千円 燻煙殺虫剤の使用により低温着火
11. 25	小浜市南川町	店舗火災 半焼 1 焼損面積 402 m ² 損害額 1 億 6,546 万 5 千円 新聞紙とライターを用い放火
12. 20	高浜町事代	林野火災 焼損面積 12 a 原因不明

12. 21	大飯町本郷	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 113 m ² 損害額 1,389 万 2 千円 仏壇のローソクが転倒し、繊維製品に着火
12. 26	高浜町宮崎	その他火災 空地にて買い物袋と内容物が燃えたもの 放火の疑い

平成 11 年 (1999 年)

★住宅火災 (小浜市羽賀)

2 月 22 日 2 時 40 分頃、小浜市羽賀で発生した住宅火災は、木造瓦葺き 2 階建て延べ 164 m²全焼、死者 (81 才)1 名、負傷者 2 名を出した。

焼死した老人は、数年前に脳血管障害を患い後遺症として昼夜を問わず徘徊、大声で叫ぶなど不自然な行動が続いており、出火原因については、老人の不自然な行動が招いた、誤った石油ストーブの取り扱いと推定され、今後の高齢化社会に課題を提起した火災である。

★密集地での連続放火 (高浜町宮崎、事代地区)

3 月 2 日 14 時 38 分頃、高浜町宮崎 (赤尾町) で倉庫内より出火、隣接する住宅 3 棟を全焼する火災が発生した。現場は、商店、民家等が建ち並ぶ密集地で背後に海水浴場があるため、海風も伴い、一端火災が発生すると大火になる恐れは必至であり、焼損面積延べ 582 m²、損害額約 3,400 万円を出す結果となった。

原因については、倉庫内にあったビーチパラソルにライターで火をつけた放火で、犯人は後日逮捕された。

犯人の自供により、平成 10 年 12 月 26 日のその他火災、平成 11 年 2 月 2 日のその他火災、同年 2 月 16 日の住宅火災など、昨年から高浜町内で一連して発生していた、放火の疑いがあつた火災については一様の解決を見ることができた。



作 業 場 火 災

★フェーン現象下で死傷者 2、作業場等 12 棟を焼損 (小浜市小松原川西)

8 月 6 日午後 2 時 10 分頃、小浜市小松原川西のはし製造業を営む作業場より出火、住宅、造船所等 12 棟を全半焼する火災が発生した。

現場は、市の中心部より北側に位置し小浜湾に沿って民家が密集しており、ひと度火災が発生すると大火になりやすい地域である。

当日は、フェーン現象下で、火災気象通報発令中でもあり、あらゆる方向から強風が吹く乾燥した気象状態であった。火災は短時間で隣接建物に拡大していったため、延焼防止を優先し消火活動を行ったが、強風にあおられた火はつぎつぎと建物をのみ込み 12 棟を全半焼させる火災となった。

また、この火災で、73 歳の身体不自由者で一人暮らしの女性が逃げ遅れ多量の煙を吸い込み浴槽内



連 続 放 火

で焼死、45 歳の男性が燃えている自宅内へ戻ろうとし、破損したガラスで腕を負傷するなど人的被害もあり、強風下における火災の怖さを痛感した。

1. 4	小浜市国分	交通事故 負傷者 2 国道 27 号線を東進中の軽ワゴン車と西進中の普通ワゴン車との正面衝突事故
1. 5	小浜市田島	車両火災 1 台 損害額 10 万円 衝突した際、ガソリンが流れ引火
1. 10	小浜市青井	住宅火災 全焼 1 部分焼 2 焼損面積 104 m ² 損害額 846 万 7 千円 原因不明
1. 22	小浜市国分	交通事故 負傷者 2 普通ワゴン車がスリップし遠敷川へ落下、男性の運転手が脱出できなくなる
2. 2	高浜町事代	その他火災 ゴミ袋に灯油をしみこませたティッシュ等に火をつけたもの。放火の疑い
2. 4	小浜市多田	物置火災 部分焼 1 焼損面積 5 m ² 損害額 19 万 3 千円 湯沸器内に可燃物が落下し出火
2, 16	高浜町宮崎	住宅火災 ぼや 放火の疑い (灯油を外壁に撒き火をつける)
2. 22	小浜市羽賀	住宅火災 死者 1 負傷者 2 全焼 1 焼損面積 164 m ² 損害額 2,321 万 5 千円 石油ストーブの誤った取り扱い
3. 2	高浜町宮崎	倉庫火災 全焼 3 焼損面積 582 m ² 損害額 3,382 万 6 千円 ビーチパラソルに、ライターで放火 2 月 2 日、高浜町事代で発生したその他火災 (ティッシュに灯油をしみこませたものを、ビニール袋に入れ燃やす)、2 月 16 日、高浜町宮崎で発生した、住宅火災 (壁板に灯油をかけ火をつける)、およびこの日の倉庫火災と 3 件の連続放火
3. 3	大飯町大島	住宅火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 136 m ² 損害額 1,453 万 5 千円 電気ストーブの消し忘れにより輻射熱によって近くの可燃物に着火
3. 21	高浜町和田	車両 (普通乗用車) 火災 1 台 損害額 49 万 1 千円 輻射熱 (アイドリング中)
3. 31	高浜町音海	交通事故 死者 1 音海方面進行中の軽ワンボックス車が運転操作を誤り、道路右側のがけ崩れ防護柵に衝突
4. 8	小浜市羽賀	倉庫火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 33 m ² 損害額 76 万 7 千円 焼却炉から火の粉が飛火し出火
4. 16	名田庄村中	発電機火災 発電機 1 損害額 88 万 3 千円 スターターコイルの過熱
4. 17	高浜町日引	水難事故 死者 1 プレジャーボートを運転中誤って海中に転落
4. 18	小浜市青井	交通事故 負傷者 2 国道 27 号線で西進中の普通乗用車と東進中の普

		通乗用車が正面衝突
5. 9	上中町上吉田	交通事故 負傷者 2 国道 27 号線から脇袋方面へ右折しようとした軽ワゴン車と対向してきた普通乗用車との正面衝突事故
5. 10	小浜市津島	住宅火災 部分焼 2 焼損面積 92 m ² 損害額 1,178 万 4 千円 ガスコンロの使用誤りのため出火
5. 17	小浜市一番町	車両火災 1 台 損害額 10 万円 原因不明
5. 22	小浜市泊	事業場火災 部分焼 1 焼損面積 13 m ² 損害額 71 万 9 千円 2000 水槽が何らかの原因で急激に空になり、そのままヒーターが作動し温度が上昇し着火
6. 1	小浜市多賀	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 8 m ² 損害額 294 万 可燃物（半紙）がローソクの上に落下
6. 9	名田庄村下	住宅火災 半焼 1 焼損面積 17 m ² 損害額 103 万 9 千円 電気配線の短絡により出火
7. 27	小浜市鯉川	林野火災 焼損面積 2 a 損害額 35 万円 焚火が延焼拡大
8. 6	小浜市 小松原川西	作業場火災 死者 1 負傷者 1 全焼 7 半焼 1 部分焼 4 焼損面積 805 m ² 損害額 3,910 万 2 千円 原因不明
8. 9	小浜市遠敷	住宅火災 全焼 1 焼損面積 67 m ² 損害額 39 万円 焚火の不始末
8. 31	高浜町西三松	交通事故 負傷者 2 小和田方面から西三松へ進行中の車両が飲酒により運転操作を誤り、ガードレールを倒し約 100m 進行、旅館前で横転した事故
9. 1	高浜町関屋	交通事故 負傷者 2 国道 27 号線を西進中の普通乗用車がセンターラインを越え対向してきた普通ワゴン車と正面衝突
10. 24	小浜市深谷	住宅火災 全焼 2 焼損面積 104 m ² 損害額 307 万 1 千円 原因不明
12. 2	小浜市駅前町	交通事故 死者 1 重傷 1 軽症 1 J R 小浜駅前を西進して来た軽ワゴン車が同交差点の西角に設置のアーケード用の鉄製の角柱に前部を激突
12. 7	大飯町 本郷青戸	交通事故 負傷者 2 国道 27 号線を東進中の軽トラックと対向し右折しようとした軽トラックが正面衝突

平成 12 年（2000 年）

★工場火災（小浜市深谷）

3 月 13 日 23 時 55 分頃小浜市深谷で発生した卓球台製造工場の火災は、鉄骨トタン葺平屋建て 226 m²を全焼した。

★団地火災（小浜市金屋）

4 月 29 日 10 時 00 分頃小浜市金屋で発生した団地火災は、4 階の 3 LDK のキッチンから出火しその 3 LDK62 m²が焼損したものである。女性と子供が取り残され幅 60 cmの底部分に避難し助けを求めている。

この火災には、福井県防災ヘリコプターが出場した。



団地火災

★店舗併用住宅火災（小浜市小浜酒井）

8 月 22 日 12 時 55 分頃小浜市小浜酒井で発生した住宅火災は、鉄筋コンクリート造 2 階建て店舗併用住宅 117 m²を全焼した。仏壇のローソクが転倒したものと推定する。この火災で家人 3 名を救急搬送した。いずれも軽症。

この年は空梅雨であり若狭地域では平年降水量の 3 割程度しか雨が降らず渇水状態となっていた。若狭消防組合において「消防特別警戒対策室」を 8 月 11 日に設置し特別警戒中であった。

3. 13	小浜市深谷	工場火災 全焼 1 焼損面積 226 m ² 損害額 719 万 2 千円 鉄骨トタン葺平屋建て卓球台製造工場 原因は不明である。
3. 18	上中町末野	住宅火災 全焼 2 焼損面積 232 m ² 損害額 1,223 万 1 千円 家人による放火である。
4. 29	小浜市金屋	団地火災 1 室全焼 焼損面積 62 m ² 損害額 419 万 8 千円 子供の火遊びと推測されるが断定できず。
5. 25	高浜町水明	その他火災 焼損面積 550 m ² 損害額 63 万 5 千円 緑地内の枯草を焼却中、強風にあおられ付近の樹木に燃え移ったものである。
7. 2	名田庄村 奥坂本	車両火災 乗用車 1 台 損害額 231 万 5 千円 事故を起こした乗用車の燃料が漏れエンジン部分から出火したものである。
8. 15	大飯町犬見	車両火災 乗用車 1 台 損害額 22 万 6 千円 盗難車が全焼したものであり、証拠隠滅のための放火と考えられる。
8. 22	小浜市酒井	店舗併用住宅火災 負傷者 3 全焼 1 焼損面積 117 m ² 損害額 2308 万 4 千円 仏壇のローソクが転倒したものと推定する。
11. 7	大飯町犬見	車両火災 軽トラック 1 台 損害額 48 万 8 千円 仮眠中エンジン部分から出火したものであるが原因は不明である。
12. 25	小浜市塩釜	車両火災 車庫内のラーメン屋台部分焼 損害額 12 万円 コンロの切り忘れと判定する。

平成 13 年（2001 年）

★落雷による住宅火災（上中町三宅）

4 月 24 日 11 時 10 分頃上中町三宅で発生した落雷による住宅火災は、木造瓦葺 2 階建て住宅に直接落雷し大屋根に大きな穴が開いたものである。

これにより、住宅内の分電盤、電気配線、コンセントなどのすべてが焦げる大きな被害となった。



落雷による住宅火災

★箸工場火災（小浜市羽賀）

4 月 30 日 21 時 15 分頃、小浜市羽賀発生した箸工場の火災は、軽量鉄骨造平屋建て倉庫 4 棟の合計 511 m²を全半焼した。

終業後無人となった工場からの出火であり、調査を重ねたが原因は不明である。

★作業所火災（小浜市遠敷）

8 月 11 日 20 時 00 分頃、小浜市遠敷 4 丁目で発生した作業所の火災は、木造トタン葺平屋建て作業所兼倉庫 293 m²を火元として隣接する納屋 97 m²、住宅 124 m²、車庫 37 m²の計 4 棟を全焼した。

出火箇所は判定できたが、出火原因は不明である。

★セルフ給油所火災（小浜市伏原）

10 月 5 日 20 時 56 分頃、小浜市伏原で発生したセルフ給油所の火災は、乗用車のマフラー内に少量のガソリンを注入し爆発現象を楽しんでいたところ、こぼれたガソリンに引火し、乗用車のバンパーとカード読み取り機を焼損させたものである。

3 名の行為者は、その場から逃走したが 2 日後に重過失失火の疑いで逮捕された。



セルフ給油所火災（監視カメラ映像）

1. 25	上中町下タ中	車両火災 乗用車 1 台 損害額 15 万円 普通乗用車の改造した大口径マフラーとウレタンリアバンパーが接触し着火したものである。
2. 8	大飯町大島 (河村)	車両火災 軽トラック 1 台 損害額 9 万 4 千円 事故をおこした軽トラックの燃料が漏れエンジン部分から出火したものである。
3. 20	上中町海士坂	林野火災 焼損面積 13 a 損害額 4 万 5 千円 通行車両からのたばこの投げ捨てと推定する。
3. 24	大飯町岡安	林野火災 焼損面積 12 a 損害額 30 万 2 千円 枯草の焼却中、強風にあおられ燃え広がったものである
4. 1	小浜市本保	住宅火災 半焼 1 焼損面積 49 m ² 損害額 701 万 1 千円 電気ストーブの電源が切れているものと勘違いし、ストーブに濡れタオルをかけて外出したため火災に至ったものと判定する。

4. 2	高浜町関屋	住宅火災 半焼 1 焼損面積 45 m ² 損害額 950 万円 机の上に置かれていた電気ストーブが落下した際、スイッチが入りカーペットなどに着火したものと判定する。
4. 24	上中町三宅	落雷住宅火災 ぼや 1 損害額 131 万 8 千円 落雷により住宅内すべての電気配線が焦げたものである。尚、落雷による屋根部分の破損については焼損損害額には計上されない。
4. 30	小浜市羽賀	箸工場火災 全焼 3 部分焼 1 焼損面積 511 m ² 損害額 1329 万 1 千円 原因は不明である。
6. 11	小浜市上中井	倉庫火災 全焼 2 焼損面積 13 m ² 損害額 32 万 1 千円 空地でごみを焼却中、物置小屋に燃え移ったものである。
7. 28	小浜市木崎	車両火災 大型トラック 1 台 損害額 448 万 1 千円 後部ベアリングから出火したものである。
8. 11	小浜市 遠敷 4 丁目	作業所火災 全焼 4 焼損面積 551 m ² 損害額 919 万 6 千円 原因は不明である。
9. 13	上中町上野木	農機具庫火災 全焼 1 焼損面積 38 m ² 損害額 61 万 8 千円 原因は不明である。
10. 5	小浜市伏原	セルフ給油所火災 ぼや 1 損害額 10 万円 乗用車のマフラー内に少量のガソリンを注入し爆発現象を楽しんでいたところ、こぼれたガソリンに引火し、乗用車のバンパーとカード読み取り機を焼損したものである。

平成 14 年（2002 年）

★発泡スチロール火災（小浜市川崎 3 丁目）

3 月 4 日 13 時 45 分頃、小浜市川崎 3 丁目で発生したその他火災は、発泡スチロール専用の焼却炉で焼却中、バックファイヤーにより付近に山積みにされていた発泡スチロールに燃え移り、休憩場、保管庫ほか発泡スチロール約 300 箱が燃えたものである。

この火災により多量の黒煙が発生し、現場上空に上る煙は上中町井ノ口の J R 上中駅付近からでも視認された。

★土蔵火災（小浜市小浜今宮）

9 月 2 日 18 時 00 分頃、小浜市小浜今宮で発生した建物火災は、物置小屋 1 棟全焼、土蔵 1 棟部分焼、土蔵 3 棟ぼやであった。

原因は、空地でたき火をしていたところ、近くの物置小屋に燃え移り、その後周囲の土蔵 4 棟に類焼したものである。

当日は、乾燥注意報が発令させており、南東の風が強かった。

★製材所火災（小浜市加斗）

10月28日4時30分頃、小浜市加斗で発生した建物火災は、製材所と倉庫の合計5棟を全半焼した。

原因は前日使用したグラインダーの火花が、ノコ屑に着火し時間経過とともに火が大きくなり火災に至ったものである。

1. 17	小浜市伏原	重機火災 小型油圧ショベル1台 損害額455万円 配線不良のためショートし引火したものと推定する。
2. 2	小浜市上野	倉庫火災 全焼1 ぼや1 焼損面積78㎡ 損害額239万2千円 放火の疑い
2. 11	小浜市谷田部	クリーンセンター火災 ぼや1 損害額29万9千円 ごみ焼却炉の火の粉が作動油に引火したものである。
2. 14	高浜町事代	事務所火災 ぼや1 損害額11万6千円 事務所内で機械を修理していたところ、機械燃料である混合油をこぼし、ストーブの火が引火したものである。
3. 4	小浜市 小浜鹿島	住宅火災 半焼1 焼損面積31㎡ 損害額47万6千円 家人が自室でゴミを燃やしたものであるが目的は不明である。
3. 4	小浜市 川崎3丁目	発泡スチロール火災 休憩室全焼1 発泡スチロール約300箱焼失 損害額96万5千円 発泡スチロール専用の焼却炉で焼却中、バックファイヤーにより付近に山積みにされていた発泡スチロールに燃え移ったものである。
4. 5	大飯町石山	住宅火災 負傷者1 全焼1 半焼2 部分焼2 焼損面積212㎡ 損害額525万7千円 天ぷら油火災。
9. 2	小浜市 小浜今宮	土蔵火災 全焼1 部分焼1 ぼや3 焼損面積57㎡ 損害額319万5千円 たき火が物置小屋に燃え移り、その後土蔵4棟に類焼したものである。
10. 28	小浜市加斗	製材所火災 全焼3 半焼1 部分焼1 焼損面積533㎡ 損害額601万4千円 グラインダーの火花がノコ屑に着火したものである。
11. 13	大飯町本郷	住宅火災 全焼1 焼損面積151㎡ 損害額217万4千円 仏壇のローソクに火をつけようとしたところ、付近のお供え物に着火したものである。

平成 15 年（2003 年）

2. 12	名田庄村井上	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 203 m ² 損害額 2,562 万 6 千円 ガスコンロの火源が着衣に着火したものと推定する。
4. 11	上中町神谷	住宅火災 半焼 1 焼損面積 45 m ² 損害額 692 万 9 千円 電気あんかのコードが古くなり、ショートした火花が引火したものである。
8. 15	小浜市加茂	茅葺住宅（空き家）火災 全焼 1 焼損面積 85 m ² 損害額 57 万 4 千円 玩具打ち上げ花火が倒れて発射され、茅葺住宅（空き家）に飛び込み着火したものである。
10. 7	小浜市 水取 1 丁目	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 5 m ² 損害額 41 万 6 千円 電子レンジを使用していたコンセント部分でトラッキング現象が起こったものと推定する。

平成 16 年（2004 年）

★プラスチック再生作業場火災（小浜市甲ヶ崎）

10 月 20 日 18 時 46 分頃、小浜市甲ヶ崎で発生した建物火災は、木造トタン葺平屋建て作業場 1 棟、延べ 371 m²を全焼した。

当日は台風 23 号が接近中であり、前日からの降雨により裏山が崩れ、作業場が押しつぶされたあと、約 30 分後に出火したものである。

原因は、建物が押しつぶされ電気配線がスパークし可燃物に着火したものと推定する。

★ゴミ収集車火災（小浜市泊）

11 月 24 日 14 時 30 分頃、小浜市泊で発生した車両火災は、ゴミ収集車 1 台を全焼した。

原因はゴミ収集車内でプレスされたスプレー缶が破裂し、残っていたガスに引火したものと推定する。

この種の火災は全国的に多発しており、行政は「ゴミの分別の徹底」と「スプレー缶のガス抜き」を注意喚起していた。

尚、ゴミ収集車はプレスされたゴミが満載状態であったため、収集車のサイドにエンジンカッターで穴を開けながらの消火作業となった。



ゴミ収集車火災

2. 9	上中町市場	居酒屋火災 負傷者 1 半焼 1 ぼや 1 焼損面積 46 m ² 損害額 281 万 2 千円 天ぷら油火災。
3. 10	小浜市奈胡	住宅火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 268 m ² 損害額 1,800 万円 仏

		壇のローソクが残りわずかとなったので、新しいローソクを立ててその場を離れたところ、新しいローソクの根元が熱で溶け倒れ、付近の可燃物に燃え移ったと推定する。
3. 21	上中町天徳寺	物置小屋火災 全焼 2 焼損面積 25 m ² 損害額 33 万円 ごみ焼却の火の粉が風にあおられ建物に着火したものである。
6. 14	小浜市堀屋敷	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 104 m ² 損害額 129 万円 火元は居間であると推定できるが原因は不明である。
8. 18	高浜町中山	住宅火災 半焼 1 部分焼 1 焼損面積 68 m ² 損害額 144 万円 原因は不明である。
10. 20	小浜市甲ヶ崎	プラスチック再生作業場火災 全焼 1 焼損面積 371 m ² 損害額 1956 万 6 千円 裏山の土砂崩れにより建物が押しつぶされ、電気配線がスパークし可燃物に着火したものと推定する。
10. 28	高浜町和田	店舗火災 部分焼 1 焼損面積 12 m ² 損害額 45 万 7 千円 天ぷら油火災。
11. 24	小浜市泊	ゴミ収集車火災 1 台 全焼 1 損害額 45 万円 ゴミ収集車内でプレスされたスプレー缶が破裂し、残っていたガスに引火したものと推定する。
12. 14	小浜市上竹原	特殊車両火災 1 台 全焼 1 損害額 38 万 6 千円 アスファルト原料を溶解釜で熱していたところ、温度が上昇しすぎ発火したものである。
12. 18	小浜市福谷	住宅火災 半焼 1 焼損面積 88 m ² 損害額 1,448 万 4 千円 電気ストーブにふとんが覆いかぶさり燃え広がったものと推定する。

平成 17 年（2005 年）

★公衆浴場火災（若狭町日笠）

4 月 18 日 2 時 00 分頃、若狭町日笠で発生した建物火災は、鉄骨造 2 階建て公衆浴場の 2 階部分、約 3 m²を部分焼した。

この公衆浴場は当時休業中で閉鎖されていた建物である。

原因調査の結果、何者かが侵入し建物内にあった寝具と持ち込んだカセットコンロで暖を取っていたところ、何らかの原因で寝具に着火したが、消火することなく逃走したものと判定した。

★時限発火装置による放火（小浜市志積）

7 月 24 日 1 時 50 分頃、小浜市志積で発生した建物火災は、木造 2 階建て住宅 17 m²を部分焼した。

この火災は、無住の建物の 2 階の押し入れ内に、電気タイマーと電気コンロを使用した時限発火装置により放火されたものである。

幸い、付近住民による発見と初期消火が早く部分焼で収まったため、時限装置の燃えカスが残る原因断定に結び付いた。

1. 5	小浜市一番町	住宅火災 全焼1 半焼1 部分焼3 焼損面積 262 m ² 損害額 802 万 3 千円 たばこの不始末。
2. 9	大飯町石山	葉たばこ乾燥場火災 全焼2 焼損面積 64 m ² 損害額 68 万 3 千円 葉たばこ乾燥炉で廃材を焼却していたところ、火勢が大きくなり建物壁面に燃え移ったものである。
2. 22	高浜町和田	住宅火災 全焼2 部分焼2 ぼや4 焼損面積 277 m ² 損害額 2,113 万 6 千円 原因不明
3. 21	名田庄村中	住宅火災 全焼1 半焼1 焼損面積 18 m ² 損害額 24 万 3 千円 風呂のかまどからの出火。
4. 18	若狭町日笠	公衆浴場火災 部分焼1 焼損表面積 3 m ² 損害額 5 万 2 千円 休業中の公衆浴場に何者かが侵入しカセットコンロで暖を取っていて、寝具に燃え移ったものである。
4. 22	小浜市尾崎	木材チップ工場火災 半焼1 焼損面積 258 m ² 損害額 1,956 万 8 千円 原因は不明である。
5. 27	小浜市下田	納屋火災 全焼1 半焼1 焼損面積 90 m ² 損害額 533 万 6 千円 石油バーナーで草を焼却していたところ、建物外壁の隙間から内部の可燃物に着火したものである。
7. 24	小浜市志積	時限発火装置による放火住宅火災 部分焼1 焼損面積 17 m ² 損害額 276 万円 電気タイマーを使用した時限発火装置により放火したものである。
8. 9	高浜町東三松	農作業小屋火災 部分焼1 焼損面積 12 m ² 損害額 50 万 3 千円 原因は不明である。
9. 12	名田庄村三重	建設中住宅火災 ぼや1 焼損面積 1 m ² 損害額 15 万 5 千円 植物油等を主原料とした木材保護ワックスを使用したウエスやスポンジをビニール袋に入れて放置したため自然発火したものと推定する。
12. 29	小浜市深野	住宅火災 全焼1 焼損面積 238 m ² 損害額 805 万 8 千円 装飾品であるミニ提灯にローソクを立てていたところ、提灯の紙製火袋に着火し燃え広がったものである。

平成 18 年（2006 年）

2. 18	大飯町鹿野	住宅火災 全焼 1 ぼや 1 焼損面積 260 m ² 損害額 4,764 万 5 千円 たばこの不始末と推定される。
3. 22	おおい町大島	発電所廃棄物処理建屋火災 部分焼 1 焼損面積 65 m ² 損害額 272 万円 原因は不明である。
4. 6	若狭町井ノ口	自転車置場火災 半焼 1 焼損面積 18 m ² 損害額 14 万円 子供の火遊びである
7. 5	若狭町市場	物置火災 全焼 1 ぼや 2 焼損面積 118 m ² 損害額 636 万 3 千円 原因は不明である。
7. 5	高浜町塩土	住宅火災 全焼 1 ぼや 1 焼損面積 198 m ² 損害額 422 万 3 千円 テーブルタップのコードがソファの脚の下敷きになっていたためスパークが発生し火災となったものである。
10. 31	小浜市上田	住宅火災 全焼 1 焼損面積 120 m ² 損害額 848 万 6 千円 原因は不明である。
11. 14	若狭町井ノ口	コンビニ火災 ぼや 1 焼損表面積 0.4 m ² 損害額 11 万 9 千円 子供の火遊びである。

平成 19 年（2007 年）

★ゴミ収集車火災（小浜市矢代）

10 月 10 日 9 時 30 分頃、小浜市矢代で発生した車両火災は、ゴミ収集車 1 台を全焼した。

原因はゴミ収集車内でプレスされたスプレー缶が破裂し、残っていたガスに引火したものと推定する。

若狭管内では平成 16 年にも同様の火災があり、全国的にも例の多い火災であった。

3. 16	おおい町本郷	住宅火災 半焼 1 焼損面積 39 m ² 損害額 504 万 7 千円 たばこの不始末と推定される。	
3. 29	小浜市東市場	住宅火災 死者 1 全焼 2 焼損面積 339 m ² 損害額 2,837 万 4 千円 原因は不明である。	
4. 3	おおい町成和	住宅火災 半焼 1 焼損面積 39 m ² 損害額 758 万 6 千円 電気こたつで洗濯物を乾かしていたところ、ヒーター部分と洗濯物が接触し着火したものである。	

住宅火災

5. 16	おおい町 名田庄小倉	解体建物火災 全焼 1 部分焼 2 焼損面積 157 m ² 損害額 57 万 2 千円 茅葺きの建物を解体中、大型油圧ショベルのマフラーに茅が接触し着火したものである。
5. 24	おおい町福谷	林野火災 焼損面積 20 a 伐採した雑木を焼却中、燃え広がったものである。
5. 24	小浜市阿納	車庫兼住宅火災 半焼 1 部分焼 1 焼損面積 34 m ² 焼損表面積 297 m ² 損害額 1,010 万円 ワカメ乾燥に使用していたファンヒーターと扇風機の距離が近く、長時間使用により熱をおび発火に至ったものと推定する。
8. 1	小浜市湯岡	倉庫火災 ぼや 1 損害額 74 万 6 千円 溶接の火花が飛散し、木製パレットに燃え移ったものである。
8. 15	高浜町和田	漁具火災 損害額 62 万 5 千円 たばこの投げ捨てによるものと推定する。
10. 10	小浜市矢代	ゴミ収集車火災 1 台 全焼 1 損害額 39 万円 ゴミ収集車でプレスされたスプレー缶が破裂し、残っていたガスに引火したものと推定する。
10. 17	若狭町仮屋	空き家火災 全焼 1 焼損面積 136 m ² 損害額 195 万 1 千円 自作燻製機の七輪からの出火と判定する。
10. 27	おおい町本郷	公共ホール火災 部分焼 1 焼損面積 68 m ² 損害額 38 万 3 千円 間仕切り壁の解体作業中、溶断機の火の粉が断熱材に着火したものである。
12. 16	若狭町下吉田	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 164 m ² 損害額 1,005 万円 原因は不明である。

平成 20 年（2008 年）

1. 1	おおい町大島	スナック喫茶店火災 全焼 1 焼損面積 63 m ² 損害額 364 万 1 千円 休憩室から出火したものと判定できたが、原因は不明である。
1. 7	高浜町南	車庫火災 負傷者 1 半焼 1 焼損面積 48 m ² 損害額 427 万 5 千円 ボイラーの故障と推定する。
2. 7	おおい町本郷	住宅火災 負傷者 1 半焼 1 焼損面積 22 m ² 損害額 451 万 8 千円 ハロゲンヒーターとこたつ布団が近く輻射熱により着火したものと推定する。
2. 15	若狭町山内	納屋火災 全焼 1 半焼 1 焼損面積 86 m ² 損害額 363 万円 かまどからの出火と推定する。
3. 15	小浜市駅前町	店舗併用住宅火災 部分焼 1 焼損表面積 2 m ² 損害額 84 万 8 千円

4. 15	小浜市生守	仏壇のローソクの火が近くにあった半紙に燃え移ったものと推定する。 住宅火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 181 m ² 損害額 634 万 3 千円 箱型就寝用こたつの熱源部分に埃がたまり出火したものと推定する。
7. 7	おおい町 名田庄下	住宅火災 負傷者 1 全焼 1 焼損面積 91 m ² 損害額 130 万 5 千円 延長コードリールを延ばさずに通常使用していたため、コードに負荷がかかり出火したものと推定する。

平成 21 年（2009 年）

★9 棟全半焼建物火災（高浜町塩土）

7 月 18 日 18 時 40 分頃高浜町塩土で発生した住宅火災は、納屋 1 棟、住宅 1 棟、倉庫 7 棟を全焼 6、半焼 1、部分焼 2 の大火となった。

密集地での火災であり、納屋から出火し次々と類焼していった。

鎮火まで約 2 時間かかり現場は一時騒然となった。



5. 13	小浜市竹長	納屋火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 46 m ² 損害額 113 万 1 千円 原因は不明である。
6. 25	おおい町犬見	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 29 m ² 損害額 125 万 7 千円 家人による放火である。
7. 18	高浜町塩土	9 棟建物火災 全焼 6 半焼 1 部分焼 2 焼損面積 285 m ² 損害額 1,144 万 3 千円 出火場所は特定できたが原因は不明である。
8. 15	おおい町 名田庄染ヶ谷	バンガロー火災 全焼 1 焼損面積 19 m ² 損害額 231 万 4 千円 客が使用した布団を手すりにかけて干していたところ、蚊取り線香と接触し火災となったものである。
10. 16	若狭町三宅	車両火災 大型トレーラー1 台 損害額 26 万 5 千円 左後輪ベアリングが破損し摩擦熱により出火したものである。
11. 2	おおい町岡田	警察車両事故 死者 2 パトカーが県道の道路標識柱に衝突したものである。

11. 17	小浜市神宮寺	バス交通事故 負傷者 34 若狭西街道遠敷トンネル内で 4トンダンプと中型バスが衝 突した事故。この事故で若狭 消防管内のすべての救急車が 出場し活動した。	
--------	--------	--	--

平成 22 年（2010 年）

★乗用車が突っ込み建物火災（小浜市小浜鹿島）

2 月 18 日 7 時 10 分頃小浜市小浜鹿島で発生した住宅火災は、住宅全焼 1、住宅半焼 1、倉庫全焼 1、延べ 162 m²の焼損となった。

この火災は、乗用車の運転手が交差点で一旦停止しようとしてブレーキを踏むつもりが誤ってアクセルを踏み込み住宅へ衝突したもので、その際、エンジンルームから出火し建物に燃え移ったものである。



2. 7	小浜市平野	住宅火災 死者 1 全焼 2 部分焼 2 焼損面積 89 m ² 損害額 692 万 9 千円 原因は不明である。
2. 18	小浜市 小浜鹿島	住宅火災 全焼 2 半焼 1 焼損面積 162 m ² 損害額 645 万 4 千円 乗用車が一旦停止しようとしてブレーキとアクセルを踏み間違え住宅へ衝突したもので、その際、エンジンルームから出火し建物に燃え移ったものである。
2. 24	高浜町今寺	山岳救助 負傷者 1 青葉山登山者が登山道を約 150m 滑落したものである。ヘリコプター救助は不可能な場所であり、隊員によりストレッチャーで登山口まで 4 時間かけて搬送した。山頂には少し雪が残っていた。
4. 15	小浜市 川崎 3 丁目	交通水難事故 死者 1 負傷者 1 普通ワゴン車が小浜漁港内に転落し水没したものである。
6. 18	おおい町岡安	うめ加工場火災 半焼 1 焼損面積 73 m ² 損害額 791 万 6 千円 うめ乾燥用のストーブが異常燃焼したものと推定する。
8. 14	小浜市阿納尻	車両火災 大型トレーラー 1 台 全焼 1 損害額 171 万円 原因は不明である。
9. 5	高浜町東三松	納屋火災 全焼 1 部分焼 2 焼損面積 89 m ² 損害額 189 万 9 千円 電気コンセント部分の接触不良によるものと推定する。

10. 6	小浜市生守	ゴミ収集車火災 1台 全焼1 損害額 25 万 9 千円 ゴミ収集車内でプレスされたスプレー缶が破裂し、残っていたガスに引火したものである。
10.10	小浜市 小浜住吉	住宅火災 負傷者1 半焼1 部分焼2 焼損面積 63 m ² 損害額 1,228 万 3 千円 家人による放火である。
10.15	小浜市飯盛	化学工場火災 負傷者1 ぼや1 損害額 20 万 4 千円 化学物質が小爆発を起こし、従業員の作業服やビニールカーテンに着火したものである。
10.22	小浜市伏原	倉庫火災 全焼1 焼損面積 171 m ² 損害額 67 万 4 千円 アセチレンガス溶断機で倉庫解体のため鉄骨を溶断していたところ、二重構造の壁面ベニヤ板に着火し火災となったものである。
11.26	小浜市 小浜清滝	住宅火災 全焼1 焼損面積 110 m ² 損害額 1,553 万 9 千円 仏壇用電気ローソクのコードが何らかの原因で高熱を持ち、低温着火を起こしたものと推定する。

平成 23 年（2011 年）

★東日本大震災（東北地方を中心とした広域）

3 月 11 日 14 時 46 分 18 秒、宮城県牡鹿半島の東南東沖 130 km を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生した。地震の規模はモーメントマグニチュード 9.0 で日本周辺における観測史上最大の地震である。

若狭消防からも緊急消防援助隊福井県隊として延べ 12 隊、12 日間、40 名の隊員が出場し、岩手県陸前高田市で活動した。

1.22	小浜市後瀬町	病室火災 ぼや1 損害額 32 万 5 千円 病室ベッドの布団の一部が燃えたものである。放火と推定される。
3.30	高浜町関屋	納屋火災 全焼1 ぼや1 焼損面積 106 m ² 損害額 86 万 3 千円 たき火の火の粉が燃え移ったものと推定する。
5.17	小浜市加斗	住宅火災 全焼4 部分焼1 焼損面積 280 m ² 損害額 6,845 万 9 千円 仏壇付近の電気配線の発熱と推定する。
5.30	小浜市江古川	水害救助 大雨による冠水で自宅から出られなくなった 17 名をゴムボートで安全な場所へ搬送したものである。
6.17	おおい町尾内	倉庫火災 部分焼1 焼損面積 10 m ² 損害額 30 万 2 千円 原因は不明である。
6.29	小浜市 川崎 2 丁目	船舶火災 1 隻 全焼1 損害額 30 万円 焼却用ドラム缶の炎が飛び火し船舶に延焼したものである。

8. 4	おおい町 大島南浦	その他火災 焼損面積 3,044 m ² たき火が拡大し埋立地の雑草に燃え広がったものである。
8. 26	小浜市 川崎 1 丁目	工場火災 部分焼 1 焼損表面積 6 m ² 損害額 157 万 6 千円 魚焼き機に付着していたサバの油にバーナーの火が引火したものである。
10. 21	高浜町笠原	車両火災 死者 1 普通ワゴン車 1 台全焼 損害額 169 万円 原因は不明である。
12. 29	小浜市多田	住宅火災 全焼 1 焼損面積 152 m ² 損害額 797 万 3 千円 たばこの火の不始末と判定する。

平成 24 年 (2012 年)

★ダンボール工場火災 (小浜市尾崎)

8 月 2 日 19 時 40 分頃、小浜市尾崎で発生した工場火災は、283 m²を部分焼した。

工場内のダンボールが大量に燃えたため、火勢が非常に強く消防隊は消火に困難を極め鎮火まで約 2 時間を要した。

出火箇所は工場北側であると認められたが出火原因の特定には至らなかった。



4. 27	小浜市国分	資材置場火災 トラック等両 5 台 建設資材焼損 損害額 125 万 1 千円 ごみ焼却炉の火の粉が飛び火したものである。
8. 2	小浜市尾崎	工場火災 負傷者 1 部分焼 1 焼損面積 283 m ² 損害額 1,690 万 3 千円 原因は不明である。
9. 24	若狭町兼田	住宅火災 全焼 1 焼損面積 110 m ² 損害額 1,923 万 4 千円 電気延長コードがショートし出火したものと推定する。
10. 15	若狭町無悪	納屋火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 109 m ² 損害額 603 万 8 千円 紙袋に入れた燐炭の火種が残っていたため発火したものである。
12. 14	小浜市 遠敷 7 丁目	企業寄宿舍火災 部分焼 1 焼損面積 9 m ² 損害額 109 万 2 千円 たばこの火の不始末と推定する。
12. 31	小浜市生守	車庫火災 全焼 1 焼損面積 68 m ² 損害額 288 万 3 千円 たき火中、風が強くなって来たので中止し、消したはずの燃えカスを車庫内に置いたところ再燃したものと判定する。

平成 25 年（2013 年）

★竜巻被害（小浜市）

8 月 23 日 16 時 20 分頃、小浜市内で竜巻が発生し大きな被害を受けた。

小浜多賀、小浜津島から千種にかけて長さおよそ 1 km、幅およそ 50m の帯状の範囲で、住宅などおよそ 90 棟の建物の屋根や瓦が飛んだり窓ガラスが割れたりする被害が確認された。

翌日に現地調査を行った福井地方気象台は「竜巻だったと推定される」と発表した。

★台風 18 号・気象庁運用初の「大雨特別警報」発令

大型の台風 18 号は 9 月 16 日、日本列島を縦断し、広い範囲で大雨となった。

気象庁は福井県、京都府の全域、滋賀県のほぼ全域に 8 月 30 日の運用開始以来、初めて大雨特別警報を発表した。

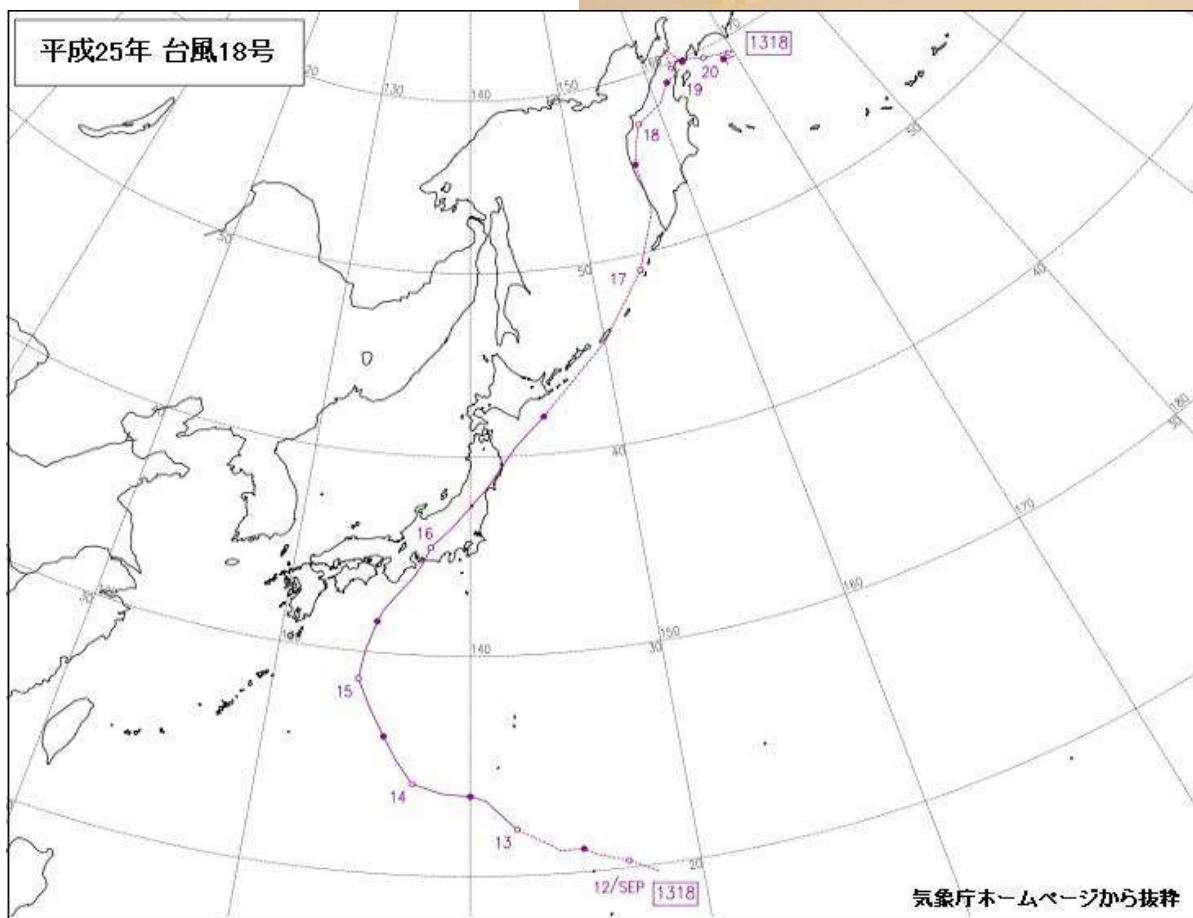
小浜市を中心に 15 日未明から降り始めた雨は、台風接近とともにその勢いを増し、小浜観測所では 16 日朝までの 24 時間雨量が 384 ミリと観測史上最多を記録、また降り始めから 48 時間雨量は 413 ミリを記録した。

小浜市内に流れ込む北川、南川は氾濫危険水位を大きく超え、北川支流の野木川堤防が決壊、また南川中流に架かる飛川橋の流出、忠野区では土砂崩れにより住宅など 4 棟が全壊した。また、市内各地で家屋の床上床下浸水、主要道路の冠水の被害のほか、土砂崩れにより主要道路が寸断され、孤立集落が発生するなどの甚大な被害が発生した。

若狭管内の消防職団員は 15 日夕刻から夜を徹し活動し、16 日 15 時 30 分の避難勧告解除まで、20 時間にもおよぶ活動であった。

管内の被害状況は、住家全壊、一部損壊、床上床下浸水が多数あったものの、人的被害はなかった。





平成25年 台風18号 進路図

※ 5 ページの昭和 28 年台風 13 号と進路がほぼ同じである。今後の参考にされたし。

1. 18	若狭町有田	住宅火災 死者 1 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 191 m ² 損害額 1,511 万 2 千円 原因は不明である。	
2. 13	高浜町六路谷	車両火災 大型トラック 1 台 全焼 1 損害額 84 万円 8 千円 原因は不明である。	
4. 10	小浜市南川町	共同住宅火災 死者 1 ぼや 1 焼損面積 1 m ² 損害額 574 万円 住人による放火と推定する。	
6. 25	小浜市須縄	車両火災 大型トラック 1 台 全焼 1 損害額 393 万円 ブレーキの故障による摩擦熱により出火したものと推定する。	
7. 13	高浜町鎌倉	納屋火災 全焼 1 焼損面積 57 m ² 損害額 50 万 3 千円 原因は不明である。	
9. 18	小浜市生守	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 7 m ² 損害額 99 万 2 千円 天ぷら油火災。	
10. 13	小浜市荒木	休耕田火災 焼損面積 1,452 m ² 野焼きが燃え広がったものである。	
10. 14	高浜町宮崎	交通事故 死者 1 負傷者 6 国道 27 号線上で軽乗用車と普通乗用車が衝突した事故。	
10. 16	小浜市和多田	増水救助 負傷なし 2 夜間、南川の河原において軽ワゴン車内で仮眠をとっていたところ、増水により脱出できなくなったものである。	
10. 17	高浜町宮崎	スナック火災 部分焼 1 焼損面積 8 m ² 損害額 93 万 5 千円 天ぷら油火災。	
12. 28	若狭町 若狭テクノバレー	ボイラー火災 ぼや 1 損害額 124 万 2 千円 ボイラーの加熱装置が異常燃焼したものである。	

平成 26 年 (2014 年)

1. 2	高浜町和田	住宅火災 負傷者 2 部分焼 1 焼損面積 12 m ² 損害額 118 万 6 千円 電子レンジのタイマーを勘違いにより長時間設定にしたため発火したものである。
2. 22	高浜町菌部	倉庫火災 全焼 1 部分焼 1 焼損面積 39 m ² 損害額 38 万 6 千円 燐炭の火種が残っていたため発火したものである。
6. 7	おおい町大島	住宅火災 半焼 1 焼損面積 53 m ² 損害額 343 万 6 千円 2 階からの出火と判定したが原因は不明である。

6. 12	若狭町井ノ口	立木火災 落雷によりタモの木（枯れ木）の内部が燃えたものである。 住宅火災 全焼 1 部分焼 2 焼損面積 138 m² 損害額 511 万 5 千円 仏壇用電気ローソクを長期間連続使用していたため低温着火を起こしたものと推定する。	
7. 31	小浜市四谷町		
		農作業小屋火災 全焼 3 部分焼 1 車両 2 台 焼損面積 61 m² 損害額 91 万 3 千円 冷蔵庫コンセント部分のトラッキング現象と推定する。 密集地住宅火災 負傷者 4 全焼 1 半焼 1 部分焼 1 焼損面積 160 m² 損害額 2,132 万円 密集地での火災であり消火に困難を極め鎮火まで 4 時間を超す活動となった。出火点は 1 階居間と判定したが、原因は不明である。	
8. 16	高浜町関屋	舞鶴若狭自動車道交通事故 死者 1 負傷者 1 普通乗用車が左側ガードレールに激突したものである。	
8. 24	小浜市 小浜竜田	店舗兼住宅火災 半焼 1 焼損面積 62 m² 損害額 646 万 8 千円 出火点は 2 階洋間と判定したが、原因は不明である。 飲食店舗火災 部分焼 1 焼損面積 15 m² 損害額 279 万 8 千円 炭火の処理方法の間違いにより火災に至ったものである。	
9. 21	小浜市和久里		
9. 23	小浜市 小浜酒井		
11. 26	若狭町井ノ口		

平成 27 年（2015 年）

3. 4	小浜市 遠敷 4 丁目	住宅火災 部分焼 1 焼損面積 30 m² 損害額 31 万 4 千円 魚焼きグリルを使用中、溜まった油に着火したものである。
3. 22	小浜市大谷	農作業小屋火災 部分焼 1 焼損面積 16 m² 損害額 26 万 7 千円 たき火の火の粉が風にあおられ燃え広がったものである。

4. 27	小浜市志積	交通事故 死者 1 負傷者 1 中型バイクと普通乗用車の衝突事故。
7. 21	高浜町宮崎	住宅火災 全焼 1 部分焼 2 焼損面積 542 m ² 損害額 1,504 万 6 千円 30 年以上使用した電気延長コードがショートし火災に至ったものと推定する。
7. 26	おおい町石山	車両火災 750 cc オートバイ 1 台 全焼 1 損害額 45 万円 原因は不明である。
8. 18	高浜町難波江	水難事故 死者 1 遊泳中波に流され行方不明になったものである。 潜水隊が捜索したが当日は見つからず、翌日発見された。
11. 11	高浜町関屋	集合住宅火災 部分焼 1 焼損面積 1 m ² 損害額 81 万 5 千円 電気ストーブ付近の可燃物に輻射熱により着火したものと推定する。
11. 25	高浜町東三松	集塵サイロ火災 サイロ焼損 損害額 19 万 7 千円 サイロ内で何らかの火花が散りおが屑が燃えたものと推定する。

平成 28 年 (2016 年)

2. 16	高浜町小和田	住宅火災 全焼 1 部分焼 2 焼損面積 165 m ² 損害額 257 万 9 千円 1 階和室コンセント部分のトラッキング現象と推定する。
2. 23	高浜町水明	その他火災 焼損面積 1,664 m ² 雑草を焼却中、風にあおられて燃え広がったものである。
3. 10	若狭町河内	ダム工事現場事故 負傷者 2 油圧ショベルが傾き約 50m 斜面を転落したもので作業員と運転手が巻き込まれた。作業員は中等症、運転手は 30m 地点で投げ出され重症を負った。 
3. 13	若狭町新道	集塵サイロ火災 サイロ焼損 損害額 68 万 6 千円 サイロ内の外壁隙間に堆積したかなな屑が自然発火したものと推定する。
3. 17	おおい町 名田庄納田終	その他火災 焼損面積 700 m ² ゴミ焼却炉の火の粉が付近の雑草に燃え広がったものである。
4. 15	小浜市湯岡	パチンコ店火災 ぼや 1 損害額 7 万 4 千円 屋根裏電気配線に断熱材が巻き付いた状態により自己発生熱がこもり低温発火したものと推定する。
8. 7	高浜町鎌倉	重機火災 大型油圧ショベル 1 台 損害額 80 万円 配線不良のためショートし引火したものと推定する。
8. 15	小浜市谷田部	物置火災 全焼 2 車両 2 台 焼損面積 78 m ² 損害額 219 万 4 千円 原因は不明である。

8. 21	高浜町東三松	倉庫火災 全焼1 半焼1 部分焼1 ぼや2 車両2台 焼損面積280 m ² 損害額627万9千円 原因は不明である。
11. 15	小浜市下田	作業小屋火災 全焼2 部分焼2 焼損面積91 m ² 損害額698万円 小屋内に暖を取るための炉を設置し薪を燃やしていたところ周囲の可燃物に燃え広がったものと推定する。
12. 9	おおい町 名田庄久坂	店舗火災 半焼1 部分焼1 焼損面積41 m ² 損害額700万円 天ぷら油処理のため鍋を火にかけ放置したものである。

平成29年（2017年）

★放火による作業場火災（小浜市福谷）

8月1日19時55分頃、小浜市福谷において152 m²の作業場、車両2台を焼失する火災が発生した。

出火原因は、放火犯が他人の建物内に侵入し壁面に掛けられていた衣服にライターで火をつけたものと推定され、放火犯は起訴された。



1. 31	小浜市飯盛	舞鶴若狭自動車道車両火災 大型トレーラー左後輪部分焼損 損害額20万円 ブレーキの故障による摩擦熱により出火したものと推定する。
4. 11	おおい町福谷	舞鶴若狭自動車道車両火災 大型トレーラー積載の杭打機油圧ユニット焼損 損害額2,733万6千円 油圧ユニットのバッテリーがショートしたものと推定する。
7. 21	若狭町安賀里	その他火災 焼損面積448 m ² 数年にわたり刈り取った芝草を大量に集積していたため発酵し、酸化反応を起こし火種となり当日の強風により火災に至ったものと推定する。
8. 1	小浜市福谷	作業場火災 全焼1 ぼや2 車両2 焼損面積152 m ² 損害額301万7千円 放火である。
9. 23	おおい町 名田庄小倉畑	着衣着火火災 負傷者1 仏壇の掛け軸を取ろうとしたところローソクの火が袖に燃え移ったものである。
10. 9	小浜市大谷	舞鶴若狭自動車道交通事故 死者1 トンネル内での普通乗用車と大型トラックの正面衝突事故
10. 10	高浜町関屋	車両火災 軽乗用車1 全焼 損害額10万8千円 走行中に鹿と衝突し、エンジン部から出火したものである。

10. 11	小浜市和多田	その他火災 負傷者 1 休耕田 737 m ² 焼損 刈り取った草に火をつけたところ燃え広がったものである。
11. 4	高浜町和田	ボート転覆事故 10 名救出 うち 2 名軽症 学生ヨット選手権で、強風のため無人ヨットが流され、回収に向かった大会本部のレスキューボート 2 艇が転覆し 10 名が海に投げ出されたものである。

平成 30 年（2018 年）

★団地火災（小浜市後瀬町）

3 月 29 日 9 時 00 分頃、小浜市後瀬町で発生した団地火災は、3 階の一室から出火し 103 m²を焼損し死者 1 名を出した。

原因は電気コードが束ねられていたか、あるいは狭い空間に押し込まれていたかにより発熱し火災に至ったものと推定する。

団地の窓から火炎を吹き出し、火災現場は一時騒然となった。



★化学工場爆発事故（若狭町テクノバレー）

7 月 2 日 13 時 41 分頃、危険物製造所において爆発事故が発生した。

硝酸とバナジン酸アンモニウム、ターシャルブチルシクロヘキサノールの 3 つの薬品を酸化反応させ、電子材料の原料となるものを製造中、何らかの原因により反応釜内圧が上昇し、爆発に至ったものと推定する。

この事故で従業員 1 名が死亡、1 名が重症、10 名が軽傷を負った。



★敦賀市工場火災（福井県敦賀市呉羽町）

9 月 6 日 13 時 22 分頃、福井県敦賀市呉羽町で発生した工場火災では、福井県広域消防相互応援協定により若狭消防署から応援出場した。

1 次派遣隊から 3 次派遣隊まで、水槽付きポンプ車を派遣し現地で消火活動を行った。

★海産物加工場救助（小浜市川崎 2 丁目）

11 月 24 日 12 時 10 分頃、海産物加工場においてちくわ製造機の清掃を行っていたところ、右腕を巻き込まれる事故が発生した。救助隊が製造機を切断し右腕を抜き取った。

患者は右上腕部の損傷が激しく、京滋ドクターヘリに収容され滋賀県内の病院に搬送された。



1. 25	小浜市大手町	ホテル火災 部分焼 1 焼損面積 2 m ² 損害額 18 万 4 千円 宿泊客のたばこの不始末と推定する。
1. 26	若狭町上吉田	住宅火災 死者 1 全焼 1 焼損面積 247 m ² 損害額 1,119 万 8 千円 1 階台所付近から出火したと推定するが、原因は不明である。
3. 29	小浜市後瀬町	団地火災 死者 1 部分焼 1 焼損面積 103 m ² 損害額 1,804 万円 電気コードからの出火と推定する。
4. 7	小浜市青井	交通事故 死者 1 国道 27 号線後瀬山トンネル内で普通乗用車と大型トレーラーが衝突した事故。
5. 11	小浜市 川崎 3 丁目	交通水難事故 死者 1 普通乗用車が小浜漁港内に転落し水没したものである。
6. 22	若狭町上黒田	舞鶴若狭自動車道車両火災 大型トラック 1 台全焼 積載されていた自動車 2 台全焼 損害額 66 万 9 千円 大型トラック左後輪ブレーキの故障による摩擦熱により出火したものと推定する。
7. 2	若狭町 テクノバレー	化学工場爆発事故 死者 1 重症者 1 軽症者 10 薬品を酸化反応中、何らかの原因で反応釜内圧が上昇し爆発に至ったものと推定する。
8. 8	小浜市飯盛	舞鶴若狭自動車道車両火災 大型トラック 1 台全焼 積載宅配物品全焼 損害額 1,381 万 7 千円 大型トラックが中央分離帯に衝突した際、燃料が漏れマフラーの高熱により発火したものと推定する。
8. 24	若狭町および 小浜市	台風 20 号 この台風は風台風であったため、舞鶴若狭自動車道では箱型トラックの横転事故が 2 件発生、その他管内では屋根等が突風で飛んだなどの被害があった。
8. 26	小浜市 新小松原	車庫兼倉庫火災 負傷者 1 全焼 3 部分焼 3 焼損面積 137 m ² 損害額 129 万 2 千円 電気配線のショートによるものと推定する。
9. 5	高浜町横津海	舞鶴若狭自動車道交通事故 死者 1 事故処理中の大型貨物車に大型トレーラーが追突したものである。
9. 9	おおい町父子	住宅火災 半焼 1 焼損面積 34 m ² 損害額 152 万 4 千円 電気延長コードのショートによるものと推定する。
11. 24	小浜市 川崎 2 丁目	海産物加工場救助 重症 1 ちくわ製造機の清掃を行っていたところ、右腕を巻き込まれたものである。

平成 31 年（2019 年）

★産業廃棄物処理工場火災（小浜市尾崎）

3 月 2 日 13 時 50 分頃、小浜市尾崎で発生した産業廃棄物処理工場火災は、鉄骨造 2 階建て 475 m²を全焼した。

処理工場内の溶融炉で発泡スチロールを溶かしていたところ、不純物が混ざっていたため燃え上がり拡大したものと推定する。

工場内には廃棄物が多量にあり除去しながらの消火活動となったため鎮火まで 3 時間余りかかった。



令和元年（2019 年）

★4 階建て店舗兼住宅火災（小浜市小浜塩釜）

5 月 28 日 19 時 30 分頃、小浜市小浜塩釜で発生した 4 階建て店舗兼住宅火災は、鉄骨造 4 階建て 335 m²と鉄骨造 2 階建て倉庫 288 m²を全焼、木造 2 階建て倉庫を半焼したものである。

原因は、3 階住居のコンセントから繋いだテーブルタップでトラッキング現象が起きたものと推定する。

★トンネル内一酸化炭素中毒事故救助（高浜町田ノ浦）

9 月 19 日 15 時 40 分頃、トンネル工事現場において一酸化炭素中毒事故が発生し男性作業員 9 名が重軽症となった。

当時トンネル内では、溶接作業を行っておりフォークリフトなども操作していた。

管内の救急車 5 台が出場し、京滋ドクターヘリでも患者 1 名を搬送した。

1. 9	高浜町東三松	交通事故 死者 1 負傷者 1 軽トラックと普通乗用車の衝突事故。
2. 23	おおい町野尻	舞鶴若狭自動車道車両火災 死者 1 中型トラックと軽乗用車 2 台全焼 損害額 147 万 1 千円 中型トラックと軽乗用車が衝突し軽乗用車から漏れ出た燃料に引火したものと推定する。
2. 27	小浜市駅前町	小学校トイレ火災 ぼや 1 トイレトペーパーが燃えたもので不審火と推定する。
3. 2	小浜市尾崎	産業廃棄物処理工場火災 全焼 1 焼損面積 475 m ² 損害額 3,085 万円 溶融炉からの出火である。
4. 23	おおい町長井	舞鶴若狭自動車道車両火災 全焼 1 損害額 158 万 9 千円 大型トレーラーのエンジン内部が破損し漏れ出たオイルに引火したものと推定する。
4. 24	小浜市駅前町	料理店火災 ぼや 1 損害額 23 万 9 千円 天ぷら油火災である。

5. 28	小浜市 小浜塩釜	店舗兼住宅火災 全焼 2 半焼 1 焼損面積 482 m ² 損害額 3,647 万 2 千円 トラッキング現象と推定する。
6. 3	小浜市湯岡	作業場火災 全焼 1 ぼや 1 焼損面積 90 m ² 損害額 268 万 6 千円 木材加工の際の摩擦熱で切り屑に着火したものが、扇風機の風で無炎 燃焼し拡大したものと推定する。
8. 17	小浜市湯岡	車両火災 負傷者 1 乗用車 3 台全焼 損害額 108 万 3 千円 車両内 に積載してあったガソリン携行缶から可燃性ガスが漏れていたところ に、たばこを吸うためライターを着火したところ可燃性ガスに引火し たものと推定する。
9. 19	高浜町田ノ浦	トンネル内一酸化炭素中毒事故救助 重軽症 9 作業トンネル内の工 事現場において一酸化炭素中毒事故が発生したものである。
9. 23	若狭町小原	交通事故 死者 1 コンバインを乗せたけん引トラクターに軽トラッ クが追突した事故。
11. 14	若狭町三田	舞鶴若狭自動車道車両火災 大型トレーラー1 台全焼 損害額 105 万 1 千円 ブレーキの故障による摩擦熱により出火したものと推定する。
12. 10	小浜市一番町	車両火災 軽乗用車全焼 損害額 166 万 1 千円 信号待ちの軽トラッ クに軽乗用車が追突した際、軽乗用車のエンジン部分の衝撃火花が漏 れたガソリンに引火したものと推定する。

組合発足以降の火災・救急・救助統計 (昭和45年～令和元年)

